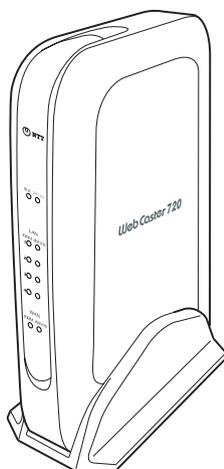


Web Caster 720

取扱説明書

このたびは、Web Caster 720をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みにになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みになってください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえですぐに知っておくと便利な内容を示しています。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●本商品（取扱説明書、ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。また海外で保守サービスおよび技術サービスは行っていません。国内で使用する場合でも、日本語環境によるご利用のみのサービスとなっております。

This product is designed for only use in Japan and we are not offering maintenance service and technical service of this product in any foreign country. It works properly in only Japanese Operating System.

●本商品の使用に起因してお客様またはその他第三者に生じた結果的損害、付随的損害および逸失利益に関しましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。

●本書に他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

●この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

* Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft® Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

* Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

* Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

* Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。

* Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

* Windows® 95は、Microsoft® Windows® 95 operating systemの略です。

* Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。

* Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

* 本書では、Windows® 98とWindows® 98SEを含めて、Windows® 98と表記しています。

* Netscape、Netscape NavigatorおよびNetscape Communicatorは、米国Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

* Mac OSは、Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

* その他、本文中での記載の会社名および商品名およびロゴはそれぞれの各社の商標、または登録商標です。



<p>●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
<p>●本商品・電源アダプタをぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となることがあります。</p>
<p>●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。</p>
<p>●万一、内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。</p>
<p>●本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>
<p>●本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。</p>
<p>●本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。</p>
<p>●ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p>
<p>●AC 100 V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p>
<p>●ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p>
<p>●電源アダプタのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタのコードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。</p>
<p>●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p>



警告

- 電源アダプタのプラグにほこりが付着していないことを確認してコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタのプラグを点検してください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。なお、点検は当社サービス取扱所にご相談ください。
- 本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。
- 電源アダプタのコードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 異常音がしたり、キャビネットが熱くなった状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。



注意

- 直射日光の当たるところや、暖房機器・ポイラーなどのため著しく温度が上昇するところには置かないでください。内部の温度が上がると、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- お近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどをかける
 - ・本棚、タンスの中、押入の中などの風通しの悪い場所に置く



- 長期間ご使用にならないときは、電源アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- お手入れをするときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。



- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼってよごれをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 電気機器・AV・OA機器など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・テレビ・ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 塩水がかかる場所、硫化水素、亜硫酸ガス、アンモニアが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品をご使用中、電源アダプタをさわると温かく感じるがありますが、故障ではありませんので、安心してご使用ください。

■廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、「本商品をお買い求め時（初期値）の状態に戻したい」(●P127)をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

作業の流れ

本書では、本商品を使ってインターネットに接続できるようになるまでの作業をステップに分けて説明しています。各ステップでの作業は次のとおりです。順番に読んで、作業を進めてください。

STEP1

まず準備が必要

- ① 付属品の確認
- ② ご使用の環境の確認
プロバイダとの契約が済んでいるか、モデムなど必要な機器の準備ができているか、などを確認してください。
- ③ 本商品の特長、各部の名称と役割の確認

STEP2

ネットワークに接続しよう

- ① パソコンと本商品を接続

Web Caster 720 接続・設定ソフトを使用した場合

1. Web Caster 720 接続・設定ソフトで本商品を設定する

手で設定する場合

1. 手でパソコンのネットワークを設定する
2. Web ブラウザの設定をする

- ② 簡単設定が起動
- ③ インターネットへの接続方法を選択
- ④ 接続状況の確認
- ⑤ インターネットに接続

STEP2 までの作業が終われば、インターネットに接続できるようになります。STEP3 以降は、必要に応じて読んでください。

STEP3

設定ユーティリティを見てみよう

本商品は、内蔵の設定ユーティリティによって、詳細な設定ができます。このステップでは、設定ユーティリティで設定できる項目について説明しています。

STEP4

こんなときにはこの設定

ネットワークゲーム、音声／ビデオチャットを利用する際の本商品での設定方法について説明しています。

STEP5

トラブルや疑問があったら

STEP4 までの作業で、インターネットへの接続ができなかった場合や、本商品の操作でわからないことがあった場合には、このステップを読んで解決方法を探してください。

STEP6

付録

仕様、保守サービスに関する説明があります。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
作業の流れ	7

STEP1 まず準備が必要

セットを確認してください	11
ご使用の環境を確認しよう	12
チェック1 プロバイダとの契約、工事は完了していますか？	12
チェック2 モデムやケーブルはそろっていますか？	12
チェック3 設定に必要な情報は準備できていますか？	13
チェック4 パソコンの環境はそろっていますか？	13
商品の特長をとらえよう	14
各部の名称と機能を覚えよう	14
本体前面	14
本体背面	15
本体底面	16

STEP2 ネットワークに接続しよう

インターネットに接続するまでの流れ	17
パソコンと本商品を接続しよう	18
本商品を設置する場所について	18
縦置きスタンドの取り付け方	18
本商品の電源を入れるには	19
モデム、パソコンと本商品を接続しよう	20
本商品のネットワーク設定をしよう	22
Web Caster 720 接続・設定ソフトで本商品の設定をしよう	22
手動でパソコンのネットワークを設定する場合は	26
Windows® XP で利用しよう	26
Windows® 2000 で利用しよう	30
Windows® Me / 98 / 95 で利用しよう	35
Web ブラウザの設定をしよう	39
簡単に接続しよう	40
簡単設定で本商品の設定をしよう	42
インターネットに接続しよう	47
2 台目以降のパソコンを接続する場合	48

STEP3 設定ユーティリティを見てみよう 50

設定ユーティリティの全体構成について	50
設定ユーティリティの使い方	51
設定画面の各機能	54
Web Caster 720 (トップページ)	54
簡単設定 ～まずインターネットに接続する～	54
システム設定 ～本商品のシステムを変更する～	55
LAN 側設定 ～パソコン (LAN) 側の設定をする～	57
WAN 側設定 ～インターネット (WAN) 側の設定をする～	58
ステータス ～現在の接続状態を表示する～	71
詳細設定 ～バーチャル・サーバ、DMZ などの設定をする～	72
その他各種設定	94

STEP4 こんなときにはこの設定 99

ネットワークゲームをするには	99
音声／ビデオチャットなどのツールを使うには	101
外部にサーバを公開するには	102
PPPoE で 2 つの接続先を使い分けるには	103
複数固定 IP サービスを利用するには (Unnumbered 利用)	111
社内 LAN として使用するには	112

STEP5 トラブルや疑問があったら 117

解決のステップ	117
取扱説明書や契約書を再確認する。管理者に確認する	118
Q&A	118
インターネットに接続できない	118
パソコン同士がつかない	120
本商品の設定ユーティリティが起動しない	120
本商品の設定ユーティリティにログインできない	121
FTP 通信が利用できない	121
ファームウェアのアップデートに失敗した	122
パソコンの IP アドレスを調べたい、変更したい	122
本商品のユーザー名 (ログイン名)、パスワードを変更したい	123
本商品の設定のバックアップを取りたい、元に戻したい	124
本商品を再起動する	126
本商品をお買い求め時 (初期値) の状態に戻したい	127
最新のファームウェアを入手してアップデートしたい	128

STEP6 付録 130

MAC アドレスについて	130
用語解説	131
設定記入シート	134
索引	147
仕様	150
保守サービスのご案内	151
初期設定内容一覧	152
入力文字制限一覧	160

各機能について

これらの機能については、それぞれ設定ユーティリティの各画面にて説明しています。該当ページをご覧ください。

ルータ機能

DHCP サーバ	86
UPnP	97
DMZ	76
スタティック・ルーティング	92
ダイナミック・ルーティング	93
ダイナミック DNS	77

WAN 側機能

複数固定 IP サービス (Unnumbered)	59、65、111
無通信監視タイマ	64
VPN パススルー	79

その他の機能

パスワードの変更	123
時間設定	55
情報表示 (装置情報、状態表示)	71
ログ機能 (E-mail 機能)	89、94
ファームウェア更新	128
メンバー登録	83
アクセス制限	82
PC データベース	87

STEP1 まず準備が必要

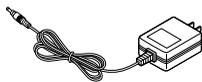
セットを確認してください

■本体



本体 (1台)

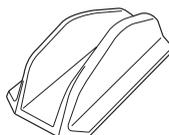
■付属品



電源アダプタ (1個)



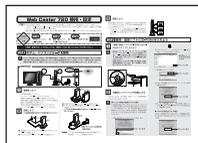
LANケーブル 1.8m
(1本: ストレート)



縦置きスタンド



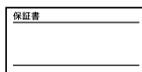
接続・設定
ソフト (1枚)



Web Caster720
接続・設定 (1部)



取扱説明書
(1部)



保証書 (1枚)



NTT通信機器お取扱
相談センター (1枚)

- セットに足りないものがあったり取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

ご使用の環境を確認しよう

本商品を接続する前に、以下の項目を確認し、のようにチェックを付けてください。



お知らせ

- 会社などで専用線を利用する場合は、ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な機器の準備、設定を行ってください。
-

チェック1



プロバイダとの契約、工事は完了していますか？

本商品を使ってインターネットに接続するには、フレッツ・ADSL、Bフレッツなどの回線を使ったインターネット接続サービスへの加入が必要です。また、プロバイダによる工事が完了するまでは、インターネットへの接続はできません。

チェック2



モデムやケーブルはそろっていますか？

回線と接続するには、回線の種類に応じたモデムなどが必要になります。また、回線への接続が正しくできているか、確認してください。確認方法については、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

本商品とパソコンを接続するには、LANケーブルが必要になります。LANケーブルを購入される場合は、カテゴリ5のLANケーブル（Unshielded Twisted Pair Cable = シールドなしツイストペアケーブル）をご購入ください。

なお、本商品とモデムとの接続には、LANケーブル（ストレートタイプまたはクロスタイプ）を使用してください。



お知らせ

- ストレートタイプかクロスタイプかは、モデムによって異なります。詳しくは、サービス事業者またはプロバイダにお問い合わせください。
-

チェック3



設定に必要な情報は準備できていますか？

本商品の設定を行う際に、各サービス別に以下の情報が必要です。プロバイダとの契約時に、以下のような情報が提供されますので契約書類などで確認し、メモしておいてください。不明な場合はご契約のプロバイダにお問い合わせください。

PPPoE 接続の場合 (フレッツ・ADSL 等)	DHCP を利用する場合	固定 IP アドレスで接続する場合 (固定 IP サービス)
<ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザー名 ・ パスワード ・ サービス名 (プロバイダから指定された場合のみ) ・ DNS サーバの IP アドレス (プロバイダから指定された場合のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータ名 (プロバイダから指定された場合のみ) ・ DNS サーバの IP アドレス (プロバイダから指定された場合のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ WAN 側の IP アドレス ・ サブネットマスク ・ ゲートウェイアドレス ・ DNS サーバの IP アドレス



お知らせ

- 上記の名称は、プロバイダによって異なる場合があります。
例：ユーザー名→アカウント、ユーザー ID、ログイン ID など
ご不明な点は、ご契約のプロバイダに確認してください。

チェック4



パソコンの環境はそろっていますか？

本商品とパソコンを接続するには、パソコン側に以下の環境が必要です。

LAN コネクタ (10BASE-T/ 100BASE- TX ポート)	LANコネクタがない場合は、ご利用のパソコンに合わせて次のいずれかの方法で、LANコネクタを増設してください。増設方法については、パソコン、またはLANボード、LANカード、LANアダプタの取扱説明書を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡張スロット (PCIバスまたはISAバス) にLANボードを取り付ける ・ PCカードスロットにLANカードを取り付ける ・ USBコネクタにLANアダプタを取り付ける
OS	本商品は、Windows® 95 / 98 / Me / 2000 / XP、Mac OS* <接続・設定CD-ROMを使用する場合> 接続・設定CD-ROMは、Windows® 98SE / Me / 2000 / XPで使用することができます。
Web ブラウザ	本商品の設定は、Webブラウザ (フレームに対応しているもの) で行います。パソコンに次のいずれかのWebブラウザがインストールされているか、確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft® Internet Explorer 5.5以降

* 設定はWindows®をご使用ください。

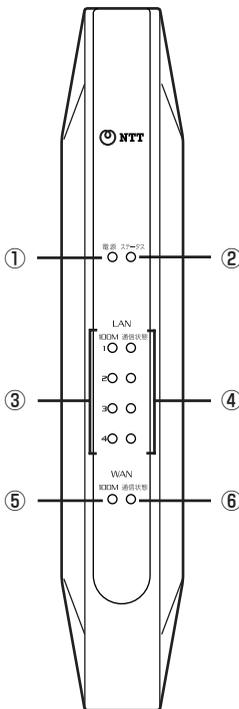
商品の特長をとらえよう

本商品には、次のような機能があります。

- ・ フレッツ・ADSL/B フレッツ対応
- ・ WAN ポートは 10BASE-T/100BASE-TX 対応
- ・ NAT/IP マスカレード機能で、複数のパソコンから同時にインターネット接続可能
- ・ 2つのルーティング方式（スタティック、RIP）に対応
- ・ DHCP クライアント / サーバ機能で簡単導入
- ・ セットアップウィザードによる簡単インターネット接続
- ・ 簡単 Web 設定
- ・ PC データベースによるユーザー管理が可能
- ・ 詳細なアクセス制限が可能
- ・ E-Mail 機能にてログ情報を送信可能
- ・ NTP に対応
- ・ DDNS（ダイナミック DNS）に対応
- ・ Web 管理ツールによりファームウェアのアップグレードが可能
- ・ UPnP、NetMeeting、MSN® Messenger、Windows® Messenger などに対応
- ・ NTT 東日本、NTT 西日本の VoIP アダプタとの接続が可能

各部の名称と機能を覚えよう

■本体前面



①電源ランプ（緑）

本商品の電源が入っているときに、緑色に点灯します。

②ステータスランプ（赤）

システム初期化時のセルフテストの状況が表示されます。

点灯：セルフテスト中です。

点滅：本商品の初期化中です。

消灯：本商品は正常に動作しています。

*セルフテストでエラーが発生した場合は消灯しません。

③100M ランプ（LAN 側）（橙）

本体背面の LAN ポートの動作速度が表示されます。

点灯：100M bps で動作しています。

消灯：10M bps で動作しています。

④通信状態ランプ（LAN 側）（緑）

本体背面の LAN ポートの状態が表示されます。

点灯：ケーブルが正常に接続されています。

点滅：データ通信中です。

消灯：ケーブルが接続されていません。

⑤100M ランプ（WAN 側）（橙）

本体背面の WAN ポートの動作速度が表示されます。

点灯：100Mbps で動作しています。

消灯：10Mbps で動作しています。

⑥通信状態ランプ（WAN 側）（緑）

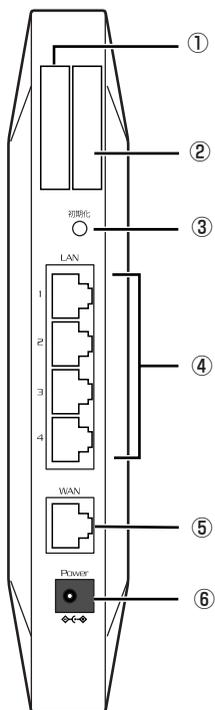
本体背面の WAN ポートの状態が表示されます。

点灯：ケーブルが正常に接続されています。

点滅：データ通信中です。

消灯：ケーブルが接続されていません。

■本体背面



①シリアル番号ラベル

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、当社のサービス取扱所等への問い合わせの際に必要となります。

② MAC アドレスラベル

本商品のWAN側ポートのMACアドレスが記載されています。

③初期化スイッチ

本商品の再起動、または設定内容をお買い求め時の状態に戻す場合に使用します。操作方法については、「本商品を再起動する」(●P126)、または「本商品をお買い求め時(初期値)の状態に戻したい」(●P127)を参照してください。初期化スイッチを使用してお買い求め時の状態に戻すと設定内容が失われますので操作方法をよくお読みになって使用してください。

④ LAN ポート

パソコンやHUBを接続するためのポートです。1～4までの4つのポートがあります。100Mbps/10Mbpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。

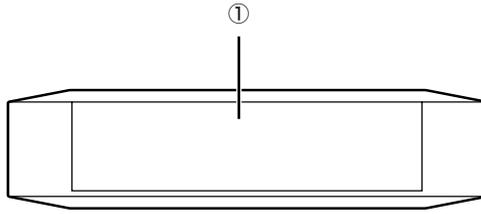
⑤ WAN ポート

本商品とADSLモデムまたは既存のネットワークを接続するためのポート(RJ-45)です。

⑥ DC ジャック

付属の電源アダプタを接続するためのコネクタです。

■本体底面



①品名ラベル

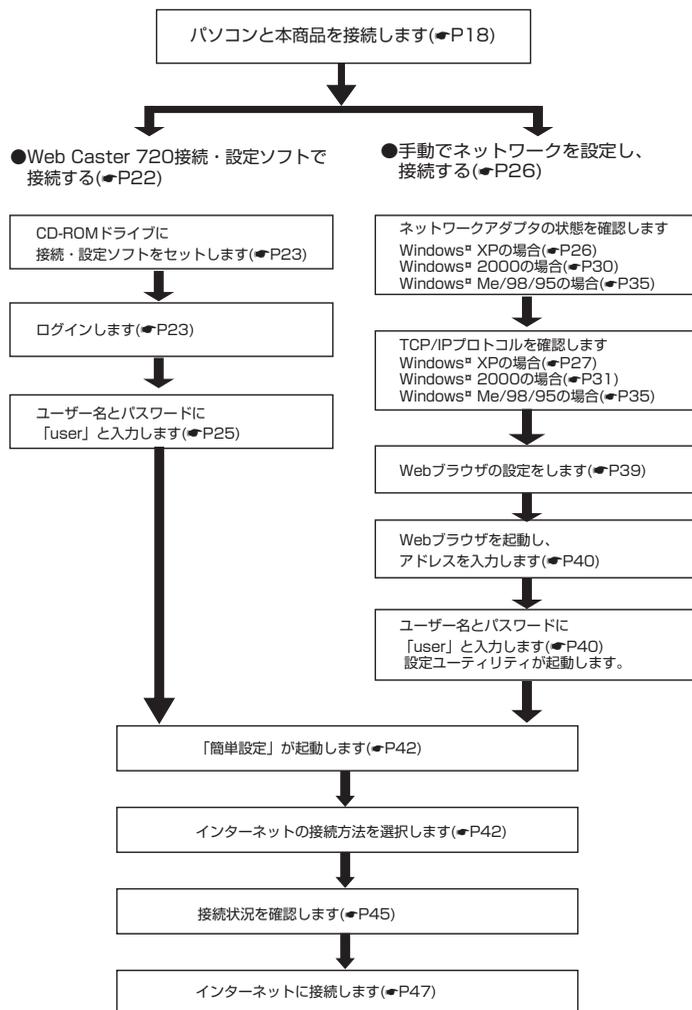
本商品の認証番号、製造年月や、本商品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されておりますので、必ずお読みください。

STEP2 ネットワークに接続しよう

インターネットに接続するまでの流れ

本商品を使って、インターネットに接続する手順を説明します。接続するには、接続・設定ソフトを使って行う方法と、手動で接続する方法の2つの方法があります。次の「設定の流れ」を参考に、設定を行ってください。

●設定の流れ



パソコンと本商品を接続しよう

■本商品を設置する場所について

本書冒頭の「安全にお使いいただくために必ずお読みください」をお読みにになり、使用時の注意についてご確認ください。本商品の上面と側面にある通気口は、放熱のため塞がないでください。

●設置に適した場所

- ・ 水平で落下の恐れがない場所（机の上など）
- ・ 風通しのよい涼しい場所

●設置に適さない場所

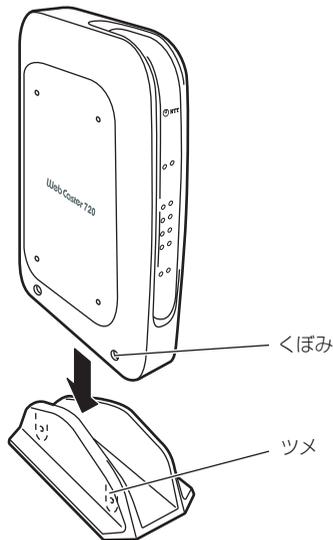
- ・ 直射日光が当たる場所
- ・ 暖房器具の近くなど
- ・ 高温多湿でホコリの多い場所
- ・ パソコンやモデムなど、発熱する機器の上

◆推奨設置環境◆

前後左右15cm、上15cm以内にパソコンや壁などが無い場所を目安とします。また、重ね置きなどはせず付属の縦置きスタンドを底面に取り付けてください。

■縦置きスタンドの取り付け方

本商品に付属の縦置きスタンドを使用して、本商品を縦置きに設置することができます。縦置きスタンドの向きを下図のようにして、本商品のくぼみに縦置きスタンドのツメが「カチッ」と音がするまで差し込みます。



■本商品の電源を入れるには

●本商品の電源の取り方

本商品の電源は、たこ足配線などを避け、他の機器と別系統で取るようにしてください。必ず付属の電源アダプタを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。それ以外の電源アダプタやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

●本商品の電源の入れ方／切り方

本商品背面のDCジャックに電源アダプタのDCプラグを接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込むと電源が入ります。電源アダプタの電源プラグを電源コンセントから抜くと電源が切れます。

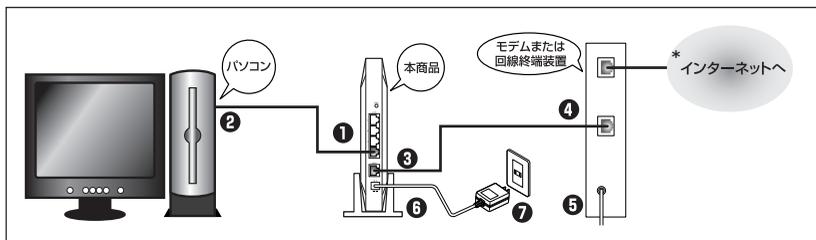


お知らせ

- 本商品には電源スイッチがありません。電源プラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
- 電源アダプタの電源プラグを電源コンセントに差し込んだままDCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

■モデム、パソコンと本商品を接続しよう

接続完成図



※モデムまたは回線終端装置が正しく接続されていることを確認してください。

●推奨ケーブルについて

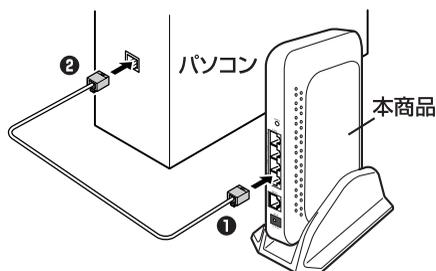
すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。本商品とパソコンを接続するLANケーブルの長さは100m以内になしてください。また、ケーブルは、カテゴリ5のLANケーブル（ストレートタイプ）を使用してください。

1 本商品、モデムまたは回線終端装置、パソコンなどネットワーク接続する機器の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

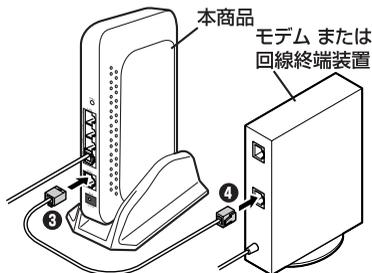
2 接続しよう

上記の接続完成図を参考にして手順を進めてください。

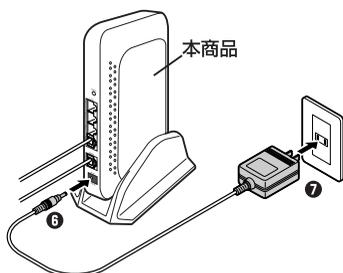
- 1 本商品に付いている4つのLANポートのいずれかに、LANケーブルを接続します。
- 2 パソコンのLANポートにLANケーブルを接続します。



- 3 本商品のWANポートにLANケーブルを接続します。
- 4 モデムまたは回線終端装置のLANポートにLANケーブルを接続します。



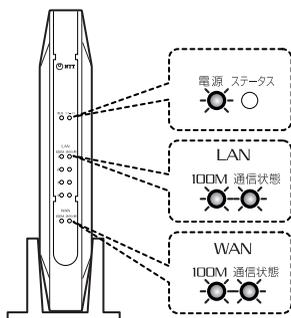
- ⑤ モデムまたは回線終端装置の電源を入れます。
- ⑥ 本商品のDCジャックに電源アダプタを接続します。
- ⑦ 電源アダプタをコンセントに接続し、本商品の電源を入れます。次にパソコンの電源を入れます。



3 確認しよう

前面の電源、WAN側、LAN側両方の100M、通信状態のランプが点灯していれば、モデムまたは回線終端装置、パソコンとの接続は完了です。

※100Mランプは、100M対応のLANポートに接続すると点灯します。お客様の通信機器の環境(10M対応のLANポートをご使用の場合)によって、点灯しない場合があります。



お知らせ

- LAN 側の 100M ランプは、10M での動作時には点灯はしません。
- 本商品の電源を入れたとき、セルフテストを行うため、数秒間ステータスランプが点灯します。

本商品のネットワーク設定をしよう

本商品を利用して、インターネットに接続できるように、ご使用になるパソコンのネットワーク設定を行います。ネットワーク設定には、次の2つの方法があります。
どちらも設定できる内容は同じです。

- ・ Web Caster 720 接続・設定ソフトを使って設定する(このページ)
- ・ 手でパソコンのネットワークを設定する(▶P26)

ここでは、Internet Explorer 6.0、Windows® XP Service Pack 1 を例に説明しています。ご使用の OS や機器によって、画面や手順が異なることがあります。



お知らせ

- Web ブラウザには Internet Explorer 5.5 以降をご利用ください。これ以外の Web ブラウザでは、正常にセットアップが行えない場合があります。推奨ブラウザについては、13 ページを参照してください。



ワンポイント

- Web Caster 720 接続・設定ソフトを使用できる OS は以下の通りです。
 - ・ Windows® 98SE / Me / 2000 / XP
- 本商品は Mac OS では設定できません。Windows® で設定してから、Mac OS のパソコンを接続してください。Mac OS のパソコンで接続する場合は、48 ページを参照してください。
- 本商品に接続された 1 台のパソコンのみ設定を変更することができます。複数のパソコンでの設定はできません。

■ Web Caster 720 接続・設定ソフトで本商品の設定をしよう

付属の「接続・設定ソフト」(CD-ROM) を使って、インターネットやフレッツ・ADSL/B フレッツに簡単に接続する手順を説明します。

以下の項目を確認してください。

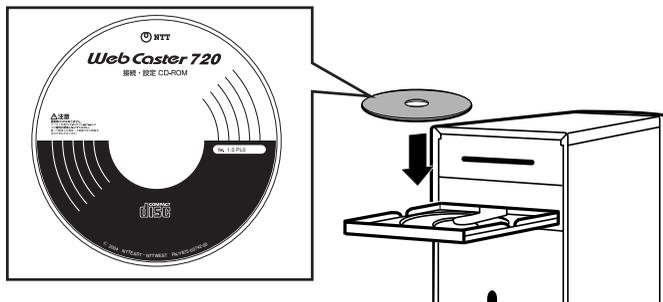
- ・ パソコンに「LANポート」およびCD-ROMドライブが付いていますか？
- ・ 本商品に接続する機器の電源はオフになっていますか？
- ・ パソコンに「フレッツ・接続ツール」がインストールされている場合、アンインストールされていますか？
- ・ モデムまたは回線終端装置が正しく接続されていますか？(P20の接続完成図の*を参照)



お知らせ

- Windows® XP や Windows® 2000 では、「Administrator」または「コンピュータの管理者」権限を持つユーザーでログインしないと、Web Caster 720 設定・接続ソフトで設定することができません。
- パソコンでセキュリティソフト(ウイルス駆除ソフト、ファイアウォールソフトなど)が起動していると、ルータの設定が正常にできない場合があります。設定の際には、セキュリティソフトを一時的に停止させてください。

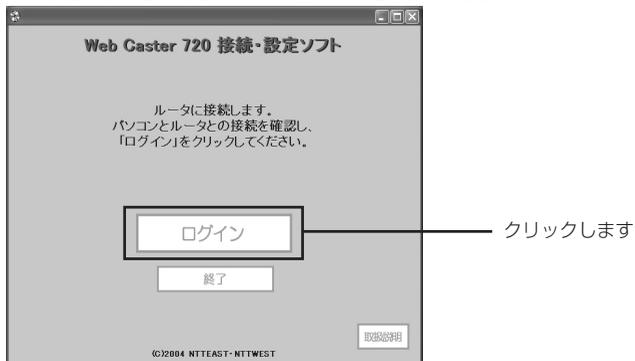
- 1 本商品に付属の「Web Caster 720 接続・設定 CD-ROM」をパソコンにセットします。
自動的にソフトウェアが起動します



お知らせ

- 「接続・設定ソフト」が起動しない場合は、手動で本商品の設定をしてください。詳しくは「手動でパソコンのネットワーク設定をする場合は」(●P26)を参照してください。

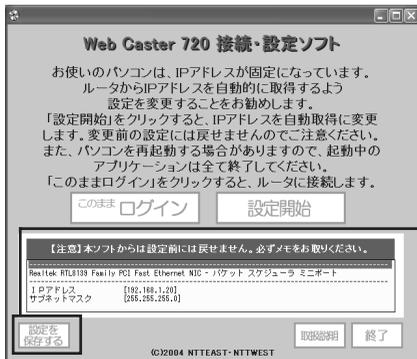
- 2 本商品にログインします。
①下の画面が表示されたら「ログイン」ボタンをクリックします。



●パソコンの設定が変更されている場合

下のような画面が表示されたときは、本ソフトによってパソコンの設定が変更され、今までの設定が無効になります。次の手順で操作を行って、今までの設定を保存してから更新を行ってください。保存した設定は、本商品を使用しなくなったときに必要になりますので、大切に保管してください。

- ①「設定を保存する」をクリックして保存します。
保存場所とファイル名は任意で設定できます。



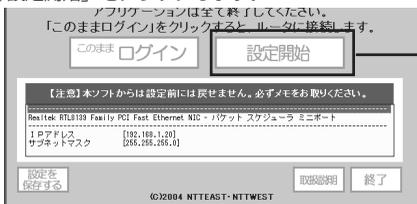
クリックします

画面は「マイドキュメント」フォルダに「ネットワーク設定保存」という名前で保存する場合があります。



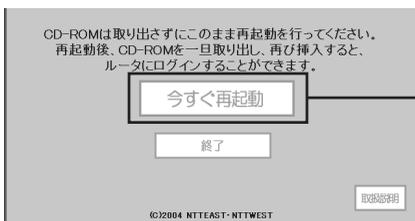
クリックします

- ②「設定開始」をクリックします。



クリックします

- ③「今すぐ再起動」をクリックして、パソコンを再起動します。

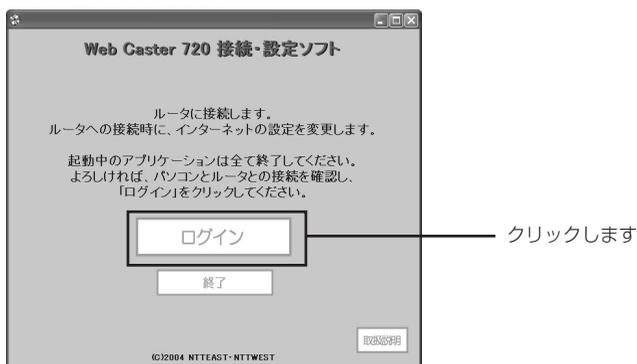


クリックします

④「パソコンが再起動したら、「接続・設定ソフト(CD-ROM)」を CD-ROM ドライブから取り出して、再び挿入します。

● プロキシが設定されている場合

プロキシが設定されているときは、下の画面が表示されますが、そのまま「ログイン」ボタンをクリックします。



②下の画面が表示されたら、「ユーザー名」、「パスワード」に「user」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。



本商品への接続が完了しました。

続いて「簡単設定で本商品の設定をしよう」(P42)へお進みください。

手動でパソコンのネットワーク設定をする場合は

本商品を利用してインターネット接続ができるように、ご使用になるパソコンのネットワーク設定を行います。

次の内容を確認してください（確認と設定の方法は、OSの種類など、ご使用になるパソコンの環境により異なります）。

- ・ ネットワークアダプタの設定
- ・ TCP/IP の設定



ワンポイント

- 複数のパソコンをインターネットに接続させる場合、すべてのパソコンでネットワーク設定を行う必要があります。
-

■ Windows® XP で利用しよう



お知らせ

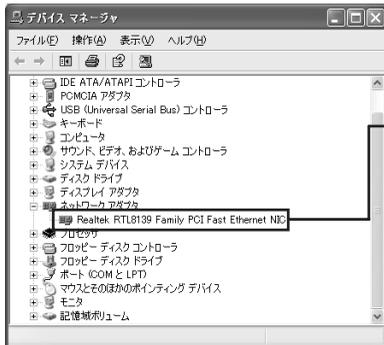
- この作業は「コンピュータの管理者」または同等の権限をもつユーザー名でログオンして行ってください。ユーザー権限については、OSの取扱説明書を参照してください。
-

● ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

- 1 「スタート」ボタン-「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。
- 2 「ハードウェア」タブを表示して「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。
- 3 「デバイスマネージャ」画面の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。

4 ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。



ネットワークアダプタ
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。

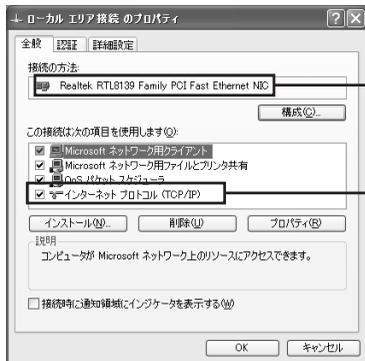


お知らせ

- ×や！マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みになり、正常な状態にしてください。

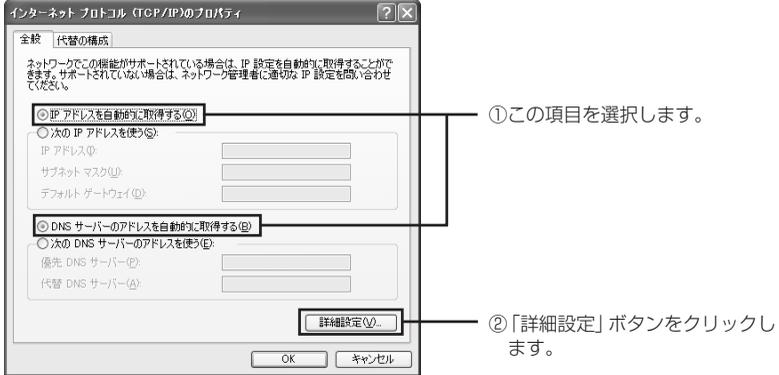
● TCP/IP プロトコルを確認する

- 1 「スタート」ボタン - 「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 「コントロールパネル」にある「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。
- 3 「ネットワーク接続」アイコンをクリックします。
- 4 「ローカルエリア接続」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。
- 5 「全般」タブで「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっているか確認します。

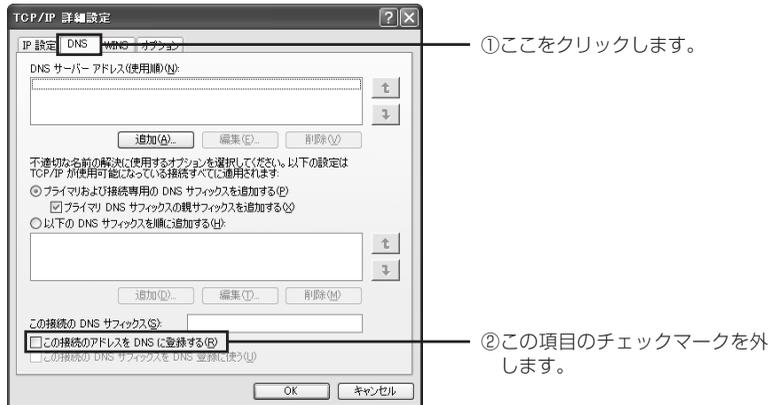


ネットワークアダプタ
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。
チェックマークが入っていることを確認してください。

- 6 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 7 「全般」タブにある「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。



- 8 「TCP/IP詳細設定」画面で「DNS」タブをクリックし、「この接続のアドレスをDNSに登録する」のチェックを外します。





お知らせ

● プロバイダからドメイン名も指定されている場合

「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択し、「追加」ボタンをクリックして指定されたドメイン名を入力してください。



①この項目を選択します。

②「追加」ボタンをクリックして指定されたドメイン名を入力します。

※画面は例です。

実際にはプロバイダから指定されたドメイン名を入力してください。ここでは例として「abcd.co.jp」を入力しています。

9 「OK」ボタンをクリックします。

10 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面で、「OK」ボタンをクリックします。

11 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で、「OK」ボタンをクリックします。

12 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動します。



ワンポイント

- メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

13 次に「Webブラウザの設定をしよう」(●P39)に進みます。

■ Windows® 2000 で利用しよう



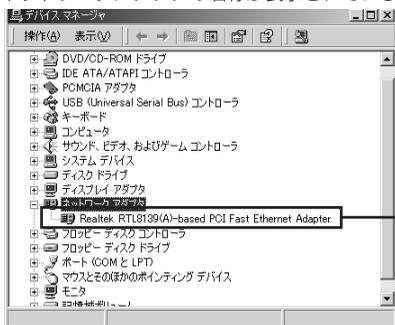
お知らせ

- この作業は、「Administrator」または同等の権限を持つユーザー名でログインして行ってください。ユーザー権限については、OSの取扱説明書を参照してください。

● ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

- 1 デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。
- 2 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。
- 3 一覧の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。
- 4 ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確かめます。



ネットワークアダプタ
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー・機種によって異なります。

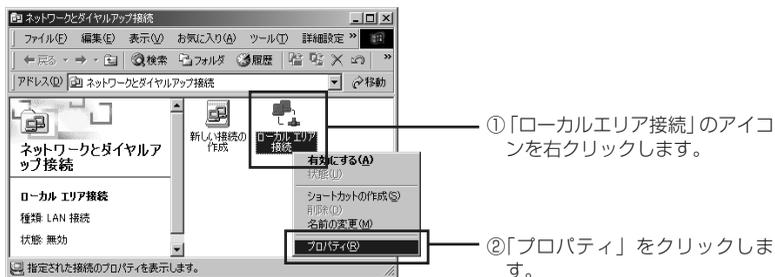


お知らせ

- ×や！マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みになり、正常な状態にしてください。

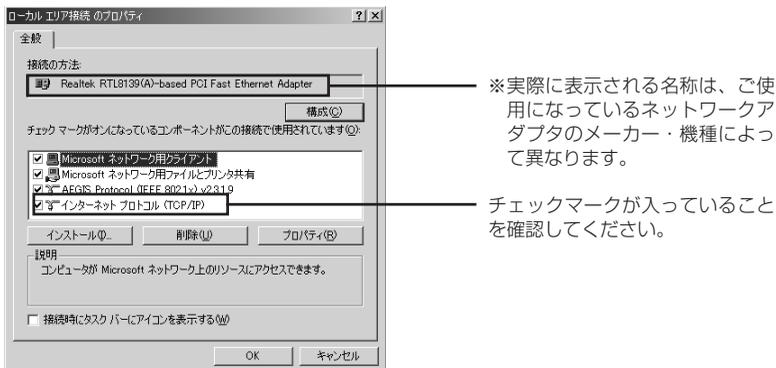
●TCP/IP プロトコルを確認する

- 1 「スタート」ボタン-「設定」-「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。
- 2 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。



※「ローカルエリア接続」の名称はご使用のパソコンの環境により異なる場合があります。

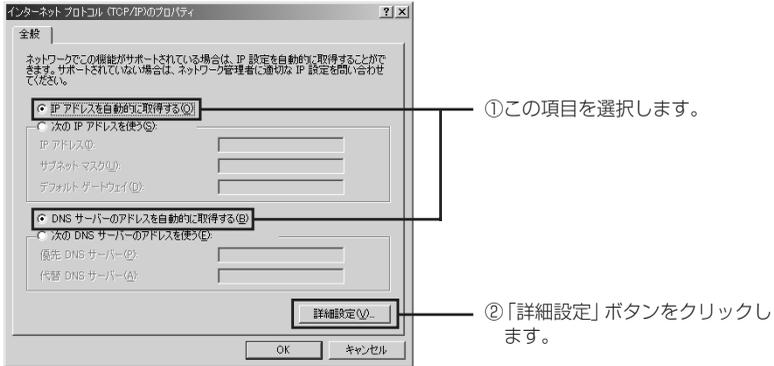
- 3 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっていることを確認します。



ワンポイント

- 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が一覧にない場合は、「TCP/IP をインストールする」(P34) を参照してください。

- 4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 5 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。



- 6 「TCP/IP 詳細設定」画面で「DNS」タブを選択し、「この接続のアドレスをDNS に登録する」のチェックを外します。

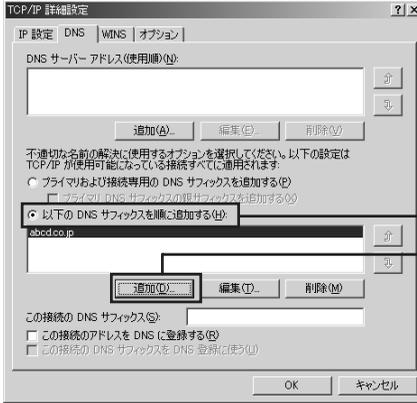




お知らせ

● プロバイダからドメイン名も指定されている場合

「以下の DNS サフィックスを順に追加する」を選択し、「追加」ボタンをクリックして指定されたドメイン名を入力してください。



①この項目を選択します。

②「追加」ボタンをクリックして指定されたドメイン名を入力してください。

※画面は例です。

実際にはプロバイダから指定されたドメイン名を入力してください。ここでは例として「abcd.co.jp」を入力しています。

2

- 7 「OK」ボタンをクリックします。
- 8 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面で「OK」ボタンをクリックします。
- 9 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「OK」ボタンをクリックします。
- 10 再起動を促すメッセージが表示された場合は再起動します。



ワンポイント

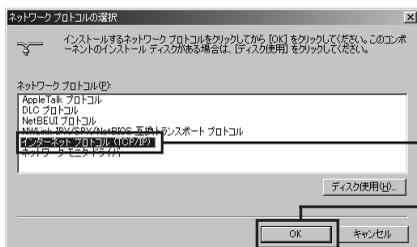
- メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

- 11 次に「Webブラウザの設定をしよう」(●P39)に進みます。

●TCP/IPをインストールする

TCP/IP がインストールされていない場合は、次の手順でインストールしてください。

- 1 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「インストール」ボタンをクリックします。
- 2 「ネットワークコンポーネントの種類を選択」画面が表示されたら「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。
- 3 「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されたら「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



①「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択します。

②「OK」ボタンをクリックします。

- 4 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっていることを確認します。

インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」(P31)の手順4からの設定を行ってください。

■ Windows® Me / 98 / 95 で利用しよう

● ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

- 1 デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、表示されたハードウェアデバイスの一覧から「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。
ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。



①ここをクリックします。

ネットワークアダプタ
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。



お知らせ

- ×や！マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みになり、正常な状態にしてください。
- 「Microsoft 仮想プライベートネットワークアダプタ」「ダイヤルアップアダプタ」などのアダプタ名が表示されていますが、これらは本商品で使用されるネットワークアダプタと関係ありません。

● TCP/IP プロトコルを確認する

ここでは例としてWindows® Meを使用しています。Windows® 98 / 95をご使用の場合も手順は同様です。

- 1 「スタート」ボタン-「設定」-「コントロールパネル」をクリックします。



ワンポイント

- Windows® Meの場合、よく使うコントロールパネルのオプションだけが表示されているときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると、「ネットワーク」アイコンが表示されます。

- 2 「コントロールパネル」にある「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

- 3 「ネットワークの設定」タブ内で「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP → XXXXX(ネットワークアダプタ名)」が表示されていることを確認します。



※画面は例です。

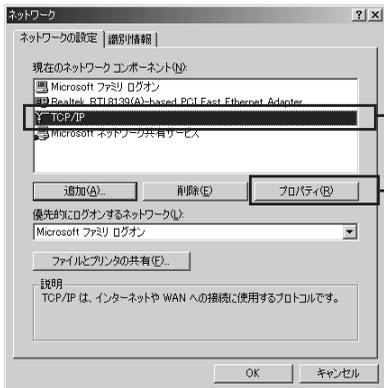
- ・「TCP/IP →」の横に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。
- ・ダイヤルアップアダプタがない場合は「インターネットプロトコル(TCP/IP)」、「TCP/IP」などと表示される場合もあります。



ワンポイント

- 「TCP/IP → XXXXX(ネットワークアダプタ名)」が表示されていない場合は、「TCP/IP をインストールする」(●P38)を参照してください。

- 4 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から「TCP/IP → XXXXX(ネットワークアダプタ名)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



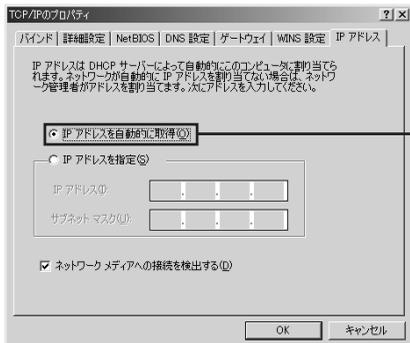
- ① ご使用のネットワークアダプタ名が表示されているものを選択します。
- ② 「プロパティ」ボタンをクリックします。



ワンポイント

- 「TCP/IP → XXXXX(ネットワークアダプタ名)」が複数表示されている場合は、ご使用になるネットワークアダプタの方を選択します。
「IPアドレス」タブで「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。

- 5 「IPアドレス」タブで「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。



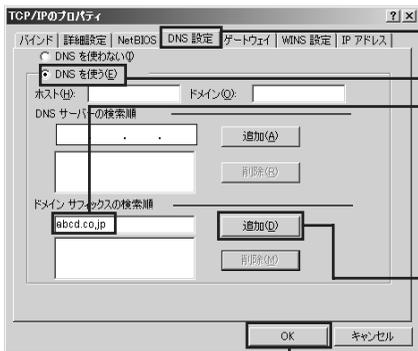
①この項目を選択します。



お知らせ

- プロバイダからドメイン名も指定されている場合

「DNS 設定」タブで「DNS を使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順」の欄に指定されたドメイン名を入力して「追加」ボタンをクリックしてください。



①「DNS 設定」タブをクリックします。

②「DNS を使う」を選択します。

③ドメイン名を入力します。

※画面は例です。

実際にはプロバイダから指定されたドメイン名を入力してください。ここでは例として「abcd.co.jp」を入力しています。

④「追加」ボタンをクリックします。

⑤「OK」ボタンをクリックします。

- 6 「OK」ボタンをクリックします。

- 7 「ネットワーク」画面の、「OK」ボタンをクリックします。



ワンポイント

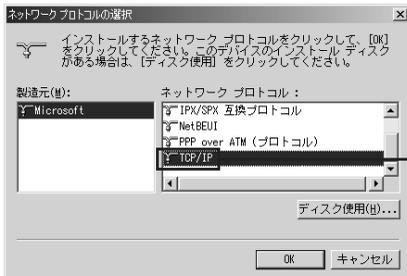
- Windows® の OS 用ディスクを入れるようにダイアログが表示された場合はドライブに Windows® の OS 用ディスクを挿入し、メッセージにしたがって操作します。再起動を促すメッセージが表示されたら再起動します。

- 8 次に「Webブラウザの設定をしよう」(●P39)に進みます。

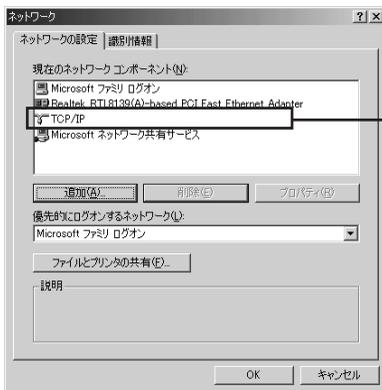
● TCP/IP をインストールする

TCP/IP がインストールされていない場合は、次の手順でインストールしてください。

- 1 「ネットワーク」の画面で、「追加」ボタンをクリックします。
- 2 「ネットワークコンポーネントの種類を選択」画面で「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。
- 3 「ネットワークプロトコルの選択」画面の「製造元」で「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」の一覧から「TCP/IP」を選択します。



- 4 「OK」ボタンをクリックします。
- 5 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧に「TCP/IP →XXXXX(ネットワークアダプタ名)」が追加されていることを確かめます。



※画面は例です。
・「TCP/IP →」の横に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。
・ダイヤルアップアダプタがない場合は「インターネットプロトコル(TCP/IP)」、「TCP/IP」などと表示される場合もあります。

- 6 「OK」ボタンをクリックして「ネットワーク」画面を閉じると、再起動を促すメッセージが表示されますので、再起動します。



ワンポイント

- メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

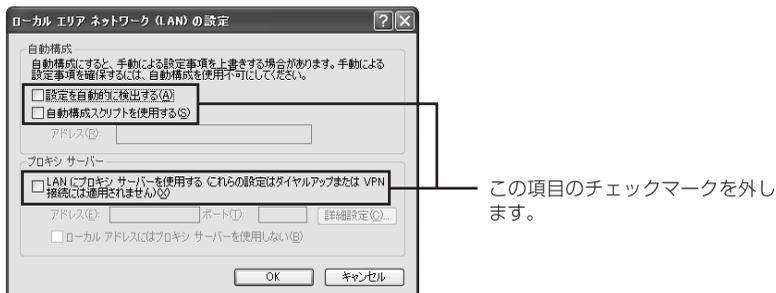
インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」(P35)の手順4を行ってください。

Web ブラウザの設定をしよう

本商品を利用できるように、Web ブラウザの設定を行います。ここでは、Internet Explorerの場合の設定方法を例に説明しています。その他のWeb ブラウザの場合は、Web ブラウザのヘルプなどを参照してください。

ここでは、Internet Explorer 6.0 の場合の設定方法を説明しています。

- 1 Internet Explorerを起動し、「ツール」-「インターネットオプション」をクリックします。
- 2 「インターネットオプション」画面が表示されたら「接続」タブをクリックします。
- 3 「LANの設定」ボタンをクリックします。
- 4 「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面で「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。



- 5 「OK」ボタンをクリックします。
- 6 「インターネットオプション」画面で「OK」ボタンをクリックします。
- 7 次に「簡単に接続しよう」(●P40)に進みます。

■簡単に接続しよう

インターネットに接続できるように最小限の設定をします。インターネットへの接続方式はご契約されたプロバイダによって異なります。P13のチェック3でメモした情報を準備してください。



お知らせ

- パソコンでセキュリティソフト（ウイルス駆除ソフト、ファイアウォールソフトなど）が起動していると、ルータの設定が正常にできない場合があります。設定の際には、セキュリティソフトを一時的に停止させてください。

- 1 本商品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。
- 2 Webブラウザのアドレス入力欄に「http://192.168.1.1」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。



入力します。

- 3 ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードの欄に「user」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。



①ユーザー名に「user」と入力します。

②パスワードに「user」と入力します。

③「OK」ボタンをクリックします。

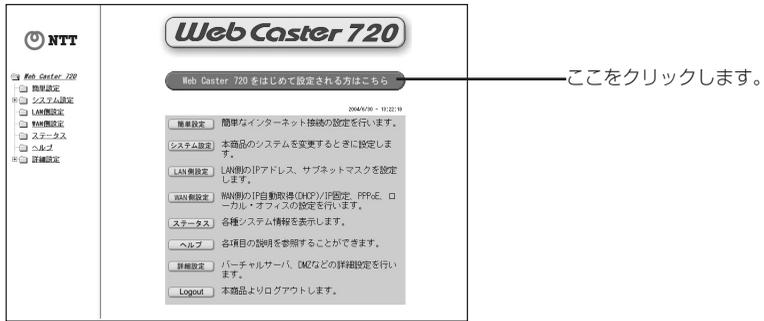
※上の画面はWindows® XPのものですが、他のOSでも手順は同じです。



ワンポイント

- お買い求め時の状態では、ユーザー名とパスワードは「user」に設定されています。
- セキュリティ上、ユーザー名、パスワードを変更することをお勧めします。(●P123)

- 4 設定ユーティリティが起動します。
- 5 設定ユーティリティにある「Web Caster 720をはじめて設定される方はこちら」ボタンをクリックします。



本商品への接続が完了しました。
続いて「簡単設定で本商品の設定をしよう」(●P42)へお進みください。



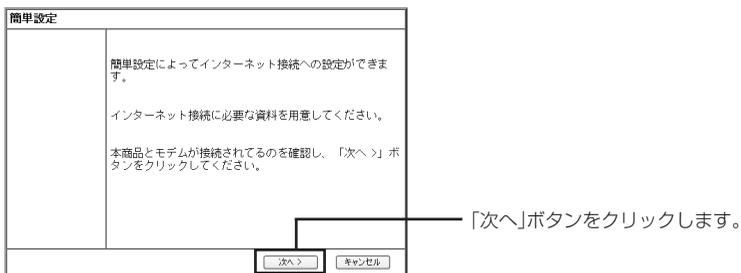
ワンポイント

- 「簡単設定」ボタン、または画面左側にある「簡単設定」をクリックしても同じ画面が表示されます。

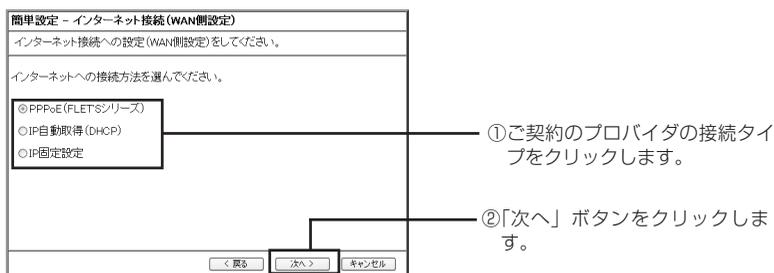
■簡単設定で本商品の設定をしよう

ネットワークへの接続の設定を行います。プロバイダからの契約書などを、お手元にご用意してください。

- 1 「簡単設定」が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



- 2 「簡単設定—インターネット接続(WAN側設定)」が表示されたら、ご契約のプロバイダの接続タイプを選択し「次へ」ボタンをクリックします。



次ページを参考に、該当する接続タイプを選択してください。

● PPPoE (FLET'S シリーズ) - フレッツ・ADSL、B フレッツ等 (このページ)

PPPoEと呼ばれる接続手順を使ってインターネットに接続する場合に選択します。プロバイダよりユーザー名とパスワードが割り当てられます。本商品ではプロバイダの情報を設定ユーティリティに登録すると、「フレッツ接続ツール」などを使用せずに自動的にインターネットに接続できます。

● IP 自動取得 (DHCP) (次ページ)

プロバイダや接続先のネットワーク(ルータ)からIPアドレスが特に指定されていない場合に選択します。DHCP機能を利用して、IPアドレスが自動的に割り当てられます。

● IP 固定設定 - 固定 IP サービス等 (次ページ)

プロバイダや接続先のネットワーク(ルータ)から固定IPアドレスを取得している場合に選択します。

3 接続タイプに応じて「簡単設定」の各項目を設定します。次の接続タイプごとの説明を参考に、設定を行ってください。

● 「PPPoE (FLET'S シリーズ)」の場合

この画面は、下の表の入力例を使用した場合の例です。実際にはご使用の環境に合った値を設定してください。

① 接続ユーザー名、接続パスワードを入力します。

項目名	入力例	説明
①接続ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダより指定された接続ユーザー名*を入力します。
②接続パスワード	Password02	プロバイダより指定された接続パスワード*を入力します。画面上では「●」または「*」で表示されます。 ※ 入力可能な文字は、半角の英数字、記号（「"」「¥」「:」を除く）で25文字までです。 ※ 「"」および「:」以降に入力した文字は、保存されません。

* プロバイダによって呼び方が異なる場合があります。

- ② フレッツ・スクウェアのご利用地域を選択します。

簡単設定 - PPPoE (FLETS'Sシリーズ)

フレッツ・スクウェアをご使用する場合は、ご利用の地域を選択してください。

フレッツ・スクウェア: 東日本

接続ユーザー名: guest@flets

接続パスワード: ****

< 戻る [次へ> キャンセル

① 「東日本」または「西日本」を選択します。

② 「次へ」ボタンをクリックします。

設定が終わったら、「次へ」ボタンをクリックします。
セッション2にフレッツ・スクウェアが設定されます。



ワンポイント

- フレッツ・スクウェアをご使用にならない場合は、①で「利用しない」を選択してください。

● 「IP自動取得 (DHCP)」の場合

「IP自動取得 (DHCP)」を選択した場合は、「簡単設定」で設定する項目はありません。
P45の手順4に進んでください。

● 「IP固定設定」の場合

この画面は、下の表の入力例を使用した場合の例です。実際にはご使用の環境に合った値を設定してください。

簡単設定 - 固定IPアドレス

インターネット接続への設定を手動で行ってください。

プロバイダからのデータを元に設定してください。

WAN側IPアドレス: 12 . 34 . 56 . 78

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

ゲートウェイ: 12 . 34 . 56 . 1

プライマリDNSサーバ: 12 . 34 . 56 . 98

< 戻る [次へ> キャンセル

①

②

③

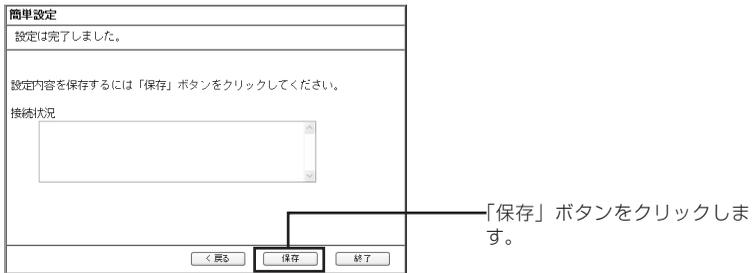
④

⑤ 「次へ」ボタンをクリックします。

項目名	入力例	説明
① WAN 側 IP アドレス	12.34.56.78	プロバイダから指定された IP アドレスを入力します。
② サブネットマスク	255.255.255.0	プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力します。
③ ゲートウェイ	12.34.56.1	プロバイダから指定されたゲートウェイの IP アドレスを入力します。
④ プライマリ DNS サーバ	12.34.56.98	ローカルに DNS サーバを設置する場合、またはプロバイダから DNS サーバの IP アドレスを提供されている場合に入力します。

設定が終わったら「次へ」ボタンをクリックします。

- 4 次の画面が表示されたら、「保存」ボタンをクリックします。



- 5 次のメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックします。



- 6 しばらくすると、接続状況が表示されるので確認して「終了」ボタンをクリックします。パソコン、モデムと本商品の設定、接続に問題がなければ、接続状況の欄に「インターネット 接続 OK」と表示されます。

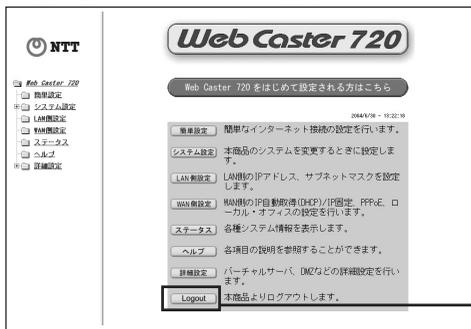


ワンポイント

- 「インターネット 接続 OK」と表示されなかった場合は、手順4からの操作を行ってください。それでも「インターネット 接続 OK」と表示されなかった場合は、「接続に失敗したときは」(●P46)を参照して対処してください。

- 7 Web Caster 720 接続・設定ソフトを使って設定している場合は、「Web Caster 720 接続・設定 CD-ROM」をパソコンから取り出します。手動でパソコンのネットワークを設定している場合は、手順8へお進みください。

8 「Logout」ボタンをクリックして設定ユーティリティを終了します。



「Logout」ボタンをクリックします。

「このウィンドウを閉じますか?」と表示されますので、「はい」ボタンをクリックして終了してください。

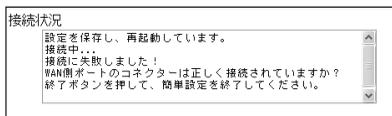


ワンポイント

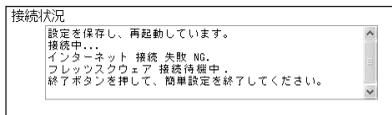
- その他の設定項目については、「STEP3 設定ユーティリティを見よう」(P50)をご覧ください。本商品のより高度な使用方法については、「STEP4 こんなときにはこの設定」(P99)をご覧ください。
- PPPoEセッションを同時に2つ使用する(マルチPPPoE)場合には、「PPPoEで2つの接続先を使い分けるには」(P103)をご覧ください。

●接続に失敗したときは

設定終了後、次のような画面が表示されたときは、メッセージの内容を確認して、再度、簡単設定をやり直してください。



この画面が表示されたときは、WANポートのLANケーブルが正しく接続されていない可能性があります。接続を確認してください。



上の画面のような表示や「PPPoEサーバが見つかりません」「リモートサーバからの応答がありません」等が表示された場合、次のような原因が考えられます。

- ・ユーザー名がパスワードの入力を間違えている
 - ・プロバイダからの契約書類などを確認して、正しく入力してください。
 - ・モデムと回線とが正しく接続されていない。
- モデムとスプリッタ、スプリッタとモジュラコンセントなどが正しく接続されているか、確認してください。

インターネットに接続しよう

パソコンと設定ユーティリティの設定が終わったら、インターネットに接続できるか確認します。

- 1 本商品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。
- 2 Webブラウザのアドレス入力欄に次のURLを入力し、通信ができることを確認してください。

NTT東日本

<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>



(2004年7月現在)

NTT西日本

<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>



(2004年7月現在)

以上で本商品が使えるようになりました。



お知らせ

- ご契約のプロバイダによっては、設定後、インターネットに接続できるようになるまでに、時間がかかる場合があります。詳しくは、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

もし、インターネットにつながらなかった場合は、「STEP5 トラブルや疑問があったら」(P117)をご覧ください。

2 台目以降のパソコンを接続する場合

商品に接続したいパソコンが2台以上ある場合は、本商品の設定を行う必要はありませんが、パソコンのネットワーク環境を確認する必要があります。以下の項目を参照して、本商品に接続してください。

● Windows® の場合

Windows®のパソコンでは、「手でパソコンのネットワーク設定をする場合は」(●P26)、「Webブラウザの設定をしよう」(●P39)、「モデム、パソコンと本商品を接続しよう」(●P20)を参照し、同じ手順でパソコンの設定を行い、本商品のLAN側ポートとパソコンをLANケーブルで接続してください。

● Mac OS の場合

Mac OS X Version 10.3.4 の場合で説明します。それ以外のバージョンは、OS 付属の取扱説明書やヘルプを参照してください。

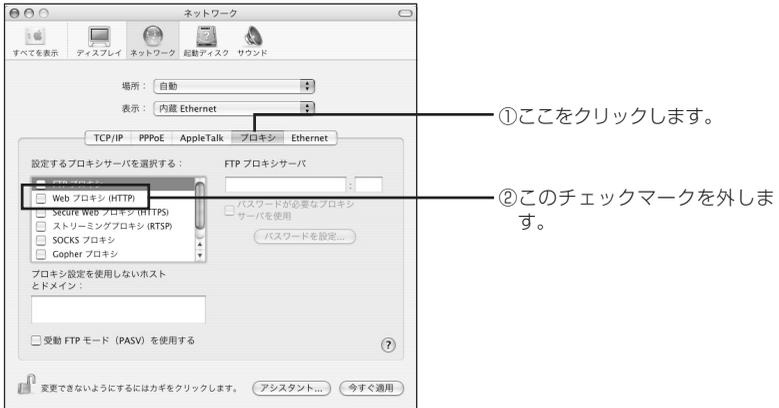
- 1 「アップルメニュー」—「システム環境設定」をクリックします。
- 2 「システム環境設定」画面で「インターネットとネットワーク」から「ネットワーク」をクリックします。



- 3 「内蔵Ethernet」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。
- 4 「TCP/IP」タブの「IPv4を設定」で「DHCPサーバを参照」を選択します。



- 5 次に「プロキシ」タブをクリックして、「Webプロキシ(HTTP)」のチェックマークを外します。



- 6 「今すぐ適用」ボタンをクリックします。

- 7 本商品のLAN側ポートとパソコンをLANケーブルで接続します。

STEP3 設定ユーティリティを見てみよう

本商品を使っていて「高度な機能を使いこなしたい」「設定ユーティリティの詳細な情報が知りたい」と思ったときは、こちらから探してください。

設定ユーティリティの全体構成について

Web Caster 720 …設定ユーティリティの目次です	P54
簡単設定 …インターネット設定をします	P54
システム設定 …管理者のログイン名やパスワード等を設定します	P55
ファームウェア更新 …ファームウェアの更新をします	P56
LAN側設定 …パソコン側(LAN)の設定をします	P57
WAN側設定 …インターネット側(WAN)の設定をします	P58
IP自動取得(DHCP)/IP固定 …DHCP機能を利用するときに設定します	P60
PPPoE …主にフレッツADSL、Bフレッツなどで設定します	P62
ローカル・オフィス …主に社内LANなどで設定します	P70
ステータス …現在の各種システム情報を表示します	P71
ヘルプ …各項目の説明を表示します	P53
詳細設定	
バーチャル・サーバ …公開するサーバがあるときに設定をします	P72
スペシャル・アプリケーション	
…インターネットを使用するアプリケーションが動作しない場合ここで設定します	P74
DMZ …LAN上のパソコンにすべての入出力アクセスを可能とします	P76
ダイナミックDNS …インターネット側からバーチャル・サーバ等に接続できます	P77
セキュリティ …セキュリティ設定をします	P79
DHCPサーバ …DHCPサーバを使用するときに設定します	P86
PCデータベース …クライアントパソコンのIPアドレスを設定します	P87
ログ表示 …ログ情報を表示、書き換えをします	
アクセスログ …アクセス制限機能にブロックされた情報をログに保存します	P89
DoSアタックログ …DoSアタックが発生した際、そのログを保存します	P90
インターネット接続ログ …インターネットの接続に関するログを保存します	P91
ルーティング …LAN上に他のルータ等がある場合はここで設定します	P92
スタティック …スタティック・ルーティングを使用するときに設定します	P92
ダイナミック(RIP) …ダイナミック・ルーティングを使用するときに設定します	P93
レポート …設定されているすべてのルーティングリストを作成します	P93
その他各種設定	
バックアップDNS …バックアップ用DNSサーバがある場合は設定します	P94
E-Mail …ログ情報を指定したメールアドレスに送信したいときに設定します	P94
リモート …インターネット(WAN側)から本商品の設定をしたいときに設定します	P96
UPnP …UPnPを使用するときに設定します	P97
UPnP使用ポート …UPnPで使用しているポートを確認します	P97
IPv6 …IPv6ブリッジを無効にする場合に設定します	P98



お知らせ

- 各項目の設定を変更した際は、必ず「システム設定」の「再起動」の「実行」ボタンをクリックし、本商品を再起動させてください。「再起動」を実行しないと、設定変更内容が本商品に反映されないことがあります。

設定ユーティリティの使い方

設定ユーティリティを起動すると、トップページの画面が表示されます。

設定ユーティリティの起動方法は、「STEP2 ネットワークに接続しよう」「簡単に接続しよう」(●P40)を参照してください。

●トップページの画面構成

画面左側には、設定ユーティリティの全体構成が表示されています。設定ユーティリティの各設定を行うときは、この全体構成の各項目をクリックして設定画面を表示させます。

Web Caster 720

Web Caster 720 をはじめて設定される方はこちら

2000/1/1 - 0:3:15

簡単設定	簡単なインターネット接続の設定を行います。
システム設定	本商品のシステムを変更するときに設定します。
LAN側設定	LAN側のIPアドレス、サブネットマスクを設定します。
WAN側設定	WAN側のIP自動取得(DHCP)/IP固定、PPPoE、ローカル・オフィスの設定を行います。
ステータス	各種システム情報を表示します。
ヘルプ	各項目の説明を参照することができます。
詳細設定	バーチャルサーバ、DMZなどの詳細設定を行います。
Logout	本商品よりログアウトします。

●設定ユーティリティを終了するには

必ずトップページの画面に戻り、「Logout」ボタンをクリックします。

ステータス	各種システム情報を表示します。
ヘルプ	各項目の説明を参照することができます。
詳細設定	バーチャルサーバ、DMZなどの詳細設定を行います。
Logout	本商品よりログアウトします。

「Logout」ボタンをクリックします。

●トップページに戻る、1つ前の画面に戻る

機能を設定し、設定画面からトップページや、1つ前の画面に戻るには、「戻る」ボタンをクリックします。

初期化	実行
再起動	実行
設定保存	保存
設定読み込み	読み込み
ファームウェア更新	
更新 取消 戻る	

各設定画面の「戻る」ボタンをクリックします。

また、各設定画面が表示されている状態で、画面左側に表示されている「Web Caster 720」をクリックしてもトップページに戻ることができます。

NTT	WAN側設定	
	<input checked="" type="radio"/> IP自動取得 (DHCP)/IP固定	<input type="radio"/> PPPoE
<input checked="" type="radio"/> ローカル	IP自動取得 (DHCP)/IP固定 ヘルプ	
Web Caster 720	MACアドレス	00-0A-79-3E-00-91
初期設定	タイプ	<input checked="" type="radio"/> IP自動取得 (DHCP) <input type="radio"/> IP固定
システム設定	ドメイン名	
ファームウェア更新	コンピュータ名	
LAN側設定	MTU 値	1500 バイト (576 ~ 1500)
動作確認		
ステータス		
ヘルプ		
詳細設定		

ここをクリックします。

●機能を設定し、設定した内容を反映させるには

各機能の設定画面の下にある「設定」または「更新」ボタンをクリックします。必ず次に、「システム設定」—「再起動」の「実行」ボタンをクリックして、再起動させてください。

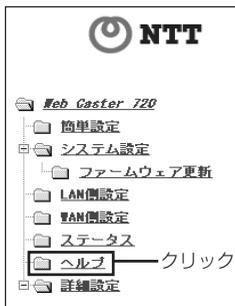
初期化	実行
再起動	実行
設定保存	保存
設定読み込み	読み込み
ファームウェア更新	
更新 取消 戻る	

各設定画面の「設定」または「更新」ボタンをクリックしてから、再起動の「実行」ボタンをクリックします。

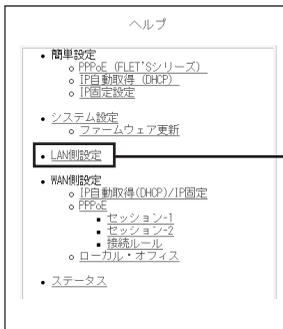
●設定内容がわからないときは（ヘルプ）

設定ユーティリティの内容がわからないときは「ヘルプ」を参照することができます。メニューリストの「ヘルプ」が、各画面にある「ヘルプ」ボタンをクリックしてください。

- ・メニューリスト(画面左)に表示されている「ヘルプ」をクリック

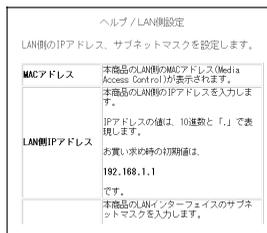


ヘルプ全体の項目が表示されます。



下線があるところをクリック

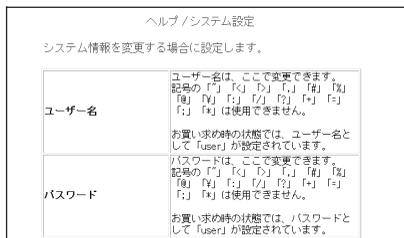
各画面の説明が表示されます。



- ・各画面にある「ヘルプ」ボタンをクリック



各画面の説明が表示されます。



設定画面の各機能



ワンポイント

- 以下の説明では、画面例を掲載しています。実際にはご使用の環境に合った値を入力してください。
- 各設定画面にある「ヘルプ」ボタンをクリックすると、説明が表示されます。
- 設定変更を行った際は、各画面下にある「設定」または「更新」ボタンをクリックして、設定内容を保存してください。

● Web Caster 720(トップページ)

設定ユーティリティ起動時の画面です。

終了時には「Logout」ボタンをクリックすると、画面を閉じることができます。

●簡単設定 ～まずインターネットに接続する～

簡単なインターネット接続の設定を行います。設定の詳細については、「STEP2 ネットワークに接続しよう」「簡単設定で本商品の設定をしよう」(●P42)を参照してください。

●システム設定 ～本商品のシステムを変更する～

本商品のシステムを変更するときに設定します。変更した後は「再起動」を実行します。

項目名	説明
①ユーザー名	本商品の管理者用のユーザー名を変更します。設定以降はこのユーザー名でユーティリティ設定を行います。 ※入力可能な文字は、半角の英数、記号で12文字までです。* ※お買い求め時の設定は「user」です。
②パスワード	本商品の管理者用のパスワードを設定します。空欄にした場合、設定変更するときにパスワードは入力不要です。 ※入力可能な文字は、半角の英数、記号で12文字までです。* ※お買い求め時の設定は「user」です。
③パスワードの確認	確認のため、「パスワード」(②) で入力したパスワードを再度入力します。
④ NAT テーブル保持時間	NATテーブルの保持時間を設定します。設定時間を長くすることで、FTP サーバ等への長時間の接続に対応します。通常のインターネット接続等では設定する必要はありません。
⑤ URL ホーム	設定した URL をブラウザ画面で入力すると、本商品の設定ユーティリティのトップページを表示させることができます。 ・アドレスには「.」(ドット)を組み込んで3～24文字以内で設定します。* ・「.」(ドット)はアドレスの先頭、末尾には使用しないでください。 ※お買い求め時の設定は「nnt.setup」です。
⑥ PPPoE ブリッジ機能	「使用する」にすると、本商品の PPPoE を使用せずに、直接クライアントパソコン(インターネット接続されているパソコン)の PPPoE 接続ツールを使用して PPPoE 接続します。「使用しない」すると、常に本商品の PPPoE 接続機能を使用します。
⑦ 時間設定	・「自動設定」にすると、上位のサーバを通して自動的に時刻を検出して設定します。 ・「手動設定」にすると、「(西暦)年/月/日」と「時/分/秒」の設定ができます。設定した時刻は、本商品の電源を切るとリセットされます。

* 記号の "< > , # % @ ¥ : / ? + = ; * は使用できません。また、「URL ホーム」(⑨) では「&」も使用できません。

項目名	説明
⑧初期化	本商品で設定した項目をすべてお買い求め時の状態に戻します。 ※今までの設定は削除されますので、実行する前に設定を「設定保存」(⑩)で保存するとともに内容を控えておくことをおすすめします。
⑨再起動	本商品の設定を変更した後に実行します。本商品が再起動され、設定した内容に変更されて動作します。
⑩設定保存	本商品で設定した項目をパソコンにファイル形式で保存します。設定のバックアップ等にご使用ください。
⑪設定読込	「設定保存」(⑩)で保存した設定情報を読み込みます。
⑫ファームウェア更新	本商品のファームウェアを更新します。(下記参照)



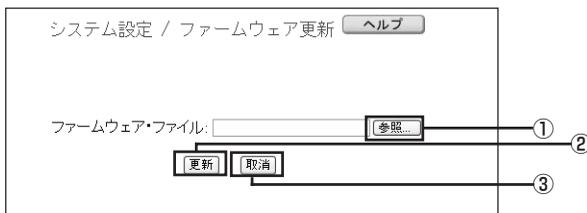
ワンポイント

- 「NATテーブル保持時間」(④)の設定を超えると、FTPサーバなどのセッションが切断されます。
- NATテーブルのテーブル数は「1,000」です。登録数が「1,000」を超える場合、登録済のNATテーブルの保持時間が満了するまで新規に登録できません。

・ファームウェア更新

ファームウェアの更新について詳しくは「STEP5 トラブルや疑問があったら」「最新のファームウェアを入手してアップデートしたい」(P128)を参照してください。

- 1 当社のホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてパソコン内に保存します。その際は保存先を確認してください。
- 2 「ファームウェア・ファイル」に1で保存した場所を入力または選択し、「更新」ボタンをクリックします。



項目名	説明
①参照	ファームウェアのファイルを選択するときをクリックします。
②更新	本体のファームウェアの更新を開始します。
③取消	本体のファームウェアの更新を中断します。



お知らせ

- 更新中は絶対に本商品の電源を切らないでください。
- 更新中にブラウザの操作をすると、ファームウェアの更新が中断され、ルータが使用できなくなる恐れがあります。

● LAN 側設定 ～パソコン（LAN）側の設定をする～

LAN 側の IP アドレス、サブネットマスクを設定します。LAN 側の IP アドレスを変更したい場合に設定してください。

LAN側設定 ヘルプ

MACアドレス XX-XX-XX-XX-XX-XX

LAN側IPアドレス 192, 168, 1, 1

サブネットマスク 255, 255, 255, 0

設定 取消 戻る

①
②
③

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします

項目名	入力例	説明
① MAC アドレス	—	本商品のLAN側のMACアドレスが表示されます。
② LAN 側 IP アドレス	192.168.1.1	本商品の LAN 側の IP アドレスを入力します。IP アドレスの値は「0～255」までの数字で入力します。特殊な設定以外は、お買い求め時の状態で使用することをお勧めします。 ※お買い求め時の設定は「192.168.1.1」です。
③ サブネットマスク	255.255.255.0	本商品の LAN インタフェースのサブネットマスクを入力します。サブネットマスクの値は「0～255」までの数字で入力します。 ※お買い求め時の設定は「255.255.255.0」です。

● WAN 側設定 ～インターネット（WAN）側の設定をする～

WAN側のIP アドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスの設定、PPPoE の設定などインターネットに接続するための基本となる設定を行います。ご契約されたプロバイダの接続タイプに合わせて設定してください。「簡単設定」で設定済みの場合は、その設定内容が表示されます。



ワンポイント

- 通常は「簡単設定」から設定を行ってください。

- 1 「WAN側設定」ボタンをクリックします。
- 2 ご契約のプロバイダの接続タイプを選択します。



・DHCPを利用する場合（☛P60）

プロバイダや接続先のネットワーク（ルータ）からIPアドレスが特に指定されていない場合に選択します。DHCP 機能を利用して、IP アドレスが自動的に割り当てられます。「IP自動取得（DHCP）/IP固定」を選択してください。

・IP固定（固定IPアドレス）で接続する場合（☛P61）

プロバイダや接続先のネットワーク（ルータ）から固定IPアドレスを取得している場合に選択します。「IP自動取得（DHCP）/IP固定」を選択してください。



ワンポイント

- 各プロバイダが提供する固定IPアドレスサービスで、Bフレッツやフレッツ・ADSLによる接続を行う場合は、「PPPoE」を選択します。

・ PPPoE 接続の場合 (☛P62)

PPPoE と呼ばれる接続手順を使ってインターネットに接続する場合に選択します。プロバイダよりユーザー名とパスワードが割り当てられます。また、マルチ PPPoE 接続 (PPPoE セッションを同時に 2 つ使用する場合) する場合にも選択します。「PPPoE」を選択してください。



ワンポイント

- 本商品は、1 つのプロードバンド回線で、通常インターネットに接続する PPPoE 接続 (セッション-1) とは別に、特定の接続先に他の経路 (セッション-2) で接続できます。これによりインターネットサービスプロバイダと接続したまま、同時に PPPoE を利用したサービスを利用することができます。

・ Unnumbered IP 機能による PPPoE 接続の場合 (☛P62)

プロバイダから複数の WAN 側の IP アドレス (グローバル IP アドレス) を取得し、PPPoE 接続する場合に選択します。「PPPoE」を選択してください。



ワンポイント

- Unnumbered IP 機能とは、プロバイダから取得した複数の WAN 側の IP アドレス (グローバル IP アドレス) をパソコンに割り当てて使用することができる機能です。インターネットに公開することにより、Web サーバやメールサーバ、DNS サーバなどを運用することができます。

・ ローカルルータとして接続する場合 (☛P70)

本商品をローカルルータとして使用する場合に選択します。「ローカル・オフィス」を選択してください。

- 3 「設定」ボタンをクリックして、設定内容を保存します。
- 4 「システム設定」の「再起動」の「実行」ボタンをクリックします。

<DHCPを利用する場合：IP自動取得（DHCP）>

プロバイダや接続先のネットワーク（ルータ）からIPアドレスが特に指定されていない場合に選択します。DHCP機能を利用して、IPアドレスが自動的に割り当てられます。

The screenshot shows a configuration window titled "IP自動取得(DHCP)/IP固定" with a "ヘルプ" button. The fields are as follows:

- ① MACアドレス: XX-XX-XX-XX-XX-XX
- ② タイプ: IP自動取得(DHCP) IP固定
- ③ ドメイン名: []
- ④ コンピュータ名: []
- ⑤ MTU値: 1500 バイト(576 ~ 1500)
- ⑥ DNSサーバ: 自動設定 マニュアル設定
- プライマリDNSサーバアドレス: [][][][][][]
- セカンダリDNSサーバアドレス: [][][][][][]

Buttons at the bottom: [設定] [取消] [戻る]. A note below the window says: "設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします"

項目名	入力例	説明
① MAC アドレス	—	本商品のWAN 側のMAC アドレスが表示されます。
②タイプ	IP 自動取得 (DHCP)	DHCP機能を利用してIPアドレスを自動的に取得する場合、プロバイダからIPアドレスを自動的に割り当てられる場合に、「IP自動取得(DHCP)」を選択します。
③ドメイン名	—	プロバイダからドメイン名を指定されている場合、または独自にドメイン名をお持ちの場合に入力してください。指定がない場合は空欄にしてください。 ※ 入力可能な文字は、半角の英数字、記号で40文字までです。*
④コンピュータ名	—	プロバイダから指定された場合、コンピュータ名を入力します。 ※ 入力可能な文字は、半角の英数字、記号で40文字までです。*
⑤ MTU 値	1500	ユーザーが576 から1500 までの範囲で割り当てることができます。能力の高い接続環境であるほど高い数値を入れると速い速度で送信できます。接続環境に合わせて変更してください。
⑥ DNS サーバ	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動設定：プロバイダよりDNSサーバを自動設定するような指示があった場合、または特に指示がなかった場合に選択します。 ・ マニュアル設定：プロバイダからDNSサーバのIPアドレスを指示された場合に選択し、指定されたIPアドレスを「プライマリDNSサーバアドレス」「セカンダリDNSサーバ」に入力します。

*記号の "<> , # % @ ¥ / ? + = ; * は使用できません。

<IP 固定で接続する場合：IP 固定>

プロバイダや接続先のネットワーク（ルータ）から固定IPアドレスを取得している場合に選択します。

The screenshot shows the 'IP 自動取得 (DHCP) / IP 固定' configuration window. It includes fields for MAC address, IP type (DHCP or Fixed), WAN IP address, subnet mask, default gateway, MTU value, and DNS server settings. Numbered callouts 1 through 7 point to the following elements:

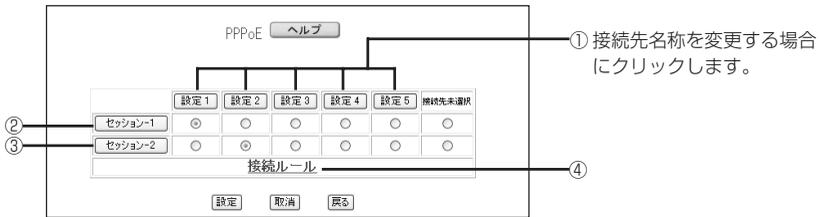
- ① MAC アドレス
- ② IP 固定 (selected radio button)
- ③ WAN 側 IP アドレス
- ④ サブネットマスク
- ⑤ デフォルト・ゲートウェイ
- ⑥ MTU 値
- ⑦ DNS サーバ (manual setting selected)

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします

項目名	入力例	説明
① MAC アドレス	—	本商品のWAN 側のMAC アドレスが表示されます。
②タイプ	IP 固定	プロバイダから固定IP アドレスを割り当てられている場合 (固定IP サービス等) に、「IP 固定」を選択します。
③WAN 側 IP アドレス	12. 34. 56. 78	プロバイダから指定されたIP アドレスを入力します。
④サブネットマスク	255. 255. 255. 255	プロバイダから指定されたサブネットマスクのアドレスを入力します。
⑤デフォルト・ゲートウェイ	12.34.56.1	プロバイダから指定されたゲートウェイのアドレスを入力します。
⑥MTU 値	1500	ユーザーが576 から 1500 までの範囲で割り当てることができます。能力の高い接続環境であるほど高い数値を入れると速い速度で送信できます。接続環境に合わせて変更してください。
⑦DNS サーバ	12.34.56.98	プロバイダからDNSサーバのIPアドレスを指示された場合に選択し、指定されたIP アドレスを「プライマリDNSサーバアドレス」「セカンダリDNSサーバアドレス」に入力します。

<PPPoE 接続の場合：PPPoE…フレッツ ADSL、B フレッツなど>

PPPoE アカウント(インターネットに接続する際に必要な ID)の設定をします。



項目名	説明
① 設定 1～5	接続先の名称を変更する場合にクリックします。 ※入力可能な文字は、全角 8 文字、半角 16 文字までです。
② セッション-1	「セッション-1」を設定するときにクリックします。(●P63)
③ セッション-2	「セッション-2」を設定するときにクリックします。(●P67)
④ 接続ルール	「セッション-2」で指定した接続先で通信を行うためのルールを設定します。(●P68)



ワンポイント

- 設定する前に、プロバイダから指定された「ユーザー名」「パスワード」などをご確認ください。
- PPPoE で 2 つの接続先を使い分けるときは、通常のプロバイダの設定を「セッション-1」の「設定 1」に設定し、もう 1 つの接続を (たとえばフレッツ・スクウェアなど) を「セッション-2」の「設定 2」に設定します。
- Unnumbered IP 機能で接続する場合は、「セッション-1」に設定してください。

・セッション-1

「セッション-1」は通常インターネットを利用するためのプロバイダの設定をするときに選択します。

項目名	入力例	説明
①セッション選択	セッション-1	「セッション-1」を選択します。
②接続先名選択	設定1 選択中	5つのアカウントから選択できます。ただし、「セッション-1」で登録したアカウントは「セッション-2」では使用できません。アカウントを選択して、④～⑬までの設定を行い、下の「設定」ボタンをクリックして設定を保存します。 接続先名称を変更するときは、右横にある「設定」ボタンをクリックします。
③MACアドレス	—	本商品のMACアドレスが表示されます。
④接続ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダより指定されたユーザー名(プロバイダによって呼び方が異なる場合があります)を入力します。“@”から後ろもすべて入力します。 ※ 入力可能な文字は、半角の英数字、記号で80文字までです。*

*記号の“¥”は使用できません。

項目名	入力例	説明
⑤接続パスワード	Password02	プロバイダより指定されたパスワード(プロバイダによって呼び方が異なる場合があります)を入力します。パスワードは画面上では「●」や「*」で表示されます。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で80文字までです。*
⑥接続パスワードの確認	Password02	確認のため、「接続先パスワード」(⑤)で入力したパスワードをもう一度入力します。
⑦接続方法	要求時	インターネットへの接続方法を選択します。 ・ 常時：何らかの原因で接続が切れた場合、自動的に再接続します。 ・ 要求時：パソコンからインターネットへの接続要求があった場合に、自動的に PPPoE 接続を開始します。 ・ 手動：手動で接続しない限りインターネット接続を行いません。接続するときは、「WAN 側設定」－「PPPoE」－「状態」(⑩)－「接続」の順にクリックします。
⑧無通信監視タイマ	30	「接続方法」(⑦)で「要求時」または「手動」を選択した場合に表示されます。プロバイダへの接続後、通信を行わなくなってから自動切断までの時間(分)を入力します。
⑨ MTU 値	自動調整	「自動調整」のチェックボックスをチェックすると、MTU 値が自動的に調節されます。「自動調整」のチェックボックスのチェックを外すと、576バイト～1492バイトの範囲で設定できます。

*記号の "¥" は使用できません。

項目名	入力例	説明
⑩接続タイプ	PPPoE	<p>使用するPPPoEサービスの接続タイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PPPoE(セッション-2 設定可): 通常のマルチ PPPoE 接続で通信をします。 ・ Unnumbered IP(セッション-1 のみ): 複数のグローバルIP を使用するサービスを利用する際に使用します。ルータ IP とサブネットマスクは、本商品の IP アドレスとして同じアドレスが WAN 側 / LAN 側に設定されます。 グローバルIPをLAN側(パソコン側)で使用するときにはLAN側でグローバルIPを固定で設定してください。 ・ Unnumbered IP+Private IP(セッション-1 のみ): 複数のグローバルIP とプライベートIP を同時に使用することができます。Unnumbered IP 設定に対してルータ IP を設定することで本商品のグローバルIP を使ってIP マスカレード機能を使用することができます。グローバルIP をLAN 側で使用する場合は、パソコン側でグローバルIP を固定で設定してください。
⑪ルータ IP	202.87.250.10	<p>「接続タイプ」(⑩) で、「Unnumbered IP」または「Unnumbered IP+Private IP」を選択した場合に表示されます。 プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。</p>
⑫サブネットマスク	255.255. 255.248	<p>「接続タイプ」(⑩) で、「Unnumbered IP」または「Unnumbered IP+Private IP」を選択した場合に表示されます。 プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力します。</p>
⑬DNS サーバ	12.34.56.98	<p>プロバイダから指定されたDNSサーバのアドレスの入力方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動設定: プロバイダよりDNSサーバを自動設定するような指示があった場合、または特に指示がなかった場合に選択します。 ・ マニュアル設定: プロバイダからDNSサーバのIPアドレスを指示された場合に選択し、指定されたIPアドレスを「プライマリDNSサーバアドレス」「セカンダリDNSサーバアドレス」に入力します。

項目名	入力例	説明
⑭設定	—	設定または変更する場合にクリックします。
⑮取消	—	設定または変更する内容を取り消すときにクリックします。
⑯戻る	—	PPPoE設定の選択画面に戻るときにクリックします。
⑰状態	—	本商品の現在の状態を表示するときにクリックします。「接続方法」(⑦)で「手動」を選択しているときは、このボタンをクリックして表示される画面で「接続」ボタンをクリックして接続します。

・セッション-2

インターネット接続をしたまま、PPPoEを利用したサービスを利用する場合に選択します。セッション-2は、セッション-1の設定項目「接続タイプ」(⑩)が「LAN TYPE」に替わるだけで、その他の項目はセッション-1と同じ設定内容です。

PPPoE / セッション-2 ヘルプ

セッション選択 セッション-2 ①

接続先名選択	設定2 選択中 <input type="button" value="設定"/>
MACアドレス	XX-XX-XX-XX-XX-XX
接続ユーザー名	guest@flets
接続パスワード	●●●●
接続パスワードの確認	●●●●
接続方法	要求時
無通信監視タイマ	30 分 (0 ~ 60)
MTU 値	1454 バイト (576 ~ 1492) <input checked="" type="checkbox"/> 自動調整
LAN TYPE	使用しない ②
ルータ IP	□. □. □. □
サブネットマスク	□. □. □. □
DNSサーバ	<input checked="" type="radio"/> 自動設定 <input type="radio"/> マニュアル設定
プライマリDNSサーバアドレス	□. □. □. □
セカンダリDNSサーバアドレス	□. □. □. □

項目名	説明
①セッション選択	上の画面を表示させるときは「セッション-2」を選択します。
② LAN TYPE	<p>フレッツ・グループアクセス(NTT 東日本)/ フレッツグループ(NTT西日本)LAN型払い出しサービスをセッション-2で使用する場合、「有効」を選択します。</p> <p>選択して「グローバルLAN IP アドレスとサブネットマスクを変更してください」と表示された場合は、設定するパソコンの固定IPアドレスを変更します。</p>



お知らせ

- PPPoEサービスを提供している回線が、Bフレッツ・ベーシックタイプなどのように、複数の接続に対応している必要があります。
- 利用のための契約や登録が必要であるサービスがあります。事前にそれらを完了しておいてください。
- セッション-2の接続での登録済アプリケーション、スペシャル・アプリケーションのご利用はできません。
- 本商品を再起動した場合、本商品に保存されているDNS情報がクリアされるため、「接続ルール(接続先設定)」(●P68)で追加したセッション-2のドメインのルーティングができないことがあります。パソコンを再起動するか、しばらく時間をおいてから、接続してください。

・接続ルール（接続先設定）

PPPoE 設定画面で登録した「セッション-2」経由で接続するネットワークの設定を行います。
(例:B フレッツ等)

1 「追加」ボタンをクリックします。



2 追加の画面が表示されるので、各項目を設定してください。



項目名	入力例	説明
①接続先名選択	設定 1	接続するアカウントを選択します。
②ルール選択	—	接続先に使用するルールを選択します。選択する項目によって、以下の設定する項目が異なります。フレッツ・グループアクセス (NTT 東日本)/フレッツ・グループ (NTT 西日本)のLAN型払い出し(●P105)に接続する場合は、「IP アドレス (FG/FGA)」を選択します。
③ドメイン名	.flets/	接続先のドメイン名を入力します。*
④ IP アドレス	10.20.30.1-2	接続先の IP アドレスの範囲を入力します。単独で IP アドレスを設定する場合は、終了アドレスに「同じアドレス」を入力してください (例: 10.20.30.60-60)。
⑤ネットワーク	172.25.0.0/16	接続先の IP アドレスを含むネットワークアドレスを入力します。
⑥開始 / 終了ポート	—	接続先の開始および終了ポート番号を入力します。単独でポート番号を設定する場合は、開始ポートと終了ポートに同じ数字を入力します (例: 35-35)。

*記号の " < > , # % @ ¥ : ? + = ; * は使用できません。

項目名	入力例	説明
⑦ Net Bios	—	TCP/IPを使いインターネット経由でファイル共有等をするための機能です。 「ルール選択」(②)で「IP アドレス+ポート番号」/「ネットワーク+ポート番号」を選択した場合に表示されます。 「ルール選択」(②)で「IPアドレス(FG/FGA)」を選択すると、自動的に機能が有効となります。
⑧ プロトコル	—	使用するプロトコルを選択します。



ワンポイント

- 「jp」のみ登録した場合は、「jp」を含むすべてのドメインを登録したことになります。
(例) www.abcd.co.jp
 www.abcd-jp.com
最後に「/」を入力すると文字列の終わりを示します。
「.jp/」と登録すると、「www.abcd-jp.com/」は該当せず、「www.abcd.co.jp」のみセッション-2で通信するようになります。
- 階層で接続先を登録する場合は以下のように登録してください。
 - ・.jp/ : 「jp」が付くすべてのドメインが登録されます。
 - ・.co.jp/ : 「co.jp」が付くすべてのドメインが登録されます。
 - ・.xxxx.co.jp/ : 「xxxx.co.jp」が付くすべてのドメインが登録されます。
- フレッツ・スクウェアを接続先に登録する場合は「.flets/」を登録してください。
- NetBios関連のポート(135、137、138、139、445、3389)は、「NetBios」(●P68)にチェックを付けることで、設定できます。なお、これらのポート番号は、手動設定できません。手動で設定を行った場合や、正しく設定されていない場合には、いったん削除してから、「NetBios」にチェックを付けて保存してください。

〈ローカルルータとして接続する場合：ローカル・オフィス〉社内LANなど

オフィス内でローカルルータとして使用する場合に設定します。

例:社内LANとして使用する

「STEP4 こんなときにはこの設定」「社内LANとして使用するには」(●P112)

WAN側設定

IP自動取得(DHCP)/IP固定
 PPPoE
 ローカル・オフィス

ローカル・オフィス [ヘルプ](#)

MACアドレス	XX-XX-XX-XX-XX-XX	①
WAN側IPアドレス	12 . 34 . 56 . 78	②
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	③
デフォルト・ゲートウェイ	12 . 34 . 56 . 1	④
プライマリDNSサーバアドレス	12 . 34 . 56 . 98	⑤
セカンダリDNSサーバアドレス	

設定が終了したら「設定」ボタンをクリックします。

項目名	入力例	説明
① MAC アドレス	—	本商品のインターネット側(WAN側)のMACアドレスが表示されます。
② WAN側IPアドレス	12.34.56.78	WAN側の本商品のIPアドレスを入力します。
③ サブネットマスク	255.255.255.0	WAN側の本商品のサブネットマスクを入力します。
④ デフォルト・ゲートウェイ	12.34.56.1	WAN側のデフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。
⑤ プライマリDNSサーバアドレス、セカンダリDNSサーバアドレス	12.34.56.98	ネットワーク管理者から割り当てられたDNSサーバアドレスを入力します。

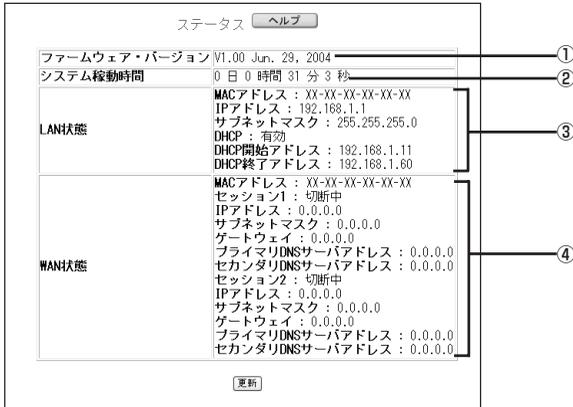


お知らせ

- ローカル・オフィスでご使用になる場合は、「詳細設定」-「セキュリティ」画面を表示させ、「ステートフル・パケット・インスペクション」を必ず「使用しない」に設定してください。(●P79)

●ステータス ～現在の接続状態を表示する～

各種システム情報を表示します。変更した後は「更新」ボタンをクリックすると最新が情報を表示されます。



項目名	説明
① ファームウェア・バージョン	本商品のファームウェアのバージョンが表示されます。
② システム稼働時間	システムを立ち上げてからの経過時間が表示されます。
③ LAN 状態	<p>MAC アドレス 本商品の LAN 側の MAC アドレスが表示されます。</p> <p>IP アドレス 本商品の LAN 側の IP アドレスが表示されます。</p> <p>サブネットマスク 本商品の LAN 側のサブネットマスクが表示されます。 ※お買い求め時の設定は「255.255.255.0」です。</p> <p>DHCP DHCP の状態(有効 / 無効)を表示します。</p> <p>DHCP 開始アドレス LAN上に分配するIPアドレスの開始アドレスが表示されます。</p> <p>DHCP 終了アドレス LAN上に分配するIPアドレスの終了アドレスが表示されます。</p>
④ WAN 状態	<p>MAC アドレス 本商品の WAN 側の MAC アドレスが表示されます。</p> <p>IP アドレス 本商品の WAN 側の IP アドレスが表示されます。</p> <p>サブネットマスク 本商品の WAN 側のサブネットマスクが表示されます。</p> <p>ゲートウェイ 本商品の WAN 側のゲートウェイアドレスが表示されます。</p> <p>プライマリDNSサーバアドレス、セカンダリDNSサーバアドレス 本商品が取得(設定)された DNS アドレスが表示されます。 ※お買い求め時の設定は「0.0.0.0」です。</p>

●詳細設定 ～バーチャル・サーバ、DMZ などの設定をする～

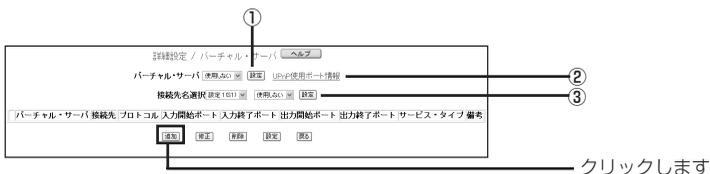
・バーチャル・サーバ ～インターネット上にサーバを公開する～

インターネット(WAN側)から本商品のパソコン(LAN側)上にアクセスできるようにして、外部にサーバを公開することができます。ホームページ等を公開するときに「有効」にして設定します。設定するときは「追加」ボタンをクリックして、表示された画面で設定を行ってください。

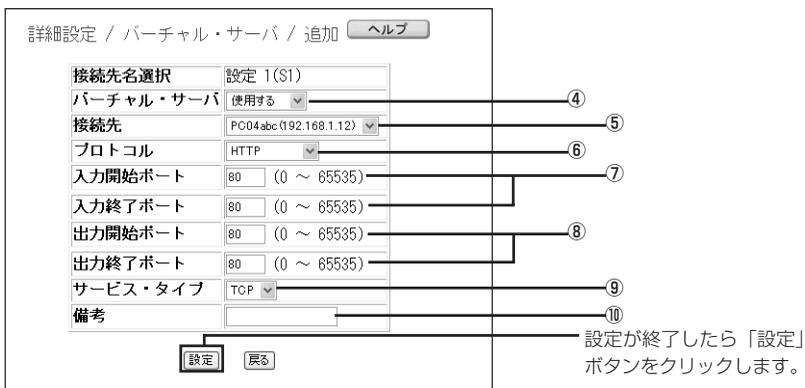


ワンポイント

- パソコン上では使用するサーバソフトを実行している必要があります。
- ダイナミック DNS(DDNS)機能を使用することで、より簡単にインターネット上から LAN 上のサーバに接続することができます。(●P77)



※ PPPoE 接続の場合の画面例です。



ワンポイント

- 同じ LAN 内で同種類のサーバを立ち上げたいときも、同じ WAN 側 IP アドレスを使用します。接続先の指定はポート番号で行います。
- 登録可能なサーバ数は 10 件です。PPPoE 接続の場合は、接続先ごとに最大 10 件登録できます。

項目名	入力例	説明
①バーチャル・サーバ	使用する	バーチャル・サーバを使用するかどうかを選択します。選択を変えたときは「設定」ボタンをクリックします。「使用する」にするとサーバをインターネット上に公開することができます。
②UPnP使用ポート情報	—	バーチャル・サーバを使用するアカウント(接続先)を選択します。「UPnP使用ポート情報」をクリックすると、UPnPで使用しているポートを確認できます。また、「戻る」ボタンをクリックするとUPnPの設定(●P97)ができます。 ※UPnPはWindows®XP/Meでご使用になれます。
③接続先名選択	設定1(S1)	PPPoEアカウントごとのバーチャル・サーバの有効/無効を選択し、「設定」ボタンをクリックします。 ※PPPoE接続の場合のみ表示されます。 ※(S1)は「セッション1」を示しています。
④バーチャル・サーバ	使用する	バーチャル・サーバを使用するかどうかを選択します。「使用する」にするとサーバをインターネット上に公開することができます。
⑤接続先	PC04abc	バーチャル・サーバにするパソコンを選択します。利用したいパソコンがリストにない場合は、「PCデータベース」(●P87)で登録してください。
⑥プロトコル	HTTP	バーチャル・サーバで使用するプロトコルを設定します。 ・すでに登録されているプロトコルをご使用になるときは、そのプロトコル名を選択してください。選択すると⑦、⑧にポート番号が入力されます。 ・追加登録したいプロトコルがある場合は「ユーザー定義」を選択して、⑦、⑧で登録したいプロトコルの使用ポート番号を入力します。
⑦入力開始/終了ポート	80	インターネット上からLAN上のサーバに接続するための開始～終了のポート番号を設定します。管理者の任意のポート番号を入力します。 例：入力ポート番号を50～100に設定する場合→開始=50、終了=100と設定します。 ※ポート番号には0～65534の半角数字を入力してください。

項目名	入力例	説明
⑧出力開始 / 終了 ポート	80	サーバソフトが使用する開始～終了のポート番号を設定します。管理者の任意のポート番号を入力します。 例:出力ポート番号を 150 ～ 200 に設定する場合→開始=150、終了=200と設定します。 ※ ポート番号には0 ～ 65534 の半角数字を入力してください。
⑨サービス・タイプ	TCP	バーチャル・サーバの対象となる IP タイプを指定します。特定のプロトコルを選択することでTCP、UDP、または両方のポート番号を動作させます。
⑩備考	—	バーチャル・サーバの説明を入力します。 ※ 入力可能な文字は、半角の英数字、記号で64文字までです。*

*記号の " < > , # % @ ¥ : / ? + = ; * は使用できません。

・スペシャル・アプリケーション ～ネットアプリケーションを利用できるようにする～

ルータ等によって動作しない一部のインターネット使用アプリケーションを、スペシャル・アプリケーションに登録します。インターネットを使用するアプリケーションが動作しない場合、ここで設定してみてください。

その際、アプリケーションのメーカーから、設定に関する情報が必要になります。情報を参照しながら設定を行ってください。入力ポート番号、出力ポート番号はそれぞれパソコンからの入力、出力を意味しています。本設定を行ってもアプリケーションが動作しない場合は、DMZ機能(次ページ参照)をお試しください。

変更した後は「システム設定」－「再起動」を実行します。

① 名称

名称	入力ポート番号				出力ポート番号			
	タイプ	開始	終了	タイプ	開始	終了		
1. <input type="checkbox"/> dialpad	UDP	51200	51200	UDP	51200	51201		
2. <input type="checkbox"/> paltak	UDP	2090	2091	UDP	2090	2091		
3. <input type="checkbox"/> quicktime	UDP	6970	6999	TCP	554	554		
4. <input type="checkbox"/>	UDP			UDP				
5. <input type="checkbox"/>	UDP			UDP				
6. <input type="checkbox"/>	UDP			UDP				

② 入力ポート番号

③ ヘルプ

④ 保存

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックします。

項目名	入力例	説明
①チェックボックス	—	利用するアプリケーションにチェックを入れます。
②名称	dialpad	ネットワークアプリケーションの名前を任意で入力します。 ※入力可能な文字数は、半角12文字、全角6文字までです。*
③入力ポート番号	タイプ	UDP 入力ポートのプロトコルタイプ（TCPまたはUDP）を選択します。
	開始	51200 パソコンがデータを受信する際に使用するポート番号の範囲を入力します。アプリケーションが1つのポートを使用する場合は、開始および終了に同じ番号を入力してください。 ※ポート番号には1～65534の半角数字を入力してください。
	終了	51201
④出力ポート番号	タイプ	UDP 出力ポートのプロトコルタイプ（TCPまたはUDP）を選択します。 ※アプリケーションによっては入力および出力で異なるプロトコルを使用するものもあります。
	開始	51200 パソコンがデータを送信する際に使用するポート番号の範囲を入力します。アプリケーションが1つのポートを使用する場合は、開始および終了に同じ番号を入力してください。 ※ポート番号には1～65534の半角数字を入力してください。
	終了	51201

*記号の "< > , # % @ ¥ : / ? + = ; * は使用できません。

・DMZ ～LAN上のパソコンにすべてのアクセスを可能にする～

LAN上のパソコン(DMZホスト)にすべての入出力アクセスを可能とします。スペシャル・アプリケーション機能を使用できなかったときなどに設定します。

変更した後は「システム設定」－「再起動」を実行します。



※ PPPoE 接続の場合の画面例です。

項目名	入力例	説明
① 接続先名選択	設定 1 (S1)	PPPoE アカウントを選択します。 ※ PPPoE 接続の場合のみ表示されます。 ※ (S1)は「セッション 1」を示しています。
② DMZ ホスト	ネット・ゲーム	インターネットを使用してすべてのTCP/IP サービスを有効とする場合に設定します。使用するパソコンを選択してください。



ワンポイント

- DMZ ホストで使用するパソコンが表示されない場合、PC データベースで使用するパソコンを登録する必要があります。登録方法は「PC データベース」(●P87)をご覧ください。



お知らせ

- DMZ 機能の対象となっているパソコンは、本商品のファイアウォール機能が無効になるため、セキュリティが弱くなります。DMZ機能は、必要な場合のみ有効にご使用ください。

・ダイナミック DNS (DDNS) ～バーチャル・サーバに URL でアクセスできるようにする～

インターネット側からIPアドレスではなくURL(ドメインネーム)を使用してLAN内のバーチャル・サーバなどに接続できます。本機能を使用することによって、ダイナミックIPアドレスのようなIPアドレスが固定されないサービスでも、LAN内のバーチャル・サーバにアクセスできるようになります。

変更した後は「システム設定」－「再起動」を実行します。

- 1 DDNSサービスに登録手続きをします。
登録はDynDNS.org(無料サービス)を使用できます。(2006年6月現在)
登録手続きをすると、後からユーザー登録確認メールがE-Mailで送信されてきます。
- 2 登録した際に受け取った情報を参照して、ログイン名、ログインパスワード、ドメイン名を入力して「設定」ボタンをクリックします。
- 3 本商品の再起動をします。「本商品を再起動する」(P126)をご覧ください。
- 4 設定を保存すると、本商品はその時点で使用しているIPアドレスを自動的にDDNSサイトに記録します。希望のドメイン名が取得できたかどうか、確認してください。
設定したダイナミックDNSを使用してバーチャル・サーバなどへの接続が可能になります。

詳細設定 / ダイナミック DNS ヘルプ

接続先名選択 設定 1(S1) ①

インターネット側からドメインネーム(URL)を利用して、バーチャルサーバなどに接続することができます。

本商品は以下のダイナミックDNSサービスを選択してご利用になることが可能です。下記ホームページより詳細をご確認の上ご利用ください。

DynDNS.org 無料サービス。登録ページはこちらです。
(英語のみのご案内になります)

ダイナミックDNS	DynDNS.org ②
ログイン名	flets ③
ログインパスワード	●●●●●●●● ④
ドメイン名	abcd . ne . jp ⑤
IPチェック時間	1時間 ⑥

設定 キャンセル 戻る

※ PPPoE 接続の場合の画面例です。

項目名	入力例	説明
①接続先名選択	設定 1(S1)	ダイナミックDNS機能を利用してバーチャル・サーバを公開するためのPPPoEアカウント(接続先)を選択します。 ※ PPPoE 接続の場合のみ表示されます。 ※(S1)は「セッション1」を示しています。
②ダイナミックDNS	DynDNS.org	ご利用になるDNSサービスを選択します。
③ログイン名	flets	DDNSサイトで登録したログイン名を入力します。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で20文字までです。*

*記号の < > , # % @ ¥ : / ? + = ; * は使用できません。

項目名	入力例	説明
④ログインパスワード	Password02	DDNS サイトで登録したパスワードを入力してください。 ※ 入力可能な文字は、半角の英数字、記号で 20 文字です。入力したパスワードは画面上では「●」または「*」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。* ※ 「 ” および 「 ”」以降に入力した文字は、保存されません。
⑤ドメイン名	abcd.ne.jp	DDNS サイトで登録した希望のドメイン名を入力してください。 ※ 一度取得したドメイン名は変更できません。ドメイン名を変更する必要がある場合は、DDNS サイトでアカウントを終了し、その後、新たに登録をし直してください。 ※ 使用可能な文字は、半角の英字（小文字）とハイフンです。左側の入力欄は 20 文字以内、中央の入力欄は 10 文字以内、右側の入力欄は 10 文字以内で入力してください。
⑥ IP チェック時間	1 時間	取得したドメイン名と IP アドレスの整合性を指定時間で確認します。

*記号の " < > , # % @ ¥ : / ? + = ; * は使用できません。



ワンポイント

- DDNS サイトへの IP アドレスの登録は、本商品の WAN 側 IP アドレスが変更されたときにも自動で行われます。
- DDNS サイトへの登録は、お客様の自己責任で行ってください。登録、使用に関して当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・セキュリティ ～外部からの不正アクセスを防ぐ～

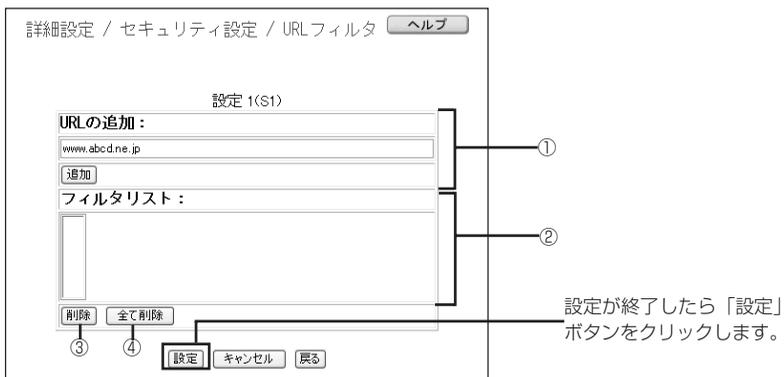
本商品のセキュリティ機能の設定を行います。変更した後は「システム設定」－「再起動」を実行します。

※ PPPoE 接続の場合の画面例です。

項目名	入力例	説明
①接続先名選択	設定 1 (S1)	セキュリティ機能を設定するアカウント(接続先)を選択します。 ※ PPPoE 接続の場合のみ表示されます。 ※ (S1)は「セッション1」を示しています。
②ステートフル・パケット・インスペクション	使用しない	ステートフル・パケット・インスペクションを使用するかどうかを選択します。「使用する」を選択すると、ファイアウォールを通過するパケットのデータを読み取り、内容を判断して、必要なデータのみ受け入れます。 ※ ローカル・オフィスモードで使用するときには、必ず「使用しない」を選択してください。
③VPNパススルー	使用しない	VPN(仮想的な専用回線) パススルーを使用するかどうかを選択します。VPN のパススルーをしたいときは「使用する」にします。 ※ VPNパススルーは1つのVPNセッションのみの対応となります。
④ステルスモード	使用しない	ステルスモードの使用を使用するかどうかを選択します。 「使用しない」にすると、インターネット側(WAN 側)から Ping リクエストがあった際に返答します。Ping 返答することで、インターネット側から本商品の存在を確認できます。相手によってはお互いの存在を確認してからネット接続を始めるものもありますので、その際は「使用しない」にします。「使用する」にすると応答しません。

項目名	入力例	説明
⑤ URL フィルタ	使用しない	「URL フィルタ」の文字をクリックして表示される「URL フィルタ」に制限する URL の文字列を設定し(●P81)、その設定を使用するかどうかを選択します。「使用する」にすると、指定した文字列が URL に含まれたページの閲覧を制限することができます。
⑥ パケットフィルタ設定	使用しない	「パケットフィルタ設定」の文字をクリックして表示される「パケットフィルタ設定」に制限するパソコンや時間を設定し(●P82)、その設定を使用するかどうかを選択します。「使用する」にすると、インターネットに接続できるパソコンや時間を制御することができます。

・URL フィルタ ～接続制限する URL を設定する～



※ PPPoE 接続の場合の画面例です。

項目名	入力例	説明
① URL の追加	www.abcd.ne.jp	接続制限をしたいURLを入力し、「追加」ボタンをクリックすると、フィルタリストにURLが追加されます。文字列(例:violence)を入力すると、その文字列を含むURLがブロックされます。 ※ 入力可能な文字は、半角の英数字、記号で30文字までです。*
②フィルタリスト	—	現在制限されているURL または文字列が表示されます。255件まで入力できます。
③削除	—	選択したURLまたは文字列をフィルタリストから削除します。
④全て削除	—	フィルタリストに登録されているURLと文字列すべてを削除します。

*記号の "< > , # % @ ? + = ; * は使用できません。



ワンポイント

- 登録可能な URL または文字列の数は 30 です。

・パケットフィルタ設定 ～パソコンのアクセスを制限する～

ローカル（LAN）側に接続されているパソコンからインターネット（WAN）側へのアクセスを制限します。アクセス制限は、グループごとに設定できます。

※ PPPoE接続の場合の画面例です。

項目名	入力例	説明
① グループ	グループ0	アクセス制限をするグループを選択します。 ※お買い求め時の設定は「グループ0」です。
② メンバー登録	—	グループ0以外のグループのメンバーを編集できます（☛P83）。
③ アクセス制限	使用しない	アクセスを制限するかどうかを選択します。 ※お買い求め時の設定は「使用しない」です。
④ スケジュール	なし	アクセス制限するスケジュールを選択します。「なし」を選択するとスケジュールに関係なく常にアクセス制限で設定した内容が有効になります。 ※ お買い求め時の設定は「あり」です。
⑤ スケジュール設定	—	スケジュール内容を設定したいときにクリックします。曜日ごとにアクセス制限をする時間帯を設定できます（☛P84）。
⑥ 登録済みサービス	—	登録したサービスを表示します。
⑦ 追加	—	アクセス制限するサービスを設定したいときにクリックします。サービスの追加ができます（☛P85）。
⑧ 修正	—	登録済みのサービスを修正するときにクリックします。
⑨ 削除	—	登録済みのサービスを削除するときにクリックします。



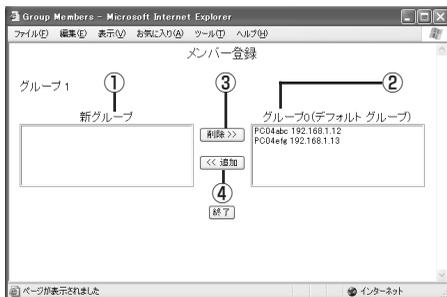
お知らせ

- フレッツ・グループアクセス(NTT東日本)/フレッツ・グループ(NTT西日本)のLAN型払い出しを利用している場合、フレッツ・グループアクセス(NTT東日本)/フレッツ・グループ(NTT西日本)に接続するパソコンからインターネット(WAN)側へのアクセスは制限できません。

「メンバー登録」画面

アクセス制限をするグループを作成します。

- 1 「パケットフィルタ設定」画面の「グループ」から「グループ0」以外のグループを選択し、「メンバー登録」ボタンをクリックします。



項目名	説明
①新グループ	選択したグループのメンバーを表示します。新しくグループを作成したときは、空欄になっています。
②グループ0	本商品に接続されているすべてのパソコンが表示されます。
③削除	選択したメンバーを新グループから削除します。
④追加	選択したメンバーを新グループに追加します。

- 2 上記項目の設定後、「終了」ボタンをクリックして、設定を反映します。



ワンポイント

- 登録するときは、パソコンがPCデータベースのPCリストに登録されている必要があります。(P87)
- グループ0に表示されているパソコンは、本商品が認識しているパソコンの一覧ですので、新グループに追加しても、一覧から削除されません。
また、1つのパソコンを異なるグループ(グループ0を除く)に重複して登録することはできません。
- 最大登録数は、1グループ70件で5グループまで登録できます。

「スケジュール設定」画面

アクセス制限をするスケジュールを設定します。スケジュールは、曜日単位で設定できます。

- 1 「パケットフィルタ設定」画面で「スケジュール設定」ボタンをクリックします。



項目名	入力例	説明
①スケジュール 1、スケジュール 2	—	アクセス制限をする時間帯を選択します。1日のうちで、2つの時間帯を設定できます。
②開始、終了	00:00、06:00	アクセス制限の開始時間と終了時間を24時間表記で入力します。

- 2 上記項目を設定後、「保存」ボタンをクリックすると設定が反映されます。

「サービス」画面

アクセス制限をするサービスの追加、削除を行います。

1 「パケットフィルタ設定」画面で「追加」ボタンをクリックします

詳細設定 / セキュリティ / パケットフィルタ設定 / 追加 ヘルプ

接続先名	設定 1
グループ	1
サービス名	HTTP
サービス・タイプ	TCP
プロトコル	ユーザー定義
開始ポート	80 (0 ~ 65535)
終了ポート	80 (0 ~ 65535)

設定 戻る

※ PPPoE 接続の場合の画面例です

項目名	入力例	説明
① サービス名	HTTP	追加登録するサービス名を入力します。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で 64 文字までです。* ¹
② サービス・タイプ	TCP	追加登録するサービスのプロトコルを選択します。
③ プロトコル	ユーザー定義	プロトコル名を選択します。追加登録したいプロトコルがある場合は、「ユーザー定義」を選択し、「開始ポート」、「終了ポート」にポート番号を入力します。
④ 開始ポート	80	サービスが使用するポート番号を入力します。* ²
⑤ 終了ポート	80	サービスが使用するポート番号を入力します。* ²

* 1 : 記号の " < > , # % ¥ : / ? + = ; * は使用できません。

* 2 : アクセス制限したいサービスの使用するポートが 1 つだけの場合は、「開始ポート」と「終了ポート」に同じポート番号を入力します。

入力例の場合、HTTP は 80 番ポートなので、開始ポート番号に「80」、終了ポート番号に「80」と入力します。



ワンポイント

- サービスの追加可能数は 100 です。

2 各設定項目を入力後、「設定」ボタンをクリックすると、「登録済みサービス」にサービスが追加されます。

・DHCPサーバ ～DHCPサーバを使用する～

DHCPサーバを使用する場合に各項目の設定を行います。
変更した後は「システム設定」－「再起動」を実行します。

項目名	入力例	説明
① DHCPサーバ	使用する	DHCP 機能を使用するかを選択します。「使用する」にすると自動的にパソコンにIPアドレスを割り振ります。
② リース期間継続方法	無期限	DHCPサーバでリースされるIPアドレスのリース期間継続方法を、「期間指定」、「無期限」のどちらかを選択します。
③ リース期間	—	「リース期間継続方法」(②)で「期間指定」を選択した場合、DHCPサーバでリースされるIPアドレスのリース期限を指定します。
④ 開始IPアドレス	11	DHCPサーバでリース開始のIPアドレスを入力します。 ※ お買い求め時の設定は「192.168.1.11」です。
⑤ 終了IPアドレス	60	DHCPサーバでリース終了のIPアドレスを入力します。 ※ お買い求め時の設定は「192.168.1.60」です。

・PCデータベース ～接続しているパソコンを表示する～

本商品に接続しているパソコンの一覧を表示します。LAN上のパソコンや固定IPアドレスの情報を管理できます。

「DHCPクライアント」のパソコンは、一覧に自動的に追加されます。固定IPアドレスを使用しているパソコンは手動で追加します。パーチャル・サーバやDMZなどを固定IPアドレスのパソコンで設定する際は、必ずPCリストに手動で登録してください。



項目名	入力例	説明
① PCリスト	—	現在、接続されているパソコンまたはネットワーク機器を表示します。 ※ DHCPクライアントは、自動的にPCリストに表示されます。表示されない場合は、対象のパソコンを再起動してください。固定IPアドレスを使用しているパソコンは、手動でリストに追加します。
②追加	—	パソコン名とIPアドレスを入力したパソコンをPCリストに追加します。(P88)
③修正	—	選択したパソコンの内容を修正するときにクリックします。
④削除	—	選択したパソコンをPCリストから削除します。
⑤再読み込み	—	PCリストの表示を更新したいときにクリックします。



ワンポイント

- DHCPクライアントは、基本的に常に表示されます。表示されない場合は、対象のパソコンを再起動してください。再起動後に表示されます。

「PC データベース (追加・修正)」画面

接続されているパソコンのデータの詳細設定ができます。

1 「PCデータベース」画面で「追加」ボタンをクリックします。

項目名	入力例	説明	
①パソコン名	PC04efg	コンピュータ名と同じ名前を入力します。 ※入力可能な文字は半角英数字、記号で15文字までです。*	
②IPアドレス	自動取得 (DHCPクライアント)	—	パソコン側で「IPアドレスを自動的に取得」に設定しているとき、本商品はこのパソコンにIPアドレスを提供します。IPアドレスは通常変わることはありませんが、リース期間に達した場合やネットワークから長時間パソコンから取り外された状態で再接続した際に変わることがあります。
	固定取得 (DHCPクライアント)	192.168.1.13	パソコン側で「IPアドレスを自動的に取得」に設定しているとき、毎回決まったIPアドレスを取得したいときに選択します。最後の空欄に0～254までの任意の数字を入力してください。
	固定設定 (DHCP範囲以外)	—	パソコン側で固定IPアドレスを設定している場合に選択します。
③MACアドレス	自動検索 (パソコンが接続されている状態)	—	パソコンがLANに接続されている場合に、本商品がパソコンのMACアドレスを自動取得する場合に選択します。
	MACアドレスは	—	パソコンのMACアドレスを直接入力する場合に選択して、MACアドレスを入力します。MACアドレスは「ハードウェアアドレス」「物理アドレス」または「ネットワークアダプタアドレス」と呼ばれることがあります。本商品は各パソコンを個別に認識するために、MACアドレスを使用します。そのためMACアドレスは空白にしておくことができません。
④PCデータ追加	—	PCデータを入力したパソコンをPCデータベースに追加します。	
⑤データの削除	—	この画面上で入力した値をクリアします。	
⑥戻る	—	「PCデータベース」の画面に戻るときをクリックします。	



ワンポイント

- 「PCデータベース」に登録可能なパソコン数は100件です。
- 「PCデータベース (詳細設定)」画面で、「PCデータ追加」ボタンをクリックすると、PCデータベースにパソコンが登録されます。

・ログ表示 ～アクセス、DoS攻撃、インターネット接続のログを表示する～

「更新」ボタンをクリックすると、最新のログを表示します。

・アクセス ログ

アクセスした情報をログに保存します。

詳細設定 / ログ表示 / アクセスログ

No.	Time		Event
001	18:15:38	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=UDP
002	18:15:38	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP
003	18:19:38	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP
004	18:23:48	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP
005	18:24:19	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=UDP
006	18:25:19	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP
007	18:25:38	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=UDP
008	18:28:18	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP
009	18:32:08	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP
010	18:37:38	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=UDP
011	18:37:48	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP
012	18:38:19	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=UDP
013	18:42:38	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP
014	18:44:48	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP
015	18:47:28	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP
016	18:48:38	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=UDP
017	18:52:28	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP
018	18:54:18	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=UDP
019	18:57:28	2004/07/08	Access From:LAN, IP=192.168.1.11 Protocol=TCP

更新

アクセスしたパソコンの情報が表示されます。

Timeにはアクセスした年月日と時間が、Eventには、LANまたはWANのどちらからアクセスしたか、またパソコンのIPアドレスとプロトコルが表示されます。

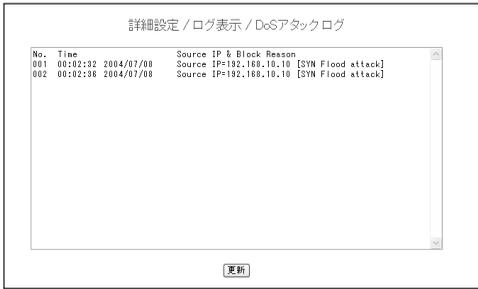


ワンポイント

- 接続制限するパソコンを設定するには、「詳細設定」-「セキュリティ」画面の「パケットフィルタ設定」をクリックして表示される「パケットフィルタ設定」(P82)で行います。

・DoS アタック ログ

DoS (Denial of Service) 攻撃が発生した際に、そのログを保存します。



この画面の例では、2004/07/08 00:02:32 と 00:02:36 に IP アドレス 192.168.10.10 のパソコンから、不正侵入があったことを示しています。

・DoS アタックの分類

Ping of Death

規格外の大きな ping パケットを連続して送り、相手をクラッシュ、フリーズ、リブートさせる攻撃

Teardrop

IPヘッダのオプションのオフセットと、分割化されたパケットサイズの合計が、次の分割化されたパケットの合計と異なる場合、パケットどうしが重なり合い、パケットを再組み立てしようとしたサーバをクラッシュさせる攻撃

Flood attack

Pingによる大量のエコー要求でシステムを過負荷にして、この要求への応答でリソースのすべてを使い果たし、正当なネットワークトラフィックの処理が不可能な状態にする攻撃

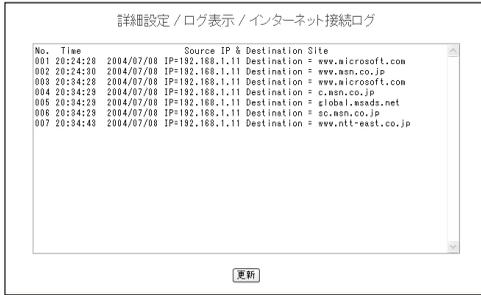
LAND attack

攻撃側ユーザーが、宛先IPアドレスと送信元IPアドレスの両方として、攻撃されるユーザーのIPアドレスを含む偽のパケットを送信する攻撃

Brute-force attack

ルータに対し、不正パスワードで侵入する攻撃

- ・インターネット接続ログ
インターネット接続に関してのログを保存します。



インターネットに接続した、パソコンと URL の情報が表示されます。
この画面の例では、最後に2004/07/08 20:34:43 に、IPアドレス192.168.1.11のパソコンが、URL www.ntt-east.co.jp にアクセスしたことが表示されています。



ワンポイント

- 接続制限する URL を設定するには、「詳細設定」－「セキュリティ」画面の「URL フィルタ」をクリックして表示される「URL フィルタ」(P81)で行います。

・ルーティング ～ルーティングテーブルを設定する～

LAN 上に他のルータまたはゲートウェイがある場合は、ルーティングの設定が必要です。通常は、RIP を使用することをお勧めします。



ワンポイント

- スタティック ルーティングテーブルを使用する際は、ルーティングの機能について理解する必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

・スタティック

「STEP4 こんなときにはこの設定」「社内LANとして使用するには」(●P112)に使用例を参照にしてください。変更した後は「システム設定」-「再起動」を実行します。

項目名	入力例	説明
① 接続先ネットワーク	192.168.3.0	接続先ネットワークのIP アドレスを入力します。
② サブネットマスク	255.255.255.0	接続先ネットワークのサブネットマスクを入力します。
③ ゲートウェイ	192.168.2.250	対象となるネットワークパケットを送るためのゲートウェイもしくは本商品のIPアドレスを入力します。
④ インタフェース	LAN	パケットを送るためのインタフェースを、「LAN」(LAN 側)または「WAN」(WAN 側)のどちらかを選択します。

・ダイナミック(RIP)

ダイナミック(RIP)は、ルータ間でルーティング情報をやり取りすることで、パケット転送のルートを決めます。

詳細設定 / ルーティング / ダイナミック (RIP) ヘルプ

RIP バージョン	RIPv1	①
RIP 送信	使用しない	②
RIP 受信	使用しない	③

項目名	入力例	説明
① RIP バージョン	RIPv1	使用する RIP のバージョンを選択してください。 本商品はRIPv1、RIPv2 をサポートしています。接続している LAN に合わせて設定してください。
② RIP 送信	使用しない	RIP を送信する場合は、使用するに設定します。
③ RIP 受信	使用しない	RIP を受信する場合は、使用するに設定します。

・レポート

ルーティングの現在の状態を表示します。「更新」ボタンをクリックすると、最新の情報を表示します。

詳細設定 / ルーティング / レポート

接続先	サブネットマスク	ゲートウェイ	メトリック	インタフェース	タイプ
0.0.0.0	0.0.0.0	10.13.38.32	1	WAN	STATIC
10.13.38.117	255.255.255.0	0.0.0.0	1	WAN	STATIC
192.168.1.0	255.255.255.0	0.0.0.0	1	LAN	LOCAL

●その他各種設定

変更した後は「システム設定」－「再起動」を実行します。

・バックアップDNS ～WAN側設定で指定したDNSが無効のとき～

WAN側設定で指定したDNSが無効のときに設定します。通常のインターネット接続等の場合には設定しません。

項目名	入力例	説明
① バックアップDNS	使用しない	バックアップDNSの機能を使用するときに「使用する」に設定します。
② プライマリDNSサーバアドレス、セカンダリDNSサーバアドレス	—	バックアップ用のDNSサーバのアドレスを入力します。

・E-Mail ～DoS攻撃が検出されたときログ情報を送信する～

本商品には、E-Mailによるログ情報の配信機能があります。本機能を使用することでDoS (Denial of Service) 攻撃が検出されたときにネットワーク管理者に対してログ情報を送信することができます。

項目名	入力例	説明
① E-Mail 設定	使用する	E-Mail 送信をするかどうかを選択します。「使用する」にするとログ情報を「メールアドレス」(③)で設定した宛先に送信します。
② SMTPサーバ名	—	プロバイダから指定されたメール送信用(SMTP)サーバのホスト名かIPアドレスを設定します。 ※ ホスト名を指定する場合、入力可能な文字は、半角の英数字、記号で50文字までです。*1
③ メールアドレス	flets@xxx.ne.jp	ログ情報の送信先 (E-Mail アドレス) を設定します。 ※ 入力可能な文字は、半角の英数字、記号で50文字までです。*2
④ Subject	log info	「E-Mail 設定」(①)を「使用する」にした場合、EMail 送信時の件名を入力します。 ※ 入力可能な文字は、半角の英数字、記号で50文字までです。*1 ※ 件名に全角文字を入れた場合、受信側で文字化けする場合があります。
⑤ ユーザー名	—	プロバイダ側から指定された送信用アカウントのユーザー名を設定します。*2
⑥ パスワード	—	プロバイダ側から指定された送信用アカウントのパスワードを設定します。*1
⑦ すぐにアラートを送信する	—	チェックするとDoS攻撃があった際に、随時ログ情報を「メールアドレス」(③)で指定した宛先に送信します。
⑧ ログメール送信スケジュール	—	ログ情報をメール送信するスケジュールを設定します。「すぐにアラートを送信する」(⑦)をチェックしていないときは、指定された時間ごとに「メールアドレス」(③)で指定した宛先にログ情報を送信します。

* 1 : 記号の " < > , # % @ ¥ : / ? + = ; * は使用できません。

* 2 : 記号の " < > , # % ¥ : / ? + = ; * [] | は使用できません。

・リモート ～インターネット上から本商品の設定をする～

本商品をインターネット経由で設定できるようにします。

※PPPoE接続の場合の画面例です。

項目名	入力例	説明
①接続先名選択	設定 1 (S1)	リモート設定を行うPPPoEアカウントを設定します。 ※ PPPoE 接続を選択しているときに表示されます。 ※ (S1)は「セッション-1」を示しています。
② リモート設定	使用する	リモート設定を行うかどうかを選択します。「使用する」を選択するとインターネット側(WAN側)から本商品の設定を可能にします。 ※お買い求め時の設定は「使用しない」です。
③ ポート	8080	インターネット側から本商品にアクセスする際のポート番号を指定します。1～9600の範囲でポート番号を入力します。インターネット側(WAN側)から接続する際は、下記のようにIPアドレスの後ろにポート番号を指定します。 例：http:// 本商品のWAN側IPアドレス: ポート番号 ※ お買い求め時の設定は「8080」です。



お知らせ

- リモートで設定したポート番号は、バーチャル・サーバなどでは使用できません。
- ダイナミックIPアドレスを使用している場合、本商品に接続するためのIPアドレスが常に変わってしまいます。接続する前に、本商品のWAN側IPアドレスを確認してください。
- 「リモート」を「使用する」に設定した場合、第三者からのアクセスやインターネット上への情報の漏洩などが考えられます。リモート設定を使用していないときは無効に設定することをお勧めします。

・UPnP ～UPnP機能を利用する～

Windows®MeまたはWindows®XPを使用している場合、UPnP機能を有効にして、自動的にLANに接続された装置を検出することができます。

※ PPPoE接続の場合の画面例です。

項目名	入力例	説明
① UPnP使用ポート	—	クリックするとUPnPで使用しているポートを確認できます。 ※ PPPoE接続を設定しているときに表示されます。
② UPnP（を有効にする）	使用する	UPnPを使用するかどうかを選択します。「使用する」を選択するとUPnP機能によって自動的にLANに接続された装置を検出し認識します。UPnP機能はWindows® XP、Meでご使用になれます。
③ アプリケーションでWAN IPを選択する	—	UPnP対応アプリケーションでWAN IPを選択する場合に使用します。 ※ PPPoE接続を設定しているときに表示されます。
④ WAN側IPのセッションを選択する	セッション1	UPnPを使用するセッションを選択します。（「PPPoE接続」▶P62） ※ PPPoE接続を設定しているときに表示されます。
⑤ WANの切断機能	使用する	WANの切断機能を使用するかどうかを選択します。「使用する」を選択するとUPnP機能を使用してWAN（インターネット側）を切断することができます。 ※ PPPoE接続を設定しているときに表示されます。

・IPv6 ～IPv6ブリッジ機能を利用する～

IPv6ブリッジを使用する場合に設定します。お買い求め時の設定は、「使用する」です。



項目名	入力例	説明
① IPv6ブリッジ機能	使用する	IPv6ブリッジ機能を使用するかどうかを選択します。



ワンポイント

- IPv6ブリッジ機能は PPPoE でのみ使用できます。

STEP4 こんなときにはこの設定

ネットワークゲームや音声／ビデオチャットなど、ネットワーク上から各パソコンに直接アクセスする必要がある場合は、本商品の設定を変更する必要があります。この章では、本商品をより便利に活用していただくための設定方法について説明します。

ネットワークゲームをするには



お知らせ

- 回線業者によっては、ネットワークゲームに対応していない場合がありますので、ご注意ください。

ゲームサーバとデータの送受信を行うポートを本商品に設定する必要があります。

● UPnP に対応したネットワークゲームの場合

本商品はUPnPに対応しているため、UPnPに対応したネットワークゲームであれば、自動的に本商品の設定が行われます。

設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 「詳細設定」の「スペシャル・アプリケーション」で、ネットワークゲーム会社より指定されている使用ポート番号とタイプ(プロトコルのタイプ)を設定します。

詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティを見よう」の「スペシャル・アプリケーション」(P74)を参照してください。



お知らせ

- Windows® にて、ユニバーサル プラグ アンド プレイ (UPnP) に関するセキュリティの脆弱性が発見されています。ご利用になる前に、Windows® の修正プログラムをインストールしてください。
詳細な設定方法は、Microsoft® にお問い合わせください。
 - UPnPがサポートされているOSは、Windows® XP、Windows® Meのみです。
-

● UPnP に対応していないネットワークゲームの場合

UPnP に対応していないネットワークゲームの場合は、次のいずれかの方法で設定します。

・ネットワークゲームが使用するポート番号が分かる場合

使用するポート番号、タイプが分かっている場合は、設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 「詳細設定」の「スペシャル・アプリケーション」で、ネットワークゲーム会社より指定されている使用ポート番号とタイプ(プロトコルのタイプ)を設定します。
詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティを見てみよう」 「スペシャル・アプリケーション」(●P74)を参照してください。



ワンポイント

- ネットワークゲームが使用するポート番号、タイプ(プロトコルのタイプ)については、各ゲームの製造元にお問い合わせください。

・ネットワークゲームが使用するポート番号が分からない、または毎回変更される場合

DMZ 機能を使います。設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 「詳細設定」-「DMZ」をクリックします。
詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティを見てみよう」 「DMZ」(●P76)を参照してください。
- 2 PPPoE接続をしている場合(フレッツ・ADSL、Bフレッツなど)は「接続先名選択」で接続先を選択します。
- 3 「DMZホスト」でネットワークするパソコンを選択します。

<PPPoE 接続をしている場合(フレッツ・ADSL、Bフレッツなど)の画面>



<PPPoE 接続をしていない場合の画面>



お知らせ

- DMZ 機能の対象となっているパソコンは、本商品のファイアウォール機能が無効になるため、セキュリティが弱くなります。DMZ機能は、必要な場合のみ有効にご使用ください。

外部にサーバを公開するには

●バーチャル・サーバを使用する

バーチャル・サーバ機能を利用して外部にサーバを公開する設定例です。
設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 「詳細設定」-「バーチャル・サーバ」をクリックします。
- 2 「バーチャル・サーバ」で「使用する」を選択します。
- 3 「追加」ボタンをクリックして、接続先のパソコンを選択し、「プロトコル」「サービス・タイプ」を設定します。
詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティを見てみよう」[「バーチャル・サーバ」(●P72)を参照してください。



お知らせ

- 「入力開始 / 終了ポート」および「出力開始 / 終了ポート」は、「プロトコル」で「ユーザー定義」を選択した場合に、任意の数値を入力します。

●ダイナミック DNS を使用して URL でアクセスする

インターネット側からドメインネーム (URL) を使用して、バーチャル・サーバなどに接続することができる設定例です。
設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 「詳細設定」-「ダイナミックDNS」をクリックします。
- 2 「DynDNS.org」をクリックして、設定を行います。そのときの「ログイン名」「ログインパスワード」「ドメイン名」は控えておいてください。
- 3 本商品の「ダイナミックDNS」画面に戻り、2で設定した「ログイン名」、「ログインパスワード」および「ドメイン名」を入力し、「設定」ボタンをクリックします。
詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティを見てみよう」[「ダイナミックDNS」(●P77)を参照してください。

PPPoEで2つの接続先を使い分けるには



ワンポイント

- Web Caster 720の接続・設定CD-ROMを使用して設定する場合は、「STEP2 ネットワークに接続しよう」の「Web Caster 720 接続・設定ソフトで本商品の設定をしよう」(P22)を参照してください。

●プロバイダとフレッツ・スクウェアに接続する (2004年8月現在)

通常はプロバイダに接続し、「flets」のドメイン名が含まれたURLが入力されたときにフレッツ・スクウェアに自動的に接続されます。

「フレッツ・スクウェア」は「セッション2」に設定を行うことで利用可能になります。

例:通常のプロバイダへの接続設定を「セッション-1の設定1」に、「フレッツ・スクウェア」への接続設定を「セッション-2の設定2」に設定する場合で説明します。

設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 通常のプロバイダの設定を行います。
「WAN側設定」-「PPPoE」をクリックします。
- 2 「セッション-1」をクリックし、「接続先名」は任意の接続先を選択します。(例として「設定1」を選択します。)
- 3 通常のプロバイダから通知された内容(「接続ユーザー名」、「接続パスワード」)を入力し、「接続タイプ」は「PPPoE」を選択します。
- 4 「設定」ボタンをクリックします。
- 5 次にフレッツ・スクウェアの設定を行います。
「PPPoE設定」で「セッション-2」をクリックし、「接続先名」は任意の接続先を選択します。(例として「設定2」を選択します。)
- 6 「接続ユーザー名」「接続パスワード」は、それぞれ下記の表の内容で入力します。

	NTT 東日本の エリアのお客様	NTT 西日本の エリアのお客様
接続ユーザー名	guest@flets	flets@flets
接続パスワード	guest	flets

(2006年8月現在)

- 7 「LAN TYPE」は「使用しない」を選択します。
- 8 「DNSサーバ」は「自動設定」をクリックします。
- 9 「設定」ボタンをクリックします。
- 10 画面上部にある「PPPoE」をクリックするか、または画面下部の「戻る」ボタンをクリックして、「PPPoE」の画面を表示して、「接続ルール」をクリックします。
- 11 「追加」ボタンをクリックすると、追加画面が表示されます。
- 12 「接続先名選択」から「設定2(S2)」を選択します。(「(S2)」はセッション-2を示します。)
- 13 「ルール選択」で「ドメイン名」を選択し、「ドメイン名」に「.flets/」と入力します。

- 14 「設定」ボタンをクリックします。
- 15 「システム設定」をクリックして「再起動」の「実行」ボタンをクリックします。
詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティを見よう」「WAN側設定」「PPPoE接続の場合」
(←P62)を参照してください。

●プロバイダとフレッツ・グループ（NTT 西日本）のLAN型払い出しに接続する（2006年8月現在）

通常はプロバイダに接続し、フレッツ・グループ（NTT 西日本）のLAN型払い出しを利用して、それぞれのパソコンのファイル共有などが必要な場合に、フレッツ・グループ（NTT 西日本）に自動的に接続されます。

フレッツ・グループ（NTT 西日本）を利用するには、「セッション-2」に設定を行うことで利用可能になります。

例:通常のプロバイダへの接続設定を「セッション-1の設定1」に、「フレッツ・グループ（NTT 西日本）」への接続設定を「セッション-2の設定2」に設定する場合で説明します。

設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 通常のプロバイダ設定を行います。前項の「●プロバイダとフレッツ・スクウェアに接続する」の手順1～4を行います。
- 2 フレッツ・グループ(NTT西日本)のLAN型払い出しの設定を行います。「PPPoE設定」で「セッション-2」をクリックし、「接続先名選択」は任意の接続先を選択します。(例として「設定2」を選択します。)
- 3 グループ管理者から通知された「接続ユーザー名」、「接続パスワード」を入力します。
- 4 任意の「接続方法」を選択します。
- 5 「LAN TYPE」は「使用する」を選択します。
- 6 「ルータIP」と「サブネットマスク」にNTT西日本から通知されている、「IPアドレス」、「サブネットマスク」をそれぞれ入力します。
- 7 「DNSサーバ」は「自動設定」をクリックします。
- 8 「設定」ボタンをクリックします。しばらくすると再度PPPoE設定画面が開きます。「戻る」ボタンをクリックします。
- 9 「接続ルール」をクリックして「追加」ボタンをクリックします。「接続先名選択」から「設定2(S2)」を選択します。(「(S2)」はセッション-2を示します。)
「ルール選択」は「IPアドレス(FG/FGA)」を選択します。
- 10 「IPアドレス」にNTT西日本から通知された接続相手のIPアドレスを入力します。
- 11 「設定」ボタンをクリックし、接続先設定に登録します。
- 12 接続先設定に登録された「IPアドレス」が選択されていることを確認して「戻る」をクリックします。
- 13 「システム設定」をクリックして「再起動」の「実行」ボタンをクリックします。
詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティを見てみよう」「WAN側設定」「PPPoE接続の場合」(●P62)を参照してください。



ワンポイント

- 手順 9～12 で、接続先が複数ある場合はすべての接続先を登録してください。
 - フレッツ・グループ（NTT 西日本）に接続するパソコンについては、パソコンのネットワーク設定を行い、NTT 西日本から通知された IP アドレス等を固定で設定してください。DNS サーバアドレスを、ルータのアドレスに設定することでセッション-1 への接続も可能になります。
また、本商品の LAN 側アドレスはお買い求め時の設定値（192.168.1.1）でご利用いただけます。「LAN TYPE」の IP アドレス欄に入力したアドレスと同じ設定にした場合、通信できなくなります。
なお、本商品の DHCP 機能を使用して IP アドレスを取得したパソコンはセッション-1 への接続のみ可能となります。
 - NetBios を使用してコンピュータを指定する場合は、WINS サーバまたは LMHOSTS が必要です。
 - 端末型払い出しの場合は、手順 5、6 は不要です。また、フレッツ・グループ（NTT 西日本）で公開するファイル共有サーバ等のパソコンをバーチャル・サーバ機能（●P72）、DMZ 機能（●P76）により特定する必要があります。
 - 手順 4 の接続方法について、初期設定では「要求時」になっておりますが、相手側からの返信要求に対して応答できない場合がありますので、「常時接続」を推奨します。
-

●フレッツ・コネクト (NTT 東日本) を利用する (2006年8月現在)

フレッツ・コネクトは、Bフレッツ、フレッツ・ADSL をご利用のお客さま同士による、IP 電話機能などの音声・映像・データによる多彩な通信サービスを提供します。

簡単な番号 (コネクトID) により相手先の IP アドレスを意識することなく接続できます。フレッツ・コネクトを利用するには、「セッション-2」に設定することで利用可能になります。

例: 通常のプロバイダへの接続設定を「セッション-1 の設定 1」に、「フレッツ・コネクト」への接続設定を「セッション-2 の設定 2」に設定する場合で説明します。

設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 通常のプロバイダ設定を行います。「●プロバイダとフレッツ・スクウェアに接続する」(P103)の手順1~4を行います。
- 2 次にフレッツ・コネクトの設定を行います。
「PPPoE設定」で「セッション-2」をクリックし、「接続先名選択」は任意の接続先を選択します。(例として「設定2」を選択します。)
- 3 フレッツ・コネクトで使用する「接続ユーザー名」「接続パスワード」をそれぞれ入力します。
- 4 「DNSサーバ」は「自動設定」を選択します。「設定」ボタンをクリックして、「戻る」ボタンをクリックします。
- 5 「接続ルール」をクリックして、フレッツ・コネクトの追加設定を行います。
 - ①「追加」ボタンをクリックして追加画面を表示させます。
「接続先名選択」は「設定2(S2)」を選択し、「ルール選択」は「ネットワーク」を選択し、「ネットワーク」に「NTT東日本より指定されたIPアドレス」を入力し、「設定」ボタンをクリックします。接続先設定画面に戻ります。
 - ②「追加」ボタンをクリックして追加画面を表示させます。
「接続先名選択」は「設定2(S2)」を選択し、「ルール選択」は「ドメイン名」を選択し、「ドメイン名」に「.flets」を入力し、「設定」ボタンをクリックします。
 - ③「追加」ボタンをクリックして追加画面を表示させます。
「接続先名選択」は「設定2(S2)」を選択し、「ルール選択」は「ドメイン名」を選択し、「ドメイン名」に「.connect」を入力し、「設定」ボタンをクリックします。



お知らせ

- ①~③の「接続先名選択」は必ず同一のアカウントにしてください。

- 6 接続先設定に「172.0.0.0/8」「.flets」「.connect」が登録されていることを確認して「戻る」ボタンをクリックし、PPPoEの設定画面に戻ります。
- 7 「戻る」ボタンをクリックします。
- 8 「詳細設定」の「その他各種設定」をクリックします。
- 9 「UPnP」をクリックして、「WAN側IPのセッションを選択する」をクリックして「セッション-2」をクリックします。次に「設定」ボタンをクリックします。
しばらくすると、「UPnP設定」画面に戻ります。
- 10 「システム設定」をクリックして「再起動」の「実行」ボタンをクリックします。

以上で、フレッツ・コネクトを利用するための本商品の設定は終わりです。ネットワークコミュニケーションソフトを起動して、フレッツ・コネクトをご利用ください。



ワンポイント

- PPPoE ブリッジ接続でフレッツ・コネクトを使用する場合は、「フレッツ・コネクト」セットアップガイドをご参照ください。
- PPPoE ブリッジ接続でフレッツ・コネクトを使用する場合、「UPnP」(P97) の項目を「使用しない」に設定する必要があります。



お知らせ

- フレッツ・コネクトをセッション 1 に設定した場合は、Windows® Messenger や MSN® Messenger などのメッセージャーソフトはご利用になれません。
 - フレッツ・コネクトの詳細は、フレッツ・コネクトの説明書などをご覧ください。
-

●フレッツ・コミュニケーション (NTT西日本) を利用する (2006年8月現在)

フレッツ・コミュニケーションは、Bフレッツ、フレッツ・ADSLをご利用のお客さま同士による、IP電話機能などの音声・映像・データによる多彩な通信サービスを提供します。

簡単な番号 (コネクトID) により相手先のIPアドレスを意識することなく接続できます。フレッツ・コミュニケーションを利用するには、PPPoE接続モードで新しいアカウントを設定し、「セッション-2」に設定することで利用可能になります。

例:通常のプロバイダへの接続設定を「セッション-1の設定-1」に、「フレッツ・コミュニケーション」への接続設定を「セッション-2の設定2」に設定する場合で説明します。

設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 通常のプロバイダ設定を行います。「●プロバイダとフレッツ・スクウェアに接続する」(←P103)の手順1~4を行います。
- 2 次にフレッツ・コミュニケーションの設定を行います。
「PPPoE設定」で「セッション-2」をクリックし、フレッツ・コミュニケーションで使用する「接続ユーザー名」「接続パスワード」をそれぞれ入力します。
- 3 「DNSサーバ」は「自動設定」を選択します。
- 4 「設定」ボタンをクリックして設定内容を保存し、「戻る」ボタンをクリックします。
- 5 「接続ルール」をクリックして、フレッツ・コミュニケーションの追加設定を行います。
 - ① 「追加」ボタンをクリックして追加画面を表示させます。
「接続先名選択」は「設定2(S2)」を選択し、「ルール選択」は「ネットワーク」を選択し、「ネットワーク」に「219.111.224.0/20」、「210.247.32.0/19」、「210.247.64.0/18」をすべて入力し、「設定」ボタンをクリックします。接続先設定画面に戻ります。
 - ② 「追加」ボタンをクリックして追加画面を表示させます。
「接続先名選択」は「設定2(S2)」を選択し、「ルール選択」は「ドメイン名」を選択し、「ドメイン名」に「flets-c.jp」を入力し、「設定」ボタンをクリックします。



お知らせ

- ①②の「接続先名選択」は必ず同一のアカウントにしてください。

- 6 接続先設定に「219.111.224.0/20」、「210.247.32.0/19」、「210.247.64.0/18」、「flets-c.jp」が登録されていることを確認して「戻る」ボタンをクリックし、PPPoEの設定画面に戻ります
- 7 「戻る」ボタンをクリックします。
- 8 「詳細設定」の「その他各種設定」をクリックします。
- 9 「UPnP」をクリックして、「WAN側IPのセッションを選択する」をクリックして「セッション-2」をクリックします。次に「設定」ボタンをクリックします。
しばらくすると、「UPnP設定」画面に戻ります。
- 10 「システム設定」をクリックして「再起動」の「実行」ボタンをクリックします。

以上で、フレッツ・コミュニケーションを利用するための本商品の設定は終わりです。ネットワークコミュニケーションソフトを起動して、フレッツ・コミュニケーションをご利用ください。



お知らせ

- UPnP を使用するセッションをフレッツ・コミュニケーションで接続するため、Windows® Messenger や MSN® Messenger などのメッセンジャーソフトはご利用になれません。
 - フレッツ・コミュニケーションの詳細は、フレッツ・コミュニケーションの説明書などをご覧ください。
 - PPPoE ブリッジ接続でフレッツ・コミュニケーションを使用する場合、「UPnP」(▶P97) の項目を「使用しない」に設定する必要があります。
-

複数固定 IP サービスを利用するには (Unnumbered 利用)

各プロバイダが提供する複数固定IPアドレスサービスを利用することにより、プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定IPアドレスを本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、サーバ公開などが可能になります。

例：本商品の元の設定…IPアドレスが「192.168.1.1」サブネットマスクが「255.255.255.0」

項目名	プロバイダからの情報
IP アドレス	XXX.〇〇〇.□□□.113～XXX.〇〇〇.□□□.120
サブネットマスク	255.255.255.◆◆◆
DNS サーバ	12.34.56.12

設定するパソコンのIPアドレスを「XXX.〇〇〇.□□□.115」と設定したい場合
設定ユーティリティで次の設定を行います。

- 1 「WAN側設定」-「PPPoE」をクリックして、「セッション-1」をクリックして、「PPPoE」画面の任意のアカウントを選択して、「接続ユーザー名」「接続パスワード」を入力します。
- 2 その他を以下のように設定します。
 - ・接続タイプ:「Unnumbered IP」にします。
 - ・ルータIP:「XXX.〇〇〇.□□□.114」と入力します。
(プロバイダから割り当てられた2番目のIPアドレスを入力します)
 - ・サブネットマスク:「255.255.255.◆◆◆」と入力します。
 - ・DNSサーバ:「マニュアル設定」をクリックします。
 - ・プライマリDNSサーバアドレス:「12.34.56.12」と入力します。
 - ・「設定」ボタンをクリックします。
- 3 「システム設定」をクリックし、「再起動」の「実行」ボタンをクリックします。



ワンポイント

- 再起動が終了すると、設定がすべて終了するまで本商品の設定画面が表示されなくなります。

- 4 設定するパソコンの固定IPアドレスを以下のように変更します。
 - ・IPアドレス:「XXX.〇〇〇.□□□.115」(設定したいIPアドレス)
 - ・サブネットマスク:「255.255.255.◆◆◆」
 - ・デフォルトゲートウェイ:「XXX.〇〇〇.□□□.115」(IPアドレスと同じで可)



ワンポイント

- 変更方法は各 OS の取扱説明書をご覧ください。

- 5 本商品の設定画面を再度見る場合は、ブラウザ画面で入力する数値を、「WAN側設定」で設定した「XXX.〇〇〇.□□□.114」を入力します。

詳しくは、「STEP3 設定ユーティリティを見よう」「PPPoE接続の場合」(P62)を参照してください。



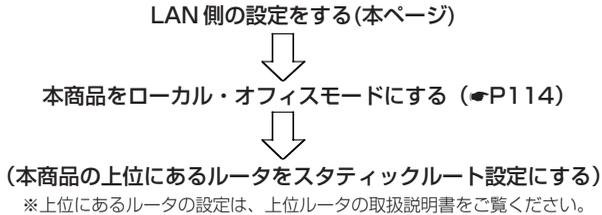
ワンポイント

- Unnumbered を利用する場合は、LAN (パソコン側) に固定IPアドレスを設定する必要があります。

社内LANとして使用するには

本商品は企業やSOHOのLAN内のローカルルータとして使用する「ローカル・オフィス」機能(●P70)を選択し、ネットワークを分けることができます。

●設定手順



例: 既存のLAN:(本商品のWAN側):	ネットワーク・アドレス	→	192.168.1.0
	サブネットマスク	→	255.255.255.0
追加するLAN(本商品のLAN側):	ネットワーク・アドレス	→	192.168.2.0
	サブネットマスク	→	255.255.255.0
WAN側IPアドレス:	-	→	192.168.1.100

●LAN側の設定

ここでは本商品のLAN側IPアドレスの変更方法について説明します。

例: LAN側IPアドレス	→	192.168.2.1
サブネットマスク	→	255.255.255.0

1 設定ユーティリティから「LAN側設定」をクリックします。

LAN側設定 ヘルプ

MACアドレス	XX-XX-XX-XX-XX-XX
LAN側IPアドレス	192 168 2 1
サブネットマスク	255 255 255 0

設定 取消 戻る

項目名	入力例	説明
① LAN側IPアドレス	192.168.2.1	本商品のLAN側のIPアドレスを入力します。 ※お買い求め時の設定は、「192.168.1.1」です。
②サブネットマスク	255.255.255.0	本商品のLAN側ポートに付けるサブネットマスクを入力します。

2 「設定」ボタンをクリックします。LAN側の設定が保存されます。



お知らせ

- 「設定」ボタンをクリックすると、LAN側のIPアドレスが変更され、ユーティリティ設定画面が表示されなくなります。「パソコンのIPアドレスを調べたい、変更したい」(●P122)を参照して、パソコンのIPアドレスを更新して、新しいIPアドレス(例：192.168.2.1)をブラウザ画面に入力して、再度ユーティリティ画面を表示させてください。表示できない場合は、ルータの電源を入れ直してください。



ワンポイント

- パソコンのIPアドレスは自動取得に設定します。

以上で本商品のLAN側IPアドレスの設定ができました。

●ローカル・オフィスモードの設定

本商品がお買い求め時（初期値）の状態のままのときは、追加するLANは以下のアドレス構成になっていて、動作モードはWAN側IP(自動取得)モードになっています。

ここでは「WAN側設定」で本商品をローカル・オフィスモードに変更して、WAN側IPアドレスを設定する方法で説明します。

例: WAN側IPアドレス	→	192.168.1.100
サブネットマスク	→	255.255.255.0
デフォルト・ゲートウェイ	→	192.168.1.1

- 1 追加するLANに接続しているパソコンを起動します。
- 2 本商品の設定ユーティリティを起動し(●P40)、「WAN側設定」をクリックします。
- 3 「ローカル・オフィス」をクリックします。(●P70)

ローカル・オフィス ヘルプ

MACアドレス	00-0A-79-3E-DD-31
WAN側IPアドレス	192 . 168 . 1 . 100
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルト・ゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 1
プライマリDNSサーバアドレス
セカンダリDNSサーバアドレス

設定 取消 戻る

項目名	入力例	説明
① WAN側IPアドレス	192.168.1.100	プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。
②サブネットマスク	255.255.255.0	プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力します。
③デフォルト・ゲートウェイ	192.168.1.1	プロバイダから指定されたゲートウェイのIPアドレスを入力します。
④プライマリDNSサーバ/ セカンダリDNSサーバ	192.168.1.1	ローカルにDNSサーバを設置する場合、またはプロバイダからDNSアドレスを提供されている場合に入力します。

- 4 「設定」をクリックします。「再起動しますか?」というメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
- 5 再起動後、設定ユーティリティを起動し、「詳細設定」-「セキュリティ」をクリックして、「ステートフル・パケット・インスペクション」を「無効」にします。
- 6 上位のルータに本商品に対するスタティックルーティングの設定を行います。



ワンポイント

- 上位のルータ設定については、各ルータの管理者にご確認ください。

以上でローカル・オフィスモードに設定することができました。

その他のルーティング設定例

ここでは、「社内LANとして使用するには」(☛P112)で設定した環境のもとで「192.168.3.0」のネットワークを追加する場合を例に説明します。

●スタティックルートの設定

隣接するルータがRIPに対応していない場合は、手動で通信経路を指定します。

例:「192.168.3.0/24」というネットワークを追加する

例: 接続先ネットワーク	→	192.168.3.0
サブネットマスク	→	255.255.255.0
ゲートウェイ	→	192.168.2.250
インタフェース	→	LAN

- 1 設定ユーティリティから「詳細設定」-「ルーティング」-「スタティック」をクリックして、「追加」ボタンをクリックします。

詳細設定 / ルーティング / スタティック / 追加 ヘルプ	
① 接続先ネットワーク	192.168.3.0
② サブネットマスク	255.255.255.0
③ ゲートウェイ	192.168.2.250
④ インタフェース	LAN
設定 戻る	

項目名	入力例	説明
①接続先ネットワーク	192.168.3.0	通信の宛先となるネットワークのアドレスを入力します。
②サブネットマスク	255.255.255.0	「接続先ネットワーク」に入力したアドレスのどこまでがネットワークアドレスであるかを表す数値を入力します。
③ゲートウェイ	192.168.2.250	「接続先ネットワーク」と「サブネットマスク」で指定した宛先への経路となるルータのIPアドレスを入力します。
④インタフェース	LAN	「ゲートウェイ」で指定したルータが、LAN 側と WAN 側のどちらに存在しているのか「LAN」と「WAN」のどちらかを選択します。

- 2 「設定」ボタンをクリックします。ルーティング画面に設定が追加されます。
- 3 設定ユーティリティから「システム設定」をクリックして、「再起動」の「実行」ボタンをクリックします。

● RIP の設定

LAN側に別途ルータが存在する場合は、そのルーティング経路を本商品に設定する必要があります。本商品はダイナミックルーティングプロトコルであるRIP機能に対応していて、隣接するルータとRIPによって、自動的に経路の情報を交換できます

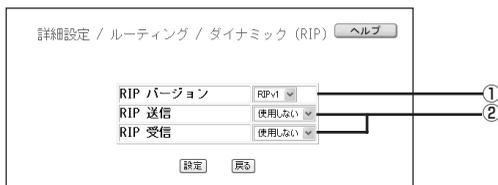


ワンポイント

- 隣接するルータがRIPに対応していないときは、手動でルート設定をする必要があります。
- 本商品のRIP機能はLAN側のみに設定できます。

例: RIPバージョン → RIPv1
RIP送信 → 使用しない
RIP受信 → 使用しない

- 1 設定ユーティリティから「詳細設定」-「ルーティング」-「ダイナミック(RIP)」をクリックします。



項目名	入力例	説明
① RIPバージョン	RIP v1	RIP機能を使用する場合は「RIP v1」（バージョン1）か「RIP v2」（バージョン2）のどちらかを選択します。隣接するルータにも同様にバージョンを選択します。
② RIP送信、RIP受信	使用しない	RIPを送信するか、受信するかどうかを選択します。送信または受信する場合は、それぞれ「使用する」を選択します。

- 2 「設定」ボタンをクリックします。
- 3 設定ユーティリティから「システム設定」をクリックして、「再起動」の「実行」ボタンをクリックします。

STEP5 トラブルや疑問があったら

本商品を使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、この章で解決方法を探してください。

解決のステップ

①取扱説明書や契約書を確認する。管理者に確認する



②この章のQ&Aを確認する

<トラブルは？>

インターネットに接続できない

- ①プロバイダとの契約や回線工事は完了していますか？
- ②電源は入っていますか？
- ③モデム⇄インターネット側への回線は正しく接続されていますか？
- ④ケーブル（モデム⇄本商品⇄パソコン）は正しく接続されていますか？
- ⑤その他の接続は大丈夫ですか？
- ⑥パソコンのネットワークアダプタは正しく動作していますか？
- ⑦パソコンのネットワーク設定は正しく設定しましたか？
- ⑧プロバイダからの入力事項を正しく設定しましたか？
- ⑨Webブラウザの設定は正しいですか？

パソコン同士がつかない

本商品の設定ユーティリティが起動しない

本商品の設定ユーティリティにログインできない

ファームウェアのアップデートに失敗した

<疑問は？>

パソコンのIPアドレスを調べたい、更新したい

本商品のユーザー名（ログイン名）、パスワードを変更したい

最新のファームウェアを入手してアップデートしたい

本商品の設定のバックアップを取りたい、元に戻したい

本商品を再起動する

本商品をお買い求め時（初期値）に戻したい



③当社のホームページの情報を活用する



④それでも解決しなければ、当社のサービス取扱所に問い合わせる

取扱説明書や契約書を再確認する。管理者に確認する

本書以外にもプロバイダ契約時の設定取扱説明書、モデムの取扱説明書、パソコンに付属の取扱説明書をお手元にご用意ください。ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本商品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、外部の装置の問題で正しくつながらないこともあります。下記の「インターネットに接続できない」の項目をすべて確認してもつながらない場合は、プロバイダ、パソコンのメーカーなどに問い合わせてください。なお、企業でお使いの方はネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。接続できない場合はネットワーク管理部門や部内のネットワーク管理者などに確認してください。

Q&A

■インターネットに接続できない

以下の項目については、順番に確認し のようにチェックを付けてください。

①プロバイダとの契約や回線工事は完了していますか？

B フレッツまたはフレッツ・ADSL + 対応プロバイダなどの場合

- 回線適合調査でサービス可能と認定され、工事は完了したか
- B フレッツまたはフレッツ・ADSL に対応したプロバイダの工事は完了したか

②電源は入っていますか？

各接続機器の電源ランプがついているか、または電源アダプタなどが外れていないかを確認してください。

- ADSL モデムまたは回線終端装置などに電源が入っているか（電源アダプタが外れていないか）
- 本商品に電源が入っているか（電源アダプタが外れていないか）

③モデム⇄インターネット側への回線は正しく接続されていますか？

- モデム（ADSL モデム、回線終端装置）とケーブル（電話回線用モジュラケーブル、同軸ケーブル、光ケーブル）が外れていないか

モデム（ADSL モデム、回線終端装置）とケーブル（電話回線用モジュラケーブル、同軸ケーブル、光ケーブル）の詳しい接続については、モデムや回線終端装置に付属の取扱説明書をお読みください。

④ケーブル（モデム⇄本商品⇄パソコン）は正しく接続されていますか？

- 本商品と ADSL モデムまたは回線終端装置は LAN ケーブルで正しく接続されているか

本商品とモデムが正常に接続されていると WAN 側の通信状態ランプが点灯します。点灯していない場合は、ケーブルを差し直すなどしてみてください。また、モデムに MDI/MDI-X を切り替えるスイッチがあれば切り替えてみてください。

- 本商品とパソコンは LAN ケーブルで正しく接続されているか

パソコンと本商品が正常に接続されている場合は、パソコンに電源が入っていると本商品の前面にある各 LAN ポートの通信状態ランプが点灯します。パソコンに LAN ボードまたは LAN カードがきちんと挿入されているか、LAN ポートに正しくケーブルが接続されているかも再度確認しましょう。

⑤その他の接続は大丈夫ですか？

・ フレッツ・ADSL の場合

- スプリッタの出力ポートの接続は正しいか（電話用と ADSL モデム用があります）

ADSL モデム、スプリッタの取扱説明書を参照して確認してください。

⑥パソコンのネットワークアダプタは正しく動作していますか？

パソコンのネットワークアダプタのドライバの設定は正しいか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「手動でパソコンのネットワーク設定をする場合は」(●P26)を参照してパソコンのネットワークアダプタが正常に動作していることを再度確認してください。

⑦パソコンのネットワーク設定は正しく設定しましたか？

パソコンのTCP/IPが正しく設定されているか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「手動でパソコンのネットワーク設定をする場合は」(●P26)を参照してパソコンのTCP/IPが正しく設定されていることを再度確認してください。

割り当てられた固定IPアドレス等が設定されていますか？

プロバイダから複数の固定IPアドレスを割り当てられている場合は、下記の手順でそれぞれのパソコンのネットワーク設定を行ってください。

・Windows® XPの場合

P27の「●TCP/IPプロトコルを確認する」の手順7の「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面で、割り付けられた「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」を設定してください。

・Windows® 2000の場合

P31の「●TCP/IPプロトコルを確認する」の手順5の「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面で、割り付けられた「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」を設定してください。

・Windows® Me / 98 / 95の場合

P35の「●TCP/IPプロトコルを確認する」の手順5の「TCP/IPのプロパティ」画面で、割り付けられた「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」を設定してください。

フレッツ・グループアクセス (NTT 東日本) / フレッツ・グループ (NTT 西日本) のLAN型払い出しに、PPPoEのセッション-2で接続する場合 (●P105) は、上記の設定に加えて、DNSサーバアドレスとしてルータのアドレスを設定してください。

⑧プロバイダからの設定事項を正しく入力しましたか？

契約時の設定事項を本商品およびパソコンに正しく入力したか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「簡単設定で本商品の設定をしよう」(●P42)で行ったプロバイダからの設定事項をすべて設定ユーティリティに正しく入力しないとインターネットには接続できません。パスワードは入力を間違っても画面上で確かめることができませんので、再度入力をやり直してみてください。大文字/小文字が区別される場合もありますので注意してください。

⑨ Web ブラウザの設定は正しいですか？

Web ブラウザの設定項目は正しいか

Webブラウザの設定についてはプロバイダ契約時の設定取扱説明書、パソコンに付属の取扱説明書やOSのヘルプなどを参照してください。

Windows® 95/98をお使いで、初めてインターネットに接続した場合、インターネット接続ウィザードが表示されます。その場合、次の手順で設定してください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「通信」→「インターネット接続ウィザード」をクリックします。
- 2 「インターネット接続を手動で設定するか、ローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。
- 3 「ローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。
- 4 「プロキシサーバの自動検出」のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。
- 5 「インターネットメールアカウントの設定」画面で「いいえ」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。
- 6 「完了」ボタンをクリックします。

パソコンをダイヤルアップ環境で利用されていた方は、お使いのOSによってはWebブラウザの設定を変更する必要があります。プロバイダ契約時の設定取扱説明書、パソコンに付属の取扱説明書やOSのヘルプなどを参照してください。

■パソコン同士が繋がらない

●ファイルやプリンタが利用できるようにネットワーク設定をしましたか？

パソコンのネットワーク共有サービスの設定を行う

本商品のLANポートに接続されたパソコン同士がデータのやり取りをするには、共有ネットワークの設定が必要です。複数台のパソコンでデータのやり取りをする場合、Windows®ではMicrosoft ネットワーク共有サービスを使ったワークグループ接続（ピアツーピア接続）が一般的です。設定方法については、各OSのヘルプを参照してください。

フレッツ・グループアクセス（東日本）/フレッツ・グループ（西日本）でマルチセッションを行っている場合、LAN払い出しがされたアドレスはDNS設定としてルータのアドレスを入力してください。

■本商品の設定ユーティリティが起動しない

●パソコンのネットワーク設定は正しくできていますか？

パソコンのTCP/IPが正しく設定されているか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「手動でパソコンのネットワーク設定をする場合は」(●P26)を参照して、パソコンのTCP/IPが正しく設定されているか再度確認してください。

●プロキシサーバを使う設定になっていませんか？

Webブラウザのプロキシサーバの設定は正しいか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「Webブラウザの設定をしよう」(●P39)を参照して、Webブラウザでプロキシサーバを使用しない設定にしてください。

●すでにフレッツ・ADSL/B フレッツに接続している場合は

これまでパソコンに ADSL モデムなどを直接接続して、フレッツ・ADSL/B フレッツに接続していた場合は、次の点を確認してみてください。

Windows® XP で、PPPoE 接続の設定がされていませんか？

Windows® XP の「コントロールパネル」－「ネットワーク接続」で、「広帯域」の接続が作成されていると、ルータの設定ができません。「広帯域」の接続を削除してください。

「フレッツ接続ツール」を使用していませんか？

当社より配布されている「フレッツ接続ツール」を使用して、フレッツ・ADSL/B フレッツに接続するように設定されていると、ルータの設定ができません。「フレッツ接続ツール」を削除してください。

■本商品の設定ユーティリティにログインできない

●別のパソコンがログインしていませんか？

別のパソコンがログインしていませんか？

別のパソコンをログアウトし、もう一度ログインしなおしてください。

●パスワードを忘れた

本商品をお買い求め時の状態に戻してください。パスワードがクリアされます。本商品をお買い求め時の状態に戻す方法は、この章の「本商品をお買い求め時(初期値)の状態に戻したい」(●P127)を参照してください。パスワードを設定したい場合は、この章の「本商品のユーザ名(ログイン名)、パスワードを変更したい」(●P123)を参照して、再設定してください。



お知らせ

- 本商品をお買い求め時の状態に戻すと、パスワードだけでなく、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいます。再設定してください。

■FTP通信が利用できない

●Internet Explorer6.0を使用している場合は

Internet Explorer6.0の「ツール」－「インターネットオプション」－「詳細設定」で「ブラウスの「パッシブFTP (ファイアウォールおよびDSL モデム互換用) を使用する」のチェックを入れて「OK」をクリックしてください。

■ファームウェアのアップデートに失敗した

本商品をお買い求め時の状態に戻してから、再度、ファームウェアのアップデートを行ってください。

本商品をお買い求め時の状態に戻す方法は、この章の「本商品をお買い求め時（初期値）の状態に戻したい」（●P127）を参照してください。



お知らせ

- 本商品をお買い求め時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいます。再設定してください。

■パソコンのIPアドレスを調べたい、更新したい

本商品よりパソコンに割り当てられたIPアドレスを調べる場合は、次の方法で行ってください。Windows®以外のOSについては、OSのヘルプや取扱説明書を参照してください。

< Windows® XP / 2000 の場合 >

- 1 「スタート」ボタン-「すべてのプログラム」(Windows® 2000の場合は「プログラム」)-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」をクリックします。
- 2 キーボードから「ipconfig」と入力して、「Enter」キーを押します。

パソコンのIPアドレスが表示されます。

```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Documents and Settings¥userpc>ipconfig
```

「ipconfig」と入力します。

※画面例

「C:¥Documents and Settings¥userpc」の部分は、パソコンの使用環境によって表示が異なります。

- 3 IPアドレスを確認します。

```
Ethernet adapter ローカル エリア接続:

Connection-specific DNS Suffix . :
IP Address. . . . . : 192.168.1.11
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1
```

IPアドレスが表示されます。

※正しく表示されない場合、またはIPアドレスを更新する場合は、以下のように入力します。
正しく表示されない場合:「ipconfig /release」と入力して「Enter」キーを押します。
IPアドレスを更新する場合:「ipconfig /renew」と入力して「Enter」キーを押します。



半角スペースを入力します。

< Windows® Me / 98 / 95 の場合 >

- 1 「スタート」ボタン-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 2 「名前」の欄に「winipcfg」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。
- 3 パソコンで使用しているネットワークアダプタを選択します。
パソコンのIPアドレスが表示されます。
正しく表示されない場合は、「解放」ボタンをクリックした後、「すべて書き換え」ボタンをクリックしてください。



- ①ご使用のネットワークアダプタを選択します。
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。
- ②確認します。

※正しく表示されない場合、またはIPアドレスを更新する場合は、以下のボタンをクリックします。

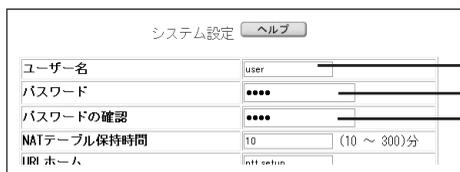
正しく表示されない場合:「解放」ボタンをクリックします。

IPアドレスを更新する場合:「すべて書き換え」をクリックします。

■本商品のユーザー名 (ログイン名)、パスワードを変更したい

本商品のユーザー名 (ログイン名)、パスワードは、次の手順で変更できます。

- 1 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」画面を表示させます。



- ③確認のため②で入力したパスワードを再入力します。

- ①現在のユーザー名 (お買い求め時はuser) を入力します。
- ②新しく設定するパスワードを入力します。
※入力可能な文字は、半角英数字、記号で12文字までです。入力したパスワードは、画面上では「●」または「*」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。

- 2 「更新」ボタンをクリックします。

- 3 ネットワークパスワード入力画面が表示されるので、ユーザー名と新しいパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。



お知らせ

- ユーザー名 (ログイン名) およびパスワードで空白を設定すると、認証を行わずに設定ユーティリティにアクセスすることができますが、セキュリティが弱くなりますので、ご注意ください。

■本商品の設定のバックアップを取りたい、元に戻したい

現在の設定内容をバックアップし、何らかの原因で設定内容が壊れたりした場合に、保存してあるバックアップファイルを使用して、設定を元に戻すことができます。

<バックアップを取る>

- 1 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」画面を表示させます。
- 2 「設定保存」の「保存」ボタンをクリックします。

システム設定 ヘルプ	
ユーザー名	user
パスワード	*****
パスワードの確認	*****
NATテーブル保持時間	10 (10 ~ 300)分
URLホーム	ntt setup
PPPoEブリッジ機能	使用する ▼
時間設定	自動設定 ▼
初期化	実行
再起動	実行
設定保存	保存
設定読込	読込
ファームウェア更新	

更新 取消 戻る

「保存」ボタンをクリックします。

- 3 「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスが表示されたら「保存」ボタンをクリックします。

ファイルのダウンロード

ファイル名: WBC720_Conflectle
ファイルの種類:
発信元: 192.168.1.1

ファイルを開くか、ファイル名を付けて保存するか選択してください。
開く: 保存: キャンセル: 詳細情報を見る

この種類のファイルは常に警告する

「保存」ボタンをクリックします。

- 4 「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されますので、保存先を指定して「保存」ボタンをクリックします。



お知らせ

- ファイル名を変更すると、読み込むことができなくなります。

<元に戻す>

「バックアップを取る」でバックアップした設定ファイルを読み込み、元の状態に戻します。

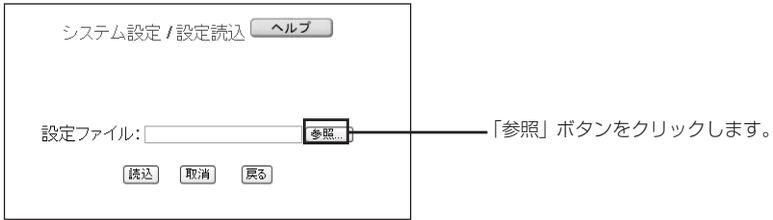
- 1 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」画面を表示させます。
- 2 「設定読込」の「読込」ボタンをクリックします。

システム設定 ヘルプ	
ユーザー名	user
パスワード	*****
パスワードの確認	*****
NATテーブル保持時間	10 (10 ~ 300)分
URLホーム	ntt setup
PPPoEブリッジ機能	使用する ▼
時間設定	自動設定 ▼
初期化	実行
再起動	実行
設定保存	保存
設定読込	読込
ファームウェア更新	

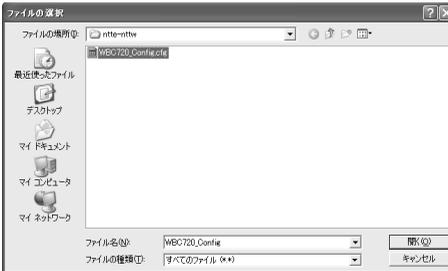
更新 取消 戻る

「読込」ボタンをクリックします。

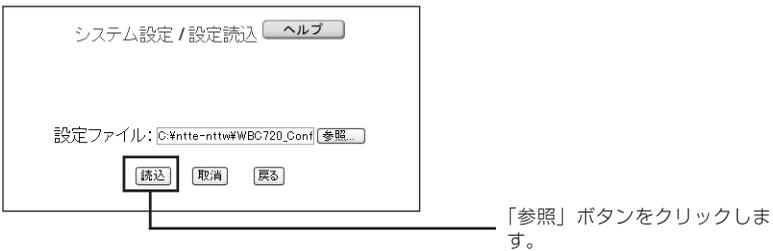
- 3 「参照」ボタンをクリックします。



- 4 「ファイルの選択」ダイアログボックスが表示されたら、保存しているバックアップファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。



- 5 「読み込」ボタンをクリックします。
読み込みが終了したら、元の状態(バックアップファイルで設定した状態)に戻ります。



お知らせ

- ファームウェアのバージョンが異なるときは、バックアップして保存されている設定データを元の状態に反映できない場合があります。

■本商品を再起動する

本商品のシステムを再起動します。設定を変更した場合には、再起動して設定内容を反映させてください。「ファームウェアのアップデート」「お買い求め時の状態に戻す」とは異なりますのでご注意ください。

再起動には、次の2つの方法があります。

<初期化スイッチを使う>

- 1 本商品の電源が入っている状態で、ゼムクリップなど堅くて先の細いものを使用し、本商品背面にある初期化スイッチを押して、すぐに離します。
- 2 電源ランプ以外のランプが一度消え、再び点灯したら、再起動の完了です。

<設定ユーティリティを使う>

- 1 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」画面を表示させます。
- 2 「再起動」の「実行」ボタンをクリックします。

「実行」ボタンをクリックします。

- 3 「「再起動」を実行しますか?」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



「OK」ボタンをクリックします。

再起動が行われます。

再起動中に、電源ランプ以外のランプが一度消え、再び点灯したら、再起動は完了です。

■本商品をお買い求め時（初期値）の状態に戻したい

本商品をお買い求め時の状態に戻すと今まで設定した情報が初期値になります。重要な設定をしている場合は、設定内容を設定記入シート（●P134）に書き残すなど、後で再設定できるようにしておいてください。

お買い求め時の状態に戻すには、次の2つの方法があります。2つの方法に違いはありません。どちらを使ってもかまいません。

<初期化スイッチを使う>

- 1 本商品の電源がオンの状態で、背面の初期化スイッチをゼムクリップなど堅くて細いもので押し続けます。
- 2 ステータスランプが点滅したら、初期化スイッチを離します。
- 3 ステータスランプが消えたら、お買い求め時の状態に戻ります。

<設定ユーティリティを使う>

- 1 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」を画面に表示させます。
- 2 「初期化」の「実行」ボタンをクリックします。

「実行」ボタンをクリックします。

- 3 「初期化してもよろしいですか?」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



「OK」ボタンをクリックします。

「処理しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。
お買い求め時の状態に戻ります。



お知らせ

● 廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、このページの操作で、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

■最新のファームウェアを入手してアップデートしたい

本商品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアは当社のホームページ(<http://www.ntt-east.co.jp/ced/> または <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>)から入手してください。



お知らせ

- 更新するファームウェアのバージョンによっては、更新前にお客様がバックアップされた設定データを反映できない場合があります。
- ファームウェアをアップデートする前に、本商品の設定内容を設定記入シート(●P134)をコピーして記入しておいてください。
- ファームウェアをアップデート中は、他の操作を行ったり、本商品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗したり、本商品の故障の原因となる場合があります。

ここでは例として「C:\ntte-nttw」に「720fw100.img」を保存した場合で説明します。

- 1 本商品の設定のバックアップを取ります。
詳しくは「本商品の設定のバックアップを取りたい、元に戻したい」(●P124)を参照してください。
- 2 本商品をお買い求め時(初期値)の状態に戻します。
詳しくは「本商品をお買い求め時(初期値)の状態に戻したい」(●P127)を参照してください。
- 3 設定ユーティリティを起動し、「システム設定」画面を表示させます。
- 4 「ファームウェア更新」をクリックします。

システム設定 ヘルプ	
ユーザー名	user
パスワード	****
パスワードの確認	****
NATテーブル保持時間	10 (10 ~ 300)分
URLホーム	nttsetup
PPPoEブリッジ機能	使用する
時間設定	自動設定
初期化	実行
再起動	実行
設定保存	保存
設定確認	確認
ファームウェア更新	実行

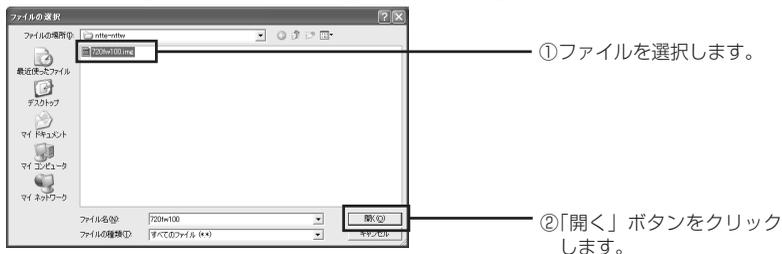
「ファームウェア更新」をクリックします。

- 5 「参照」ボタンをクリックすると「ファームウェアの更新中にブラウザの操作を行うと更新が中断されます」と表示されるので「OK」ボタンをクリックします。

システム設定 / ファームウェア更新: ヘルプ	
ファームウェア・ファイル:	[]
	参照
	更新
	取消

「参照」ボタンをクリックします。

- 6 「C:\yntte-nttw」内の「720fw100.img」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。



- 7 「更新」ボタンをクリックします。



- 8 「更新しますか?」と表示されるので「OK」ボタンをクリックします。
本体前面のステータスランプが点灯し、ファームウェアの更新処理が開始されます。
- 9 本体前面のステータスランプが消灯していることを確認します。
- 10 しばらくすると画面に設定ユーティリティのトップページが表示されます。
- 11 初期化スイッチを使って本商品をお買い求め時の状態に戻してください。
詳しくは「本商品をお買い求め時(初期値)の状態に戻したい」(●P127)を参照してください。
- 12 本商品の設定を元に戻します。
詳しくは「本商品の設定のバックアップを取りたい、元に戻したい」の「元に戻す」(●P124)を参照してください。

以上で、ファームウェアの更新は終了です。



ワンポイント

- ファームウェアのバージョンは、設定ユーティリティの「ステータス」をクリックして「ファームウェア・バージョン」で確認します。

STEP6 付録

MAC アドレスについて

ご契約されているプロバイダやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、ADSL モデムなどに直接接続するネットワーク機器（本商品も含むパソコンなど）のMAC アドレスをプロバイダに対して事前申請してください。本商品のWAN 側のMAC アドレスは本体背面に記入されています。（●P15）

用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。

アルファベット

DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。インターネットに一時的に接続するコンピュータに、IPアドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるプロトコルです。
DHCP クライアント	クライアントとは、コンピュータのネットワークでは、サーバコンピュータの提供する機能やデータを利用するコンピュータのことを言います。DHCP クライアントとは DHCP を利用するコンピュータのことを指します。
DHCP サーバ	ゲートウェイサーバやDNSサーバのIPアドレスや、サブネットマスク、クライアントに割り当ててもよいIPアドレスの範囲などが設定されています。
DMZ	DeMilitarized Zoneの略。インターネットから本商品の変換対象IPアドレス宛に届いたLANの宛先ホストが不明のパケットを、公開サーバに設定したホストに転送します。公開サーバ以外のホストからも同時にインターネットアクセスが可能になります。
DNS サーバ	インターネット上のパソコンの名前であるドメイン名を、住所にあたるIPアドレス(4つの数字の列)に変換するコンピュータ。
DoS	Denial of Serviceの略。ネットワークを通じての攻撃の1つ。インターネットに接続しているパソコンやルータなどに不正なデータを送るなどして、使用不能の状態にさせます。
IPv6ブリッジ	IPv6プロトコルを利用したパケットについて、WAN-LAN間の通信データをすべてブリッジすることができます。これにより、通常のPPPoEによるインターネット接続などとIPv6ネットワークをLAN側に設置されたパソコンで同時にご利用いただくことができます。
IP アドレス	インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32 bitの値をもち、8 bitずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現します(例:192.168.1.10)。
IP マスカレード	Internet Protocol Masqueradeの略。NATを拡張させた機能。データの変換対象/宛先IPアドレスに加えて、ポート番号を使ってアドレス変換をします。この機能により、複数のパソコンが異なるポートを用いて同時にインターネットを利用することができます。
LAN	Local Area Networkの略。複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
MAC アドレス	MACはMedia Access Controlの略。Ethernet機器ごとの固有の物理アドレスです。Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

MTU 値	1回の転送で送信できる最大値のことです。接続環境によって適正値があり、どの環境でも「数値大＝速い」ということではありません。Ethernetは1500、電話回線(ダイヤルアップ回線)は576が適正と言われています。
NAT	Network Address Translationの略。LAN内で使用される宛先IPアドレスと、インターネットに接続するのに必要な変換対象IPアドレスを、1対1で変換する機能。各パソコンに設定されている宛先IPアドレスは自動的に変換対象IPアドレスに変換され、インターネットに接続できるようになります。
PING	Packet Internet Groperの略。インターネットやLANなどのTCP/IPネットワークを診断するプログラム。接続されているかどうか調べたいコンピュータのIPアドレスを指定すると、相手のコンピュータから返信があるかどうかでネットワークを診断します。
PPPoE	PPP over Ethernetの略。ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザー認証技術です。Ethernet上でダイヤルアップ接続(PPP接続)と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行います。
RIP	Routing Information Protocolの略。ネットワーク内でルータなどの制御機器が経路情報をたがいに交換するためのプロトコルです。ルータなどでは、RIPで得た経路情報を元にパケットをどこに送ればよいかを判断します。
Unnumbered IP	プロバイダから取得した複数のWAN側のIPアドレス(グローバルIPアドレス)をパソコンに割り当てて使用することができる機能です。
UPnP	Universal Plug and Playの略。パソコンや周辺機器などをネットワークを通じて接続する最新の仕様です。ネットワークに周辺機器などを接続するだけで自動的にお互いを認識しあい、通信できるようにします。
Web ブラウザ	インターネットのホームページを開覧するためのソフトウェアのことで、代表的なブラウザとして次の2つがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft® Internet Explorer (マイクロソフトインターネットエクスプローラ) ・ Netscape Navigator (ネットスケープナビゲータ)

五十音

【ア行】

オートネゴシエーション

ネットワークシステム間のデータ転送速度を最大に得られるよう通信方式を機器間で設定する機能のことです。

【カ行】

クライアント

LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス(ファイル/データベース/メール/プリンタなど)を受けるコンピュータ。

グローバルIP

インターネットで使用されるIPアドレスです

【サ行】

サーバ LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。

サブネットマスク IPアドレスのうちどのくらいの容量(ビット)をネットワークを識別するネットワークアドレスに使用するかを定める数値のことです。

【タ行】

ダイナミック DNS 接続ごとに DNS のレコードを更新することで、常時接続環境を利用する自宅のパソコンに対してホスト名を付与するサービスです。一般的な DDNS サービスでは Web 上でダイナミック DNS のホスト先としたい端末の IP アドレスを登録することで DNS レコードを更新するシステムが一般的です。

【ハ行】

バーチャル・サーバ 1 台で複数のドメインを運用することができるサーバのことです。バーチャル・サーバにポートを設定し、WAN 側から特定のポートに対して送信された場合、ルータはバーチャル・サーバの設定内容に従って、その送信を LAN 側の特定のポートあてに転送します。

プライベート IP イン트라ネットや LAN 組織内で自由に発行できる IP アドレスです。

プロトコル 通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束事。

【ラ行】

ルータ 複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

設定記入シート

保守のための資料として、設定内容を記入し、大切に保管してください。
プロバイダの接続パスワードやメールのパスワードは、お客様の個人情報となります。記入された際は、本設定記入シートのお取り扱いにご注意ください。



ワンポイント

- 設定記入シートは、必要枚数をコピーしてお使いください。
- 1ページを141% (A5→A4拡大) で拡大コピーしていただくと、A4サイズの記入しやすい大きさになります。
また、見開きでB4サイズ (A4→B4拡大:122%) またはA3サイズ (A4→A3拡大:141%) に拡大コピーしても記入しやすくなります。

設定ユーティリティログイン	ユーザー名
	パスワード

■【簡単設定】 インターネット接続 (WAN側設定)

設定項目	設定データ
インターネット接続 (WAN側設定)	PPPoE (FLETSシリーズ) / IP自動取得 (DHCP) / IP固定取得

■【簡単設定】 PPPoE

設定項目	設定データ
接続ユーザー名	
接続パスワード	

■【簡単設定】 PPPoE (FLETSシリーズ)

設定項目	設定データ
フレックス・スクウェア	東日本/西日本/利用しない

■【簡単設定】 固定IPアドレス

設定項目	設定データ
WAN側IPアドレス	
サブネットマスク	
ゲートウェイ	
プライマリDNSサーバ	

■【システム設定】

設定項目	設定データ
ユーザー名	
パスワード	
パスワードの確認	
NATテーブル保持時間	(10~300)
URLホーム	
PPPoEブリッジ機能	使用する/使用しない
時間設定	<input type="checkbox"/> 自動設定
	<input type="checkbox"/> 手動設定
	/ : ;

■【LAN側設定】

設定項目	設定データ
LAN側IPアドレス	
サブネットマスク	

■【WAN側設定】

●IP自動取得 (DHCP) / IP固定

設定項目	設定データ
タイプ	<input type="checkbox"/> IP自動取得 (DHCP) / <input type="checkbox"/> IP固定
WAN側IPアドレス	
サブネットマスク	
デフォルト・ゲートウェイ	
ドメイン名	
コンピュータ名	
MTU値	(576~1500)
DNSサーバ	<input type="checkbox"/> 自動設定 / <input type="checkbox"/> マニュアル設定
ファイアウォール	
接続/DNSサーバ/プロトコル	

■【WAN側設定】

●【PPPoE設定】セッション-1：設定1

設定項目	設定データ
接続先名選択	設定1
接続ユーザー名	
接続パスワード	
接続パスワードの確認	
接続方法	常時/要求時/手動
無通信監視タイム	(0~60)
MTU値	(576~1492) / <input type="checkbox"/> 自動調整
接続タイプ	PPPoE / Unnumbered IP / Unnumbered IP + Private IP
ルータIP	
サブネットマスク	
DNSサーバ	<input type="checkbox"/> 自動設定 / <input type="checkbox"/> マニュアル設定
ファイアウォール	
接続/DNSサーバ/プロトコル	

●【PPPoE設定】セッション-1：設定2

設定項目	設定データ
接続先名選択	設定2
接続ユーザー名	
接続パスワード	
接続パスワードの確認	
接続方法	常時/要求時/手動
無通信監視タイム	(0~60)
MTU値	(576~1492) / <input type="checkbox"/> 自動調整
接続タイプ	PPPoE / Unnumbered IP / Unnumbered IP + Private IP
ルータIP	
サブネットマスク	
DNSサーバ	<input type="checkbox"/> 自動設定 / <input type="checkbox"/> マニュアル設定
ファイアウォール	
接続/DNSサーバ/プロトコル	

■ [WAN側設定]

● [PPPoE設定] セッション1：設定3

設定項目	設定データ
接続先名選択	設定3
接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワードの確認	
接続方法	常時/要求時/手動
無通信監視タイマ	(0~60)
MTU値	(576~1492) / <input type="checkbox"/> 自動調整
接続タイプ	PPPoE/Unnumbered IP/Unnumbered IP+Private IP
ルータIP	
サブネットマスク	
DNSサーバ	<input type="checkbox"/> 自動設定/ <input type="checkbox"/> マニュアル設定
プライマリDNSサーバIPアドレス	
セカンダリDNSサーバIPアドレス	

● [PPPoE設定] セッション1：設定4

設定項目	設定データ
接続先名選択	設定4
接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワードの確認	
接続方法	常時/要求時/手動
無通信監視タイマ	(0~60)
MTU値	(576~1492) / <input type="checkbox"/> 自動調整
接続タイプ	PPPoE/Unnumbered IP/Unnumbered IP+Private IP
ルータIP	
サブネットマスク	
DNSサーバ	<input type="checkbox"/> 自動設定/ <input type="checkbox"/> マニュアル設定
プライマリDNSサーバIPアドレス	
セカンダリDNSサーバIPアドレス	

■ [WAN側設定]

● [PPPoE設定] セッション1：設定5

設定項目	設定データ
接続先名選択	設定5
接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワードの確認	
接続方法	常時/要求時/手動
無通信監視タイマ	(0~60)
MTU値	(576~1492) / <input type="checkbox"/> 自動調整
接続タイプ	PPPoE/Unnumbered IP/Unnumbered IP+Private IP
ルータIP	
サブネットマスク	
DNSサーバ	<input type="checkbox"/> 自動設定/ <input type="checkbox"/> マニュアル設定
プライマリDNSサーバIPアドレス	
セカンダリDNSサーバIPアドレス	

● [PPPoE設定] セッション2：設定1

設定項目	設定データ
接続先名選択	設定1
接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワードの確認	
接続方法	常時/要求時/手動
無通信監視タイマ	(0~60)
MTU値	(576~1492) / <input type="checkbox"/> 自動調整
LANTYPE	使用する/使用しない
ルータIP	
サブネットマスク	
DNSサーバ	<input type="checkbox"/> 自動設定/ <input type="checkbox"/> マニュアル設定
プライマリDNSサーバIPアドレス	
セカンダリDNSサーバIPアドレス	

■ 【WAN側設定】

● 【PPPoE設定】セッション-2：設定2

設定項目	設定データ
接続先名選択	設定2
接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワードの確認	
接続方法	常時/要求時/手動
無通信監視タイム	(0～60)
MTU値	(576～1492) / □自動調整
LAN TYPE	使用する/使用しない
ルータIP	
サブネットマスク	
DNSサーバ	○自動設定/○マニュアル設定

■ 【WAN側設定】

● 【PPPoE設定】セッション-2：設定4

設定項目	設定データ
接続先名選択	設定4
接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワードの確認	
接続方法	常時/要求時/手動
無通信監視タイム	(0～60)
MTU値	(576～1492) / □自動調整
LAN TYPE	使用する/使用しない
ルータIP	
サブネットマスク	
DNSサーバ	○自動設定/○マニュアル設定

● 【PPPoE設定】セッション-2：設定3

設定項目	設定データ
接続先名選択	設定3
接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワードの確認	
接続方法	常時/要求時/手動
無通信監視タイム	(0～60)
MTU値	(576～1492) / □自動調整
LAN TYPE	使用する/使用しない
ルータIP	
サブネットマスク	
DNSサーバ	○自動設定/○マニュアル設定

● 【PPPoE設定】セッション-2：設定5

設定項目	設定データ
接続先名選択	設定5
接続ユーザ名	
接続パスワード	
接続パスワードの確認	
接続方法	常時/要求時/手動
無通信監視タイム	(0～60)
MTU値	(576～1492) / □自動調整
LAN TYPE	使用する/使用しない
ルータIP	
サブネットマスク	
DNSサーバ	○自動設定/○マニュアル設定

■ 【WAN側設定】

(5件以上設定しているときは、必要枚数をコピーしてご記入ください)

● 【PPPoE設定】 — 「接続ルール」

設定項目	設定データ
接続先名選択	
ルール選択	ドメイン名/IPアドレス/ポート番号/IPアドレス (FG/FGA) / ネットワーク/IPアドレス+ポート番号/ネットワーク+ポート番号
ドメイン名	—
IPアドレス	—
ネットワーク	/
開始ポート	(0~65535)
終了ポート	(0~65535) / <input type="checkbox"/> Net Bios
プロトコル	TCP/UDP/TCP/UDP

● 【PPPoE設定】 — 「接続ルール」

設定項目	設定データ
接続先名選択	
ルール選択	ドメイン名/IPアドレス/ポート番号/IPアドレス (FG/FGA) / ネットワーク/IPアドレス+ポート番号/ネットワーク+ポート番号
ドメイン名	—
IPアドレス	—
ネットワーク	/
開始ポート	(0~65535)
終了ポート	(0~65535) / <input type="checkbox"/> Net Bios
プロトコル	TCP/UDP/TCP/UDP

● 【PPPoE設定】 — 「接続ルール」

設定項目	設定データ
接続先名選択	
ルール選択	ドメイン名/IPアドレス/ポート番号/IPアドレス (FG/FGA) / ネットワーク/IPアドレス+ポート番号/ネットワーク+ポート番号
ドメイン名	—
IPアドレス	—
ネットワーク	/
開始ポート	(0~65535)
終了ポート	(0~65535) / <input type="checkbox"/> Net Bios
プロトコル	TCP/UDP/TCP/UDP

■ 【WAN側設定】

● 【PPPoE設定】 — 「接続ルール」

設定項目	設定データ
接続先名選択	
ルール選択	ドメイン名/IPアドレス/ポート番号/IPアドレス (FG/FGA) / ネットワーク/IPアドレス+ポート番号/ネットワーク+ポート番号
ドメイン名	—
IPアドレス	—
ネットワーク	/
開始ポート	(0~65535)
終了ポート	(0~65535) / <input type="checkbox"/> Net Bios
プロトコル	TCP/UDP/TCP/UDP

● 【PPPoE設定】 — 「接続ルール」

設定項目	設定データ
接続先名選択	
ルール選択	ドメイン名/IPアドレス/ポート番号/IPアドレス (FG/FGA) / ネットワーク/IPアドレス+ポート番号/ネットワーク+ポート番号
ドメイン名	—
IPアドレス	—
ネットワーク	/
開始ポート	(0~65535)
終了ポート	(0~65535) / <input type="checkbox"/> Net Bios
プロトコル	TCP/UDP/TCP/UDP

■ 【WAN側設定】 — 「ローカル・オプティス」

設定項目	設定データ
WAN側IPアドレス	
サブネットマスク	
ブロードキャスト	
プライマリDNSサーバー	
セカンダリDNSサーバー	

■ 【詳細設定】 - [スベシヤル・アプリケーション]

	名称	入力ポート番号		出力ポート番号		
		タイプ	開始	終了	タイプ	開始
1	<input type="checkbox"/>	UDP/TCP			UDP/TCP	
2	<input type="checkbox"/>	UDP/TCP			UDP/TCP	
3	<input type="checkbox"/>	UDP/TCP			UDP/TCP	
4	<input type="checkbox"/>	UDP/TCP			UDP/TCP	
5	<input type="checkbox"/>	UDP/TCP			UDP/TCP	
6	<input type="checkbox"/>	UDP/TCP			UDP/TCP	

■ 【詳細設定】 - [DMZ]

設定項目	設定データ
接続先名選択	
DMZホスト	

■ 【詳細設定】 - [ダイナミックDNS (DDNS)]

設定項目	設定データ
接続先名選択	
ダイナミックDNS	DynDNS.org/無効
ロケイン名	
ロケインパスワード	
ドメイン名	
IPチェック時間	15分/30分/1時間/24時間

■ 【詳細設定】 - [セキュリティ]

設定項目	設定データ
接続先名選択	
スタートフルバケット・インスベクション	使用する/使用しない
VPN/SSLスルー	使用する/使用しない
スタートモード	使用する/使用しない
URLフィルタ	使用する/使用しない
バケットフィルタ設定	使用する/使用しない

■ 【詳細設定】 - [セキュリティ]
(50件以上設定しているときは、必要枚数をコピーしてご記入ください)

● URLフィルタ

フィルタリスト	
1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12
13	14
15	16
17	18
19	20
21	22
23	24
25	26
27	28
29	30
31	32
33	34
35	36
37	38
39	40
41	42
43	44
45	46
47	48
49	50

■ [詳細設定] - [セキュリティ] - [セキユリテイ]

● [パケットフィルタ設定] 1

グループ選択		インターネット接続										
グループ0	アクセス制限	使用する/使用しない										
	スケジュール	なし/あり										
グループ0	スケジュール1	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	
		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜				
グループ1	スケジュール1	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	
		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜				
グループ2	スケジュール1	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	
		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜				

● [パケットフィルタ設定] 2

グループ選択		インターネット接続										
グループ3	アクセス制限	使用する/使用しない										
	スケジュール	なし/あり										
グループ3	スケジュール1	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	
		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜				
グループ4	スケジュール1	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	
		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜				

■ [詳細設定] - [DHCPサーバ]

設定項目	設定データ
DHCPサーバ	使用する/使用しない
リース期間継続方法	期間指定/無期限
リース期間	日 時間 (0~23) 分 (0~59)
開始IPアドレス	192.168.1.()
終了IPアドレス	192.168.1.()

■ 【詳細設定】 - 【ルーティング】 - 【ダイナミック (RIP)】

設定項目	設定データ
RIPバージョン	RIPv1/RIPv2
RIP送信	使用する/使用しない
RIP受信	使用する/使用しない

■ 【詳細設定】 - 【その他各種設定】 - 【バックアップDNS】

設定項目	設定データ
バックアップDNS	使用する/使用しない
プライマリDNSサーバーアドレス	
セカンダリDNSサーバーアドレス	

■ 【詳細設定】 - 【その他各種設定】 - 【E-Mail】

設定項目	設定データ
E-Mail設定	使用する/使用しない
SMTPサーバー名	
メールアドレス	
Subject	
ユーザー名	
パスワード	
ロケール	
ログがフルであるとき/毎時間/毎日/毎週/設定しない	
ログメール送信スケジュール	日曜日/月曜日/火曜日/水曜日/木曜日/金曜日/土曜日 1:00/2:00/3:00/4:00/5:00/6:00/7:00/8:00/ 9:00/10:00/11:00/12:00 ○午前/○午後

■ 【詳細設定】 - 【その他各種設定】 - 【リモート】

設定項目	設定データ
接続先名選択	
リモート設定	使用する/使用しない
ポート	(1-9999)

■ 【詳細設定】 - 【その他各種設定】 - 【UPnP】

設定項目	設定データ
UPnP (有効にする)	使用する/使用しない
○アプリケーションでWAN IPを選択する	
○WAN側IPのセッションを選択する	
WANの切断機能	○セッション1/○セッション2 使用する/使用しない

■ 【詳細設定】 - 【その他各種設定】 - 【IPv6】

設定項目	設定データ
IPv6ブリーディング機能	使用する/使用しない

数字	
100M ランプ	14
アルファベット	
DC ジャック	15
DDNS	77
DHCP	
DDHCP サーバ	86
DHCP で接続する	58、60
DMZ	76
DMZ ホスト	76
DNS サーバ	60、61、65
DoS アタックログ	90
DynDNS.org	77
E-Mail	94
E-Mail 設定	95
IPv6	98
IP アドレス	68、88
パソコンの IP アドレスを調べる、更新する .	122
IP 固定（固定 IP アドレス）で接続する .	58、61
IP 固定設定	44
IP 自動取得（DHCP）	44、60
IP チェック時間	78
LAN	
LAN TYPE	67
LAN 側 IP アドレス	57
LAN 側設定	57
LAN 側の設定	112
LAN ケーブル	11、20
LAN 状態	71
LAN ポート	15
LAN 型払い出しに接続する	105
Mac OS パソコンを接続する	48
MAC アドレス	88、130
MAC アドレスラベル	15
Messenger	101
MTU 値	60、61、64
NAT テーブル保持時間	55
NetBios	68
NetMeeting	101
NTT 通信機器お取扱相談センタシール	11
PC データ追加	88
PC データベース	87、88
PC リスト	87
PPPoE	
PPPoE(FLET'S シリーズ)	43
PPPoE で 2 つの接続先を使い分ける	103
PPPoE で接続する	59、62
PPPoE ブリッジ機能	55
Q&A	118
RIP 受信 / 送信	93
RIP の設定	116
RIP バージョン	93
SMTP サーバ名	95
Subject	95
TCP/IP	
TCP/IP プロトコルを確認する	27、31、35
TCP/IP をインストールする	34、38
Unnumbered IP	65
Unnumbered IP 機能による PPPoE 接続	59
Unnumbered を利用する	111
UPnP	97
UPnP 使用ポート	97
UPnP 使用ポート情報	73
UPnP に対応したネットワークゲームをする	99
UPnP に対応していないネットワークゲームをする	100
URL の追加	81
URL フィルタ	79、81
URL ホーム	55
VPN バススルー	79
WAN 側設定	58
WAN 側 IP アドレス	61、70
WAN 側 IP のセッションを選択する	97
WAN 状態	71
WAN の切断機能	97
WAN ポート	15
Web Caster 720 接続・設定	11
Web ブラウザの設定をする	39
Windows® 2000 で利用する	30
Windows® Me/98/95 で利用する	35
Windows® XP で利用する	26
Windows® パソコンを接続する	48

五十音

【ア行】

アクセス制限	82
アクセスログ	89
アップデート	128
アップデートに失敗した	122
アプリケーションでWAN IPを選択する	97
インターネット接続ログ	91
インターネットに接続する	47
インターネットに接続できない	118
インタフェース	92
お買い求め時の状態に戻す	127
音声/ビデオチャットなどのツールを使う	101

【カ行】

解決のステップ	117
開始IPアドレス	86
開始ポート	68、85
外部にサーバを公開する	102
各部の名称と機能	14
簡単設定	42
簡単に接続する	40
グループ	82
グループ0	83
ゲートウェイ	92
固定IPアドレスで接続する	58、61
コンピュータ名	60

【サ行】

サービス	
サービス画面	85
サービス・タイプ	74、85
サービス名	85
再起動	56、126
サブネットマスク	57、61、65、70、92
時間設定	55
システム稼働状態	71
システム設定	55
社内LANとして使用する	112
終了IPアドレス	86
終了ポート	68、85
出力開始/終了ポート	74
出力ポート番号	75
仕様	150
使用環境の確認	12
詳細設定	72
初期化	56、127
初期化スイッチ	15
再起動する	126
初期化する	127
初期設定内容一覧	152
シリアル番号シール	15
新グループ	83
推奨ケーブルについて	20
すぐにアラートを送信する	95
スケジュール	82

スケジュール1/2	84
スケジュール設定	82、84
スタティック	92
スタティックルートの設定	115
ステータス	71
ステータスランプ	14
ステートフル・バケット・インスペクション	79
ステルスモード	79
スペシャル・アプリケーション	74
セカンダリDNSサーバアドレス	
	60、61、65、70、94
セキュリティ	79
セッション	
セッション-1	63
セッション-2	67
セッション選択	63、67

接続

インターネットに接続する	47
インターネットに接続できない	118
接続先	73
接続先設定	68
接続先ネットワーク	92
接続先名選択	63、68、73、76、77、79、96
接続ソフト	11、22
接続タイプ	65
接続に失敗したとき	46
接続パスワード	64
接続パスワードの確認	64
接続方法	64
接続ユーザー名	63
接続ルール	68
パソコン同士が繋がらない	120
本商品とモデム、パソコンを接続する	20
設置する場所	18
設定画面の各機能	54
設定記入シート	134
設定保存	56、124
設定ユーティリティ	50
起動しない	120
起動する	40
再起動する	126
終了するには	51
初期化する	127
設定画面の各機能	54
設定内容がわからないとき	53
設定をファイルで保存する	124
全体構成について	50
使い方	51
ログインできない	121
設定読込	56、124
その他各種設定	94

【タ行】

ダイナミックDNS	77
ダイナミックDNSを使用してURLで	
アクセスする	102
ダイナミック(RIP)	93

タイプ	60、61	フィルタリスト	81
縦置きスタンド	11	複数固定 IP サービスを利用する	111
縦置きスタンドの取り付け方	18	付属品	11
他のパソコンを接続する場合	48	プライマリ DNS サーバアドレス	60、61、65、70、94
チェックボックス	75	フレッツ・グループ (NTT 西日本) の LAN 型払い出しに接続する	105
通信状態ランプ	14	フレッツ・コネクト (NTT 東日本) を利用する	107
データの削除	88	フレッツ・コミュニケーション (NTT 西日本) を 利用する	109
デフォルト・ゲートウェイ	61、70	フレッツ・スクウェアに接続する	47、103
電源アダプタ	11	プロトコル	68、73、85
電源ランプ	14	ヘルプ	53
電源を入れる	19	ポート番号	96
電源の入れ方 / 切り方	19	保守サービスのご案内	151
電源の取り方	19	保証書	11
登録済みサービス	82	本体	11
トップページ	51、54	【マ行】	
ドメイン名	60、68、78	無通信監視タイマ	64
トラブルや疑問があったら	117	名称	75
取扱説明書	11	メールアドレス	95
取扱説明書や契約書を再確認する。		メンバー登録	82、83
管理者に確認する	118	元に戻す	124
【ナ行】		【ヤ行】	
入力開始 / 終了ポート	73	ユーザー名	55、95
入力文字制限一覧	160	ユーザー名の変更	123
入力ポート番号	75	【ラ行】	
ネットワーク	68	リース期間	86
手動で設定する	26	リース期間継続方法	86
接続・設定ソフトで設定する	22	リモート	96
ネットワークアダプタの状態を確認する	26、30、35	リモート設定	96
ネットワークゲームをする	99	ルータ IP	65
ネットワークに接続する	22、26	ルーティング	92
【ハ行】		ルール選択	68
バーチャル・サーバ	72、73	レポート	93
バーチャル・サーバを使用する	102	ローカル・オフィス	70
廃棄 (または譲渡、返却) される場合の留意事項	6、127	ローカル・オフィスモードの設定	112
パケットフィルタ設定	80、82	ローカルルータとして接続する	59、70
パスワード	55、95	ログインパスワード	78
パスワードの変更	123	ログイン名	77
パソコン、モデムと本商品を接続する	20	ログ表示	89
パソコン同士がつかない	120	ログメール送信スケジュール	95
パソコンと本商品を接続する	20		
パソコンの IP アドレスを調べる、更新する	122		
パソコンのネットワーク設定をする	26		
パソコン名	88		
バックアップ			
バックアップ DNS	94		
バックアップファイルを読み込む	124		
バックアップを取る	124		
備考	74		
品名ラベル	16		
ファームウェア			
アップデートする	128		
アップデートに失敗した	122		
ファームウェア更新	56、128		
ファームウェア・バージョン	71		

仕様

ハードウェア

WAN仕様	サポート規格	IEEE 802.3(10BASE-T)/IEEE802.3u(100BASE-TX)	
	インタフェース	コネクタ	RJ-45 × 1
		規格	10BASE-T/100BASE-TX Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
		MDI/MDI-X 切換	自動認識
	アクセス方式	CSMA/CD	
転送速度	10Mbps/100Mbps		
LAN仕様	サポート規格	IEEE 802.3(10BASE-T) / IEEE802.3u(100BASE-TX) / IEEE802.3x(Flow Control)	
	インタフェース	コネクタ	RJ-45 × 4
		規格	10BASE-T/100BASE-TX Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
		MDI/MDI-X 切換	全ポート自動認識
	アクセス方式	CSMA/CD	
	スイッチング方式	ストア & フォワード	
転送速度	10Mbps / 100Mbps		
電源部	本体		
	電源アダプタ	定格入力電圧	DC 5V
		最大消費電流 / 電力	750mA / 3.75W
		定格電圧(入力 / 出力)	AC100V(50/60Hz) / DC5V
環境条件	動作時	温度 0 ~ 40℃ / 湿度 80% 以下(結露なきこと)	
	保管時	温度 - 20 ~ 60℃ / 湿度 95% 以下(結露なきこと)	
	本体外形寸法	32(W) × 134(D) × 205(H)mm	
	本体質量(電源アダプタを含まず)	370g	

ソフトウェア

対応プロトコル	ルーティング対象	IP
	WAN	PPPoE (認証: PAP、CHAP)
	その他	DHCP、NTP、SMTP、ICMP
セキュリティ	SPI、DoS 攻撃防御、ICMP 応答、アクセス制限、URL フィルタ、VPN (IPSec、PPTP、L2TP) のパススルー	
アップグレード	ファームウェアのアップによる	
管理設定	Web ブラウザによる設定	
推奨ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以降	
対応 OS	Windows® 95/98/Me/2000/XP、Mac OS ※本商品の設定については、Windows® をご使用ください。	
●接続・設定ソフト		
対応 OS	Windows® 98SE/Me/2000/XP	

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載に基づき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをおすすめしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリアでご利用のお客様 （北海道、東北、関東、甲信越地区）



0120-970413

携帯電話・PHS・050IP電話用（通話料金がかかります）
03-5667-7100

■NTT西日本エリアでご利用のお客様 （東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区） トークニイナ



0120-109217

携帯電話・PHS・050IP電話用（通話料金がかかります）
東海・北陸・近畿・中国・四国地区（06-6341-5411）
九州地区（092-720-4862）

受付時間 9:00～21:00

（年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を7年間保有しております。

初期設定内容一覧

本商品の初期値は、以下のとおりです。「本商品をお買い求め時（初期値）の状態に戻したい」（●P127）を行った場合、それまで使用していた設定は消去され、以下の設定で起動されますのでご注意ください。各項目についての詳細は、各参照ページをご覧ください

■[システム設定]（●P55）

設定項目	初期設定
ユーザー名	user
パスワード	user
パスワードの確認	user
NAT テーブル保持時間	10分
URL ホーム	ntt.setup
PPPoE ブリッジ機能	使用する
時間設定	自動設定

■[LAN 側設定]（●P57）

設定項目	初期設定
LAN 側 IP アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0

■[WAN 側設定]

● IP 自動取得（DHCP）（●P60）/IP 固定（●P61）

設定項目	初期設定
タイプ	IP 自動取得（DHCP）
ドメイン名	空白
コンピュータ名	空白
MTU 値	1500
DNS サーバ	自動設定

● 接続先名設定（●P62）

設定項目	初期設定
接続先 1	設定 1
接続先 2	設定 2
接続先 3	設定 3
接続先 4	設定 4
接続先 5	設定 5

● 「PPPoE 設定」 — 「接続ルール」(☛P68)

設定項目	初期設定
接続先名選択	空白
ルール選択	空白
ドメイン名	空白
IP アドレス	—
ネットワーク	—
開始ポート	—
終了ポート	—
プロトコル	—

● 「PPPoE 設定」 — 「接続ルール」 — 「追加」(☛P68)

設定項目	初期設定
接続先名選択	設定 1
ルール選択	ドメイン名
ドメイン名	空白
IP アドレス	空白
ネットワーク	空白
開始ポート	空白
終了ポート	空白
NetBios	無効
プロトコル	TCP/UDP

■[WAN側設定]

●「PPPoE設定」セッション-1(☛P63)

設定項目	初期設定
接続先名選択	接続先未選択
接続ユーザー名	空白
接続パスワード	空白
接続パスワードの確認	空白
接続方法	要求時
無通信監視タイマ	30
MTU 値	1454
MTU 値自動調整	有効
接続タイプ	PPPoE
ルータ IP	空白
サブネットマスク	空白
DNS サーバ	自動設定
プライマリ DNS サーバアドレス	空白
セカンダリ DNS サーバアドレス	空白

●「PPPoE設定」セッション-1(☛P63)Web Caster720接続・設定ソフトで設定した場合

設定項目	初期設定
接続先名選択	設定 1 選択中
接続ユーザー名	接続・設定ソフトで入力したユーザー名
接続パスワード	接続・設定ソフトで入力したパスワード
接続パスワードの確認	空白
接続方法	常時
無通信監視タイマ	30
MTU 値	1454
MTU 値自動調整	有効
接続タイプ	PPPoE
ルータ IP	空白
サブネットマスク	空白
DNS サーバ	自動設定
プライマリ DNS サーバアドレス	空白
セカンダリ DNS サーバアドレス	空白

■[WAN側設定]

●「PPPoE設定」セッション-2(←P67)

設定項目	初期設定
接続先名選択	接続先未選択
接続ユーザー名	空白
接続パスワード	空白
接続パスワードの確認	空白
接続方法	要求時
無通信監視タイマ	30
MTU値	1454
MTU値自動調整	有効
LAN TYPE	使用しない
ルータIP	空白
サブネットマスク	空白
DNSサーバ	自動設定
プライマリDNSサーバアドレス	空白
セカンダリDNSサーバアドレス	空白

●「PPPoE設定」セッション-2(←P67)Web Caster720接続・設定ソフトで設定した場合

設定項目	東日本	西日本	利用しない
接続先名選択	設定2 選択中	設定2 選択中	接続先未選択
接続ユーザー名	guest@flets	flets@flets	空白
接続パスワード	guest	flets	空白
接続パスワードの確認	guest	flets	空白
接続方法	要求時	要求時	要求時
無通信監視タイマ	30	30	30
MTU値	1454	1454	1454
MTU値自動調整	有効	有効	有効
LAN TYPE	使用しない	使用しない	使用しない
ルータIP	空白	空白	空白
サブネットマスク	空白	空白	空白
DNSサーバ	自動設定	自動設定	自動設定
プライマリDNSサーバアドレス	空白	空白	空白
セカンダリDNSサーバアドレス	空白	空白	空白

■ [WAN側設定]－「ローカル・オフィス」(●P70)

設定項目	初期設定
WAN 側 IP アドレス	空白
サブネットマスク	空白
デフォルト・ゲートウェイ	空白
プライマリ DNS サーバアドレス	空白
セカンダリ DNS サーバアドレス	空白

■ [詳細設定]－[バーチャル・サーバ] 1 (●P72)

設定項目	初期設定
接続先名選択	－
バーチャル・サーバ	使用しない
接続先名選択	設定 1、使用しない

■ [詳細設定]－[バーチャル・サーバ] 追加(●P72)

設定項目	初期設定
バーチャル・サーバ	使用しない
接続先名選択	パソコンを選択してください
プロトコル	ユーザー定義
入力開始ポート	空白
入力終了ポート	空白
出力開始ポート	空白
出力終了ポート	空白
サービスタイプ	TCP
備考	空白

■ [詳細設定]－[スペシャル・アプリケーション](●P74)

設定項目	初期設定
名称	空白
入力ポート番号タイプ	UDP
入力ポート番号開始	空白
入力ポート番号終了	空白
出力ポート番号タイプ	UDP
出力ポート番号開始	空白
出力ポート番号終了	空白

■ [詳細設定]－[DMZ](●P76)

設定項目	初期設定
接続先名選択	設定 1
DMZ ホスト	パソコンを選択してください

■ [詳細設定] - [ダイナミック DNS (DDNS)] (☛P77)

設定項目	初期設定
接続先名選択	設定 1
ダイナミック DNS	無効
ログイン名	空白
ログインパスワード	空白
ドメイン名	空白
IP チェック時間	1 時間

■ [詳細設定] - [セキュリティ] (☛P79)

設定項目	初期設定
接続先名選択	設定 1
ステートフル・パケット・ インスペクション	使用する
VPNパススルー	使用しない
ステルスモード	使用しない
URL フィルタ	使用しない
パケットフィルタ設定	使用しない

■ [詳細設定] - [セキュリティ] URL フィルタ (☛P81)

設定項目	初期設定
URL の追加	空白
フィルタリスト	空白

■ [詳細設定] - [セキュリティ] パケットフィルタ設定 (☛P82)

設定項目	初期設定
グループ	グループ 0
アクセス制限	使用しない
スケジュール	なし

■ [詳細設定] - [セキュリティ] パケットフィルタ設定 追加 (☛P85)

設定項目	初期設定
サービス名	空白
サービス・タイプ	TCP
プロトコル	ユーザー定義
開始ポート	空白
終了ポート	空白

■ [詳細設定] - [DHCP サーバ] (☛P86)

設定項目	初期設定
DHCP サーバ	使用する
リース期間継続方法	期間指定
リース期間	0日6時間0分
開始 IP アドレス	192.168.1.11
終了 IP アドレス	192.168.1.60

■ [詳細設定] - [PC データベース] (追加・修正) (☛P88)

設定項目	初期設定
パソコン名	空白
IP アドレス	自動取得 (DHCP クライアント)
MAC アドレス	自動検索

■ [詳細設定] - [ルーティング] - [スタティック] 追加 (☛P92)

設定項目	初期設定
接続先ネットワーク	空白
サブネットマスク	空白
ゲートウェイ	空白
インタフェース	LAN

■ [詳細設定] - [ルーティング] - [ダイナミック (RIP)] (☛P93)

設定項目	初期設定
RIP バージョン	RIP v 1
RIP 送信	使用しない
RIP 受信	使用しない

■ [詳細設定] - [その他各種設定] - [バックアップ DNS] (☛P94)

設定項目	初期設定
バックアップ DNS	使用しない
プライマリ DNS サーバアドレス	空白
セカンダリ DNS サーバアドレス	空白

■ [詳細設定] - [その他各種設定] - [E-Mail] (●P94)

設定項目	初期設定
E-Mail 設定	使用しない
SMTP サーバ名	空白
メールアドレス	空白
Subject	空白
ユーザー名	空白
パスワード	空白
すぐにアラートを送信する	無効
ログメール送信スケジュール	ログがフルであるとき

■ [詳細設定] - [その他各種設定] - [リモート] (●P96)

設定項目	初期設定
接続先名選択	設定 1
リモート設定	使用しない
ポート	8080

■ [詳細設定] - [その他各種設定] - [UPnP] (●P97)

設定項目	初期設定
UPnP を使用する	使用する
アプリケーションで WAN IP を選択する	アプリケーションで WAN IP を選択する
WAN の切断機能を有効にする	使用する

■ [詳細設定] - [その他各種設定] - [IPv6] (●P98)

設定項目	初期設定
IPv6 ブリッジ機能	使用する

入力文字制限一覧

設定ユーティリティの各項目に入力できる文字、および文字数は、以下のとおりです。

■[システム設定](☛P55)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字数
ユーザー名	半角英数・記号（「 <code>[] < > []</code> 」 「 <code>#</code> 」 「 <code>%</code> 」 「 <code>@</code> 」 「 <code>¥</code> 」 「 <code>:</code> 」 「 <code>/</code> 」 「 <code>?</code> 」 「 <code>+</code> 」 「 <code>=</code> 」 「 <code>:</code> 」 「 <code>*</code> 」を除く）	12文字
パスワード		
パスワードの確認		
NATテーブル保持時間	半角数字	10~300
URLホーム	半角英数・記号（「 <code>[] < > []</code> 」 「 <code>#</code> 」 「 <code>%</code> 」 「 <code>@</code> 」 「 <code>¥</code> 」 「 <code>:</code> 」 「 <code>/</code> 」 「 <code>?</code> 」 「 <code>+</code> 」 「 <code>=</code> 」 「 <code>:</code> 」 「 <code>*</code> 」 「 <code>&</code> 」を除く）	3~24文字
時間設定	（西暦）年／月／日 時／分／秒	2000/01/01/00/00/00~ 2037/12/31/23/59/59

■[LAN側設定](☛P57)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字数
LAN側IPアドレス	数字（IPアドレス）	0.0.0.0~255.255.255.255
サブネットマスク	数字	0.0.0.0~255.255.255.255

■[WAN側設定]

●接続先名設定(☛P62)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字数
接続先1	半角英数・記号（「 <code>[] < > []</code> 」 「 <code>#</code> 」 「 <code>%</code> 」 「 <code>@</code> 」 「 <code>¥</code> 」 「 <code>:</code> 」 「 <code>/</code> 」 「 <code>?</code> 」 「 <code>+</code> 」 「 <code>=</code> 」 「 <code>:</code> 」 「 <code>*</code> 」を除く）	16文字
接続先2		
接続先3		
接続先4		
接続先5		

■[WAN側設定]

●IP自動取得（DHCP）(☛P60)

設定項目	設定データ	設定データ
ドメイン名	半角英数・記号（「 <code>[] < > []</code> 」 「 <code>#</code> 」 「 <code>%</code> 」 「 <code>@</code> 」 「 <code>¥</code> 」 「 <code>:</code> 」 「 <code>/</code> 」 「 <code>?</code> 」 「 <code>+</code> 」 「 <code>=</code> 」 「 <code>:</code> 」 「 <code>*</code> 」を除く）	40文字
コンピュータ名		
MTU値	数字	576~1500
プライマリDNSサーバ アドレス セカンダリDNSサーバ アドレス	数字（IPアドレス）	0.0.0.0~255.255.255.255

●IP固定(●P61)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字数
WAN側IPアドレス	数字 (IPアドレス)	0.0.0.0~255.255.255.255
サブネットマスク	数字	0.0.0.0~255.255.255.255
デフォルト・ゲートウェイ	数字 (IPアドレス)	0.0.0.0~255.255.255.255
MTU値	数字	576~1500
プライマリDNSサーバ アドレス セカンダリDNSサーバ アドレス	数字 (IPアドレス)	0.0.0.0~255.255.255.255

■[WAN側設定]

●「PPPoE設定」セッション-1/セッション-2(●P63、67)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字数
接続ユーザー名	半角英数・記号 (「」 「¥」 「」 を除く)	80文字
接続パスワード		
接続パスワードの確認		
無通信監視タイマ	数字	0~60
MTU値	数字	576~1492
接続タイプ		
ルータIP	数字 (IPアドレス)	0.0.0.0~255.255.255.255
サブネットマスク	数字 (IPアドレス)	0.0.0.0~255.255.255.255
DNSサーバ		
プライマリDNSサーバ アドレス	数字 (IPアドレス)	0.0.0.0~255.255.255.255
セカンダリDNSサーバ アドレス	数字 (IPアドレス)	0.0.0.0~255.255.255.255

■[WAN側設定]

●「PPPoE設定」—「接続ルール」(●P68)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字数
ドメイン名	半角英数・記号 (「」 「<」 「>」 「」 「#」 「%」 「@」 「¥」 「:」 「?」 「+」 「=」 「」 「*」 を除く)	64文字
IPアドレス	数字 (IPアドレス)	0.0.0.0~255.255.255.255
ネットワーク	数字	0.0.0.0~255.255.255.255
開始ポート	数字	0~65535
終了ポート	数字	0~65535

■[WAN側設定]—「ローカル・オフィス」(●P70)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字数
WAN側IPアドレス	数字 (IPアドレス)	0.0.0.0~255.255.255.255
サブネットマスク	数字	0.0.0.0~255.255.255.255
デフォルト・ゲートウェイ	数字	0.0.0.0~255.255.255.255
プライマリDNSサーバアドレス	数字	0.0.0.0~255.255.255.255
セカンダリDNSサーバアドレス	数字	0.0.0.0~255.255.255.255

■[詳細設定]—[バーチャル・サーバ] (●P72)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字
入力開始ポート	数字	0~65535
入力終了ポート	数字	0~65535
出力開始ポート	数字	0~65535
出力終了ポート	数字	0~65535
備考	半角英数・記号 (「」 「<」 「>」 「,」 「#」 「%」 「@」 「¥」 「:」 「/」 「?」 「+」 「=」 「,」 「*」 を除く)	64文字

■[詳細設定]—[ダイナミックDNS (DDNS)](●P77)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字
ログイン名	半角英数・記号 (「」 「<」 「>」 「,」 「#」 「%」 「@」 「¥」 「:」 「/」 「?」 「+」 「=」 「,」 「*」 を除く)	20文字
ログインパスワード		
ドメイン名	半角英字 (小文字のみ) ・半角ハイフン	(20文字).(10文字).(10文字)

■[詳細設定]—[セキュリティ]—[URLフィルタ](●P81)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字
URLの追加	半角英数・記号 (「」 「<」 「>」 「,」 「#」 「%」 「@」 「?」 「+」 「=」 「,」 「:」 「*」 および半角スペースを除く)	30文字

■[詳細設定]—[セキュリティ]—[パケットフィルタ設定]—[サービス](●P85)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字
サービス名	半角英数・記号 (「」 「<」 「>」 「,」 「#」 「%」 「:」 「/」 「?」 「+」 「=」 「,」 「*」 を除く)	64文字
開始ポート	数字	0~65535
終了ポート	数字	0~65535

■[詳細設定]—[DHCPサーバ](●P86)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字
リース期間	日/時間/分	0日0時間0分~999日23時間59分
開始IPアドレス	数字	0~255
終了IPアドレス	数字	0~255

■[詳細設定] - [PCデータベース] - [PCデータベース (追加・修正)] (●P88)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字
パソコン名	半角英数・記号 (「」 「<」 「>」 「」 「#」 「%」 「¥」 「/」 「?」 「+」 「=」 「:」 「*」 を除く)	15文字
IPアドレス (固定取得：DHCPクライアント)	数字	0~255
IPアドレス (固定取得：DHCP範囲以外)	数字	0.0.0.0~255.255.255.255
MACアドレス	半角英数	0~9、A~F (12桁の16進数)

■[詳細設定] - [ルーティング] - [スタティック] (●P92)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字
接続先ネットワーク	数字	0.0.0.0~255.255.255.255
サブネットマスク	数字	0.0.0.0~255.255.255.255
ゲートウェイ	数字	0.0.0.0~255.255.255.255

■[詳細設定] - [その他各種設定] - [バックアップDNS] (●P94)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字
プライマリDNSサーバアドレス	数字	0.0.0.0~255.255.255.255
セカンダリDNSサーバアドレス	数字	0.0.0.0~255.255.255.255

■[詳細設定] - [その他各種設定] - [E-Mail] (●P94)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字
SMTPサーバ名	半角英数・記号 (「」 「<」 「>」 「」 「#」 「%」 「¥」 「/」 「?」 「+」 「=」 「:」 「*」 を除く)	50文字
メールアドレス	半角英数・記号 (「」 「<」 「>」 「」 「#」 「%」 「¥」 「/」 「?」 「+」 「=」 「:」 「*」 「 」 「_」 を除く)	50文字
Subject	半角英数・記号 (「」 「<」 「>」 「」 「#」 「%」 「¥」 「/」 「?」 「+」 「=」 「:」 「*」 を除く)	50文字
ユーザー名	半角英数・記号 (「」 「<」 「>」 「」 「#」 「%」 「¥」 「/」 「?」 「+」 「=」 「:」 「*」 「 」 を除く)	50文字
パスワード	半角英数・記号 (「」 「<」 「>」 「」 「#」 「%」 「¥」 「/」 「?」 「+」 「=」 「:」 「*」 を除く)	50文字

■[詳細設定] - [その他各種設定] - [リモート] (●P96)

設定項目	入力可能文字	入力可能文字
ポート	数字	1~9600

MEMO

A large, empty rectangular box with rounded corners, intended for writing a memo. The box is defined by a thin black border and occupies most of the page below the 'MEMO' header.

MEMO

MEMO

A large, empty rectangular box with rounded corners, intended for writing a memo. The box is defined by a thin black border and occupies most of the page below the 'MEMO' header.

MEMO

A large, empty rectangular box with rounded corners, intended for writing a memo. The box is defined by a thin black border and occupies most of the page below the title.

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等で不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリアでご利用のお客様
(北海道、東北、関東、甲信越地区)



0120-970413

携帯電話・PHS・050IP電話用 (通話料金がかかります)
03-5667-7100

■NTT西日本エリアでご利用のお客様
(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)

トークニイナ



0120-109217

携帯電話・PHS・050IP電話用 (通話料金がかかります)
東海・北陸・近畿・中国・四国地区 (06-6341-5411)
九州地区 (092-720-4862)

受付時間 9:00～21:00

(年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます)

© 2006 NTT EAST・NTT WEST



本2607-1(2006.8)
WBC720トリセツ